



**介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書**

令和2年3月

関川村

目 次

1 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
2 調査結果	2
調査対象者本人について.....	2
問 1. 家族や生活状況について.....	4
問 2. からだを動かすことについて.....	8
問 3. 食べることについて.....	14
問 4. 毎日の生活について.....	21
問 5. 地域での活動について.....	29
問 6. 助けあいについて.....	39
問 7. 健康について.....	42
問 8. 認知症について.....	50
問 9. 成年後見制度について.....	51
問 10. 終末期医療について.....	52
問 11. 今後の暮らしについて.....	53
3 リスク分析結果	54
1. 運動器機能.....	54
2. 転倒.....	56
3. 閉じこもり.....	58
4. 低栄養.....	60
5. 口腔機能.....	62
6. 認知機能.....	64
7. うつ傾向.....	66
8. IADL.....	68
9. 知的能動性.....	70
10. 社会的役割.....	72
4 とりまとめ	74
1. リスク該当者の状況.....	74

1 調査概要

1. 調査目的

第8期介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者の健康状態や日常生活等、地域の実情を把握し、介護保険サービスや福祉サービス、また健康づくり事業の一層の向上を図るための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査方法

- 調査対象者：65歳以上の要介護認定者を除いた方
(総合事業対象者、要支援認定者は含む)
- 調査日：令和2年1月～2月
- 調査方法：健康づくり推進員による配布・回収

3. 回収結果

- 調査対象者数：1,839件
- 回収数(回収率)：1,794件(97.6%)
- 有効回答数：1,751件

4. 報告書の見方

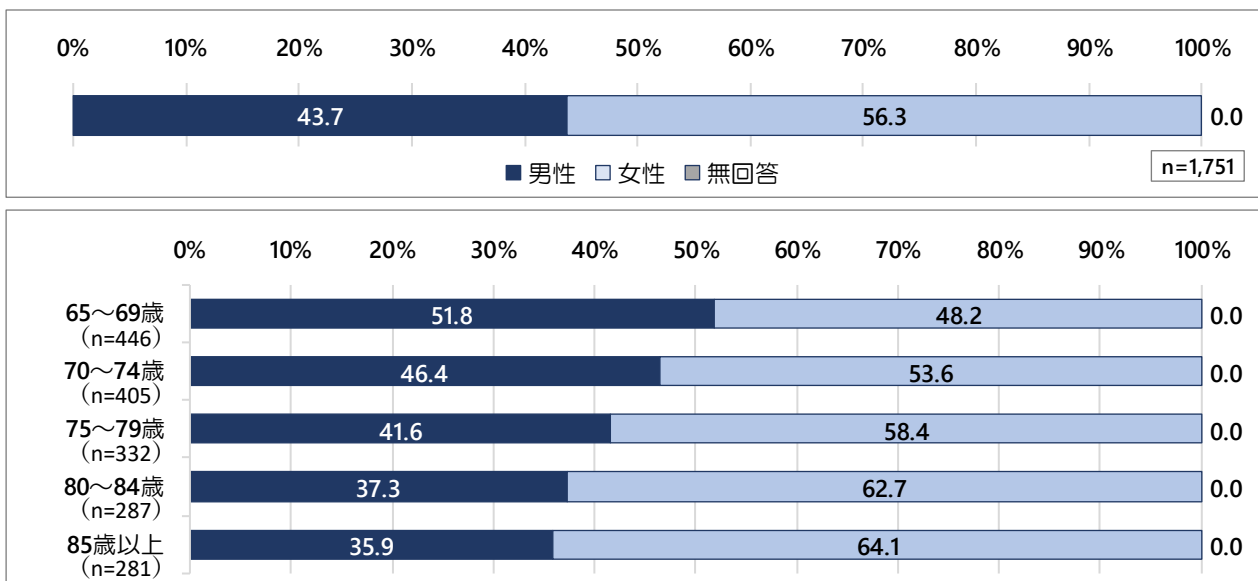
- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
- ② 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、回答率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、回答率の合計が100.0%を超えることがあります。
- ④ 年齢など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致しない場合があります。
- ⑤ 設問により、平成29年に実施した前回調査結果を参考に比較したグラフを表記しています。
- ⑥ クロスグラフの回答者数(n)が少数の場合、その傾向に注意が必要です。
※クロス集計結果のグラフの凡例については、各クロスグラフの始めの部分のみ表示しています。

2 調査結果

調査対象者本人について

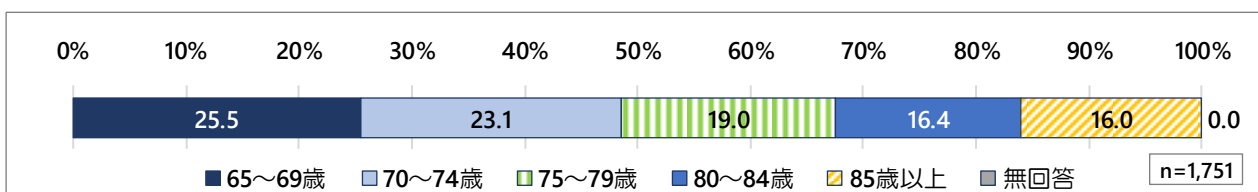
●性別

「男性」が43.7%、「女性」が56.3%となっています。
年齢区別にみると、年齢が上がるにつれて「女性」の割合が高くなっています。



●年齢

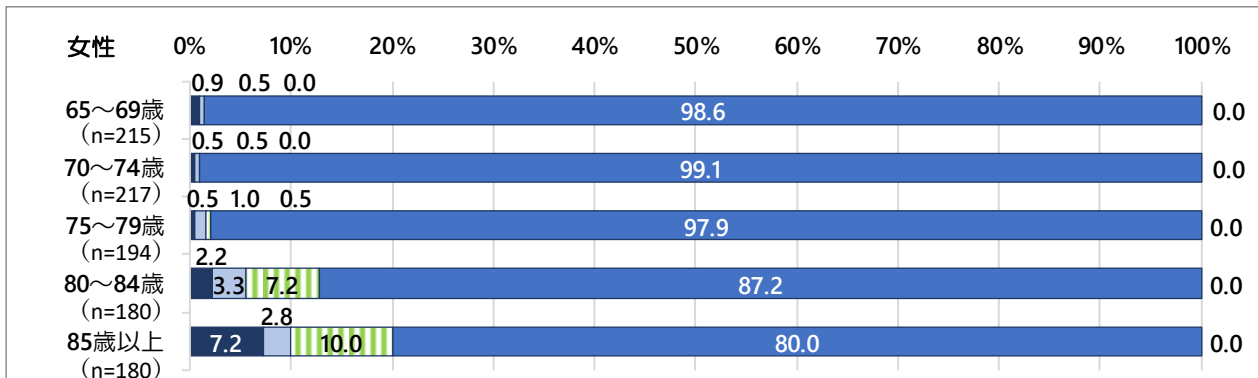
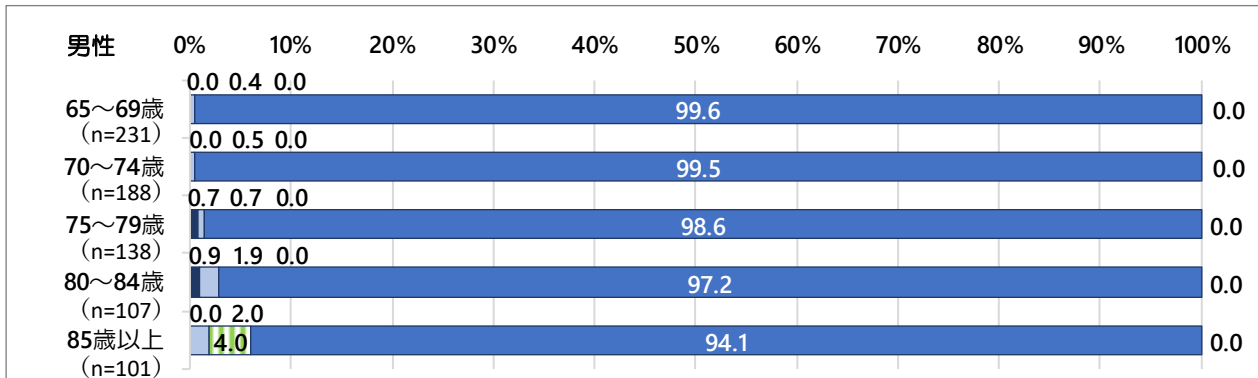
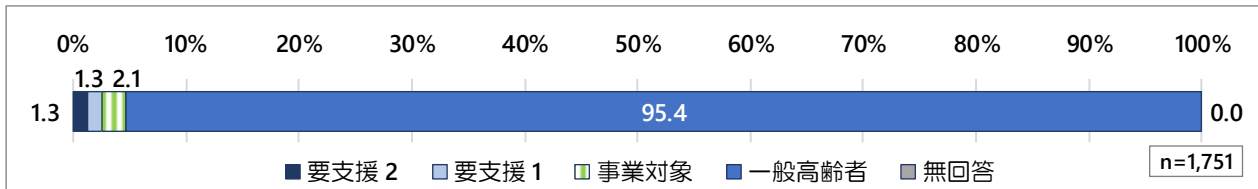
「65~74歳」が48.6%、「75歳以上」の後期高齢者が51.4%となっています。最高齢は99歳、平均は75.8歳となっています。



●認定区分

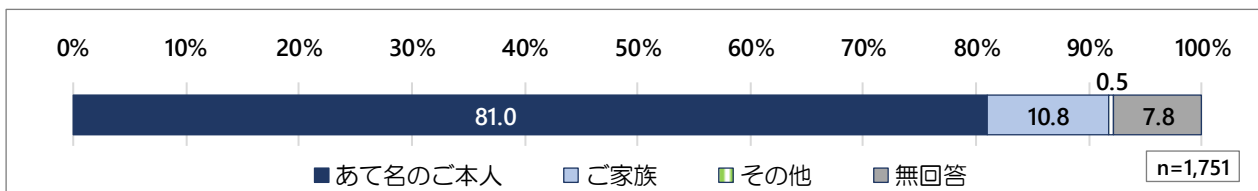
「要支援 2」が 1.3%、「要支援 1」が 1.3%、「総合事業対象者（以下、事業対象）」が 2.1%、「いずれにも該当しない一般高齢者（以下、一般高齢者）」が 95.4%となっています。

性別・年齢別にみると、男性よりも女性の方が認定率が高い傾向にあります。「85歳以上」の「一般高齢者」は、男性は 94.1%ですが、女性は 80.0%となっています。



●調査票記入者

「あて名のご本人」が 81.0%となっています。



問 1 家族や生活状況について

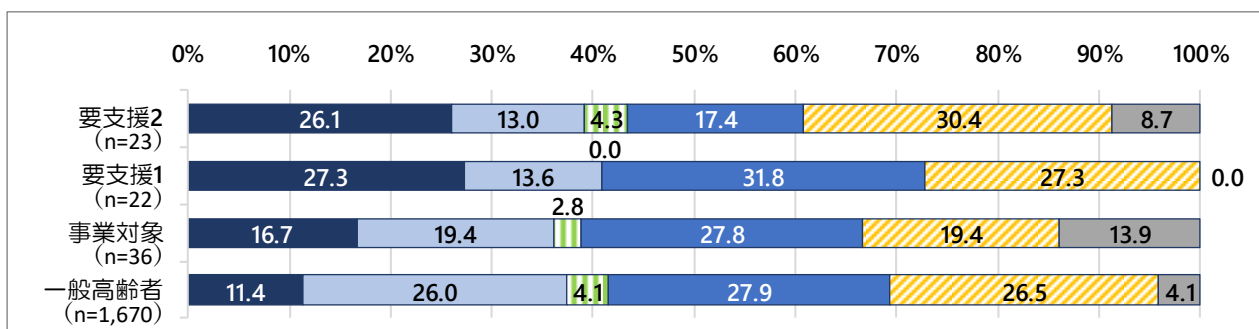
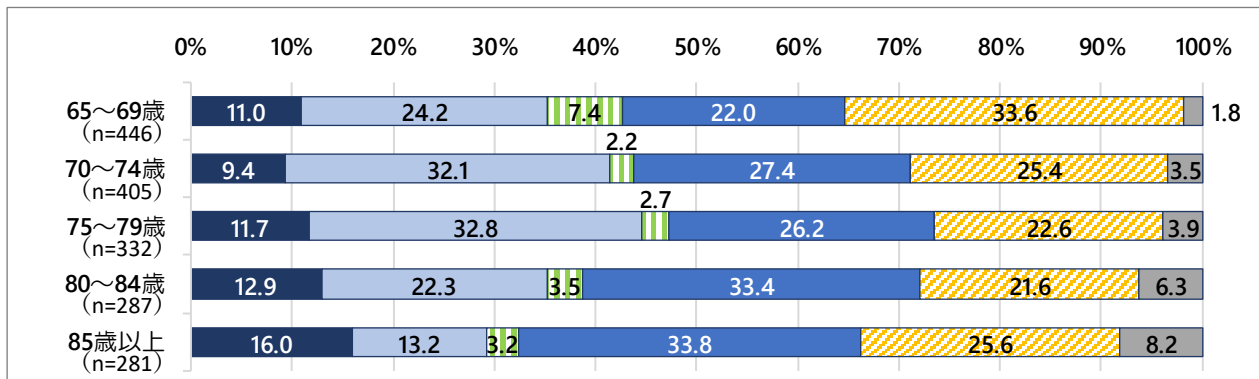
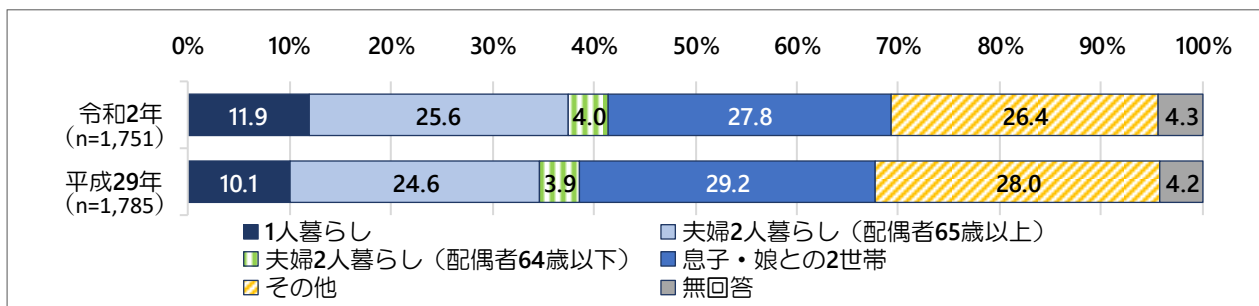
● 家族構成

(1) 家族構成をお教えてください

「1人暮らし」が11.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が25.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が4.0%、「息子・娘との2世帯」が27.8%、「その他」が26.4%で、平成29年の前回調査の結果とほぼ同様となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」の割合が高くなっています。また、80歳を超えると「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなり、「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。

認定区分別にみると「一般高齢者」と比較して要支援では「1人暮らし」の割合が高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなっています。

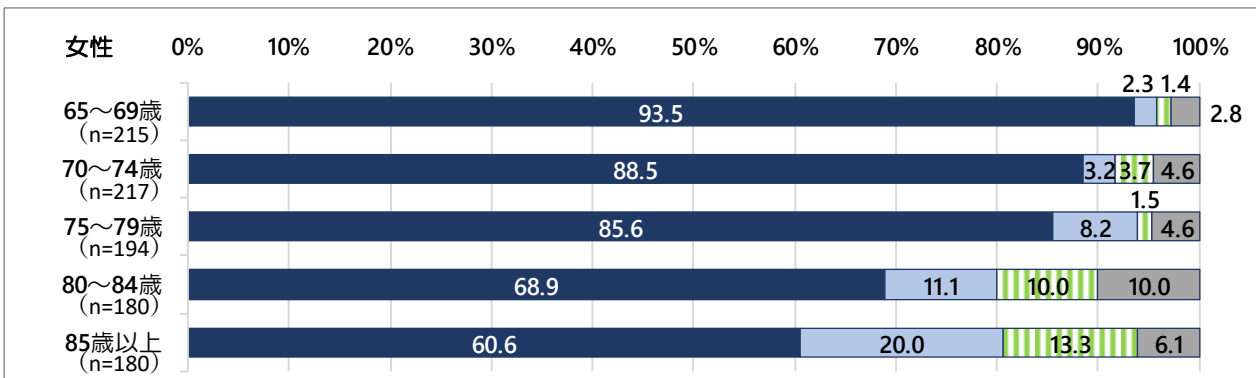
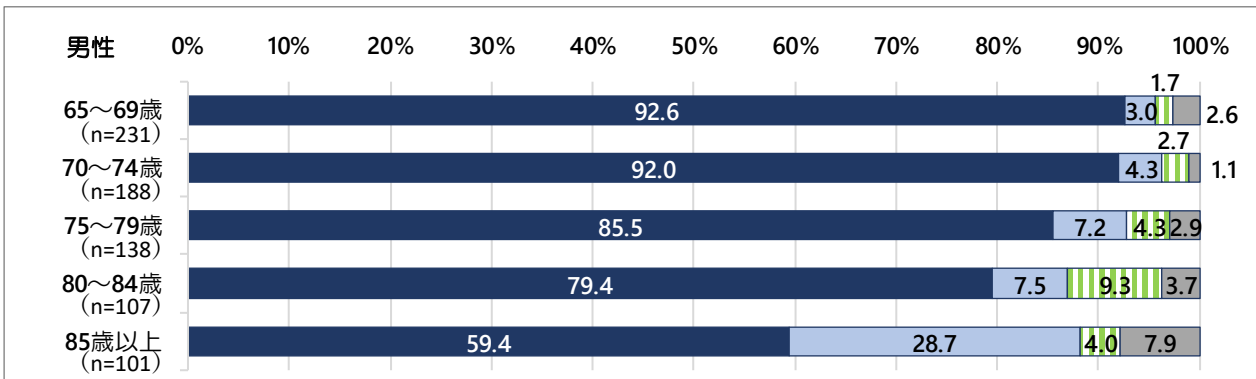
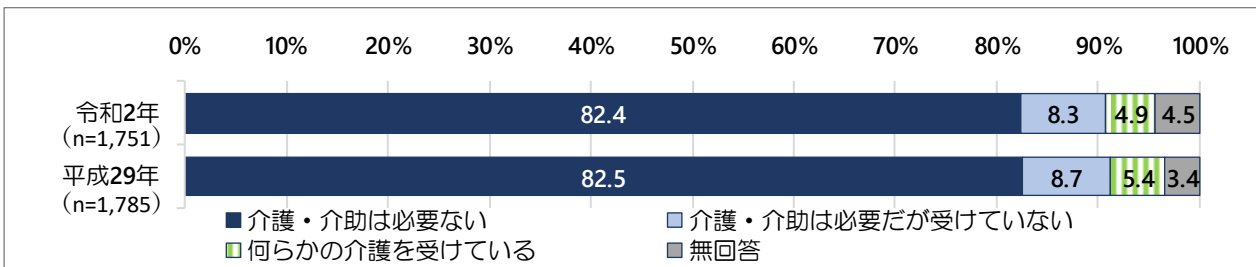


●介護・介助の必要性

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が82.4%、「介護、介助は必要だが受けていない」が8.3%、「何らかの介護を受けている」が4.9%となっています。

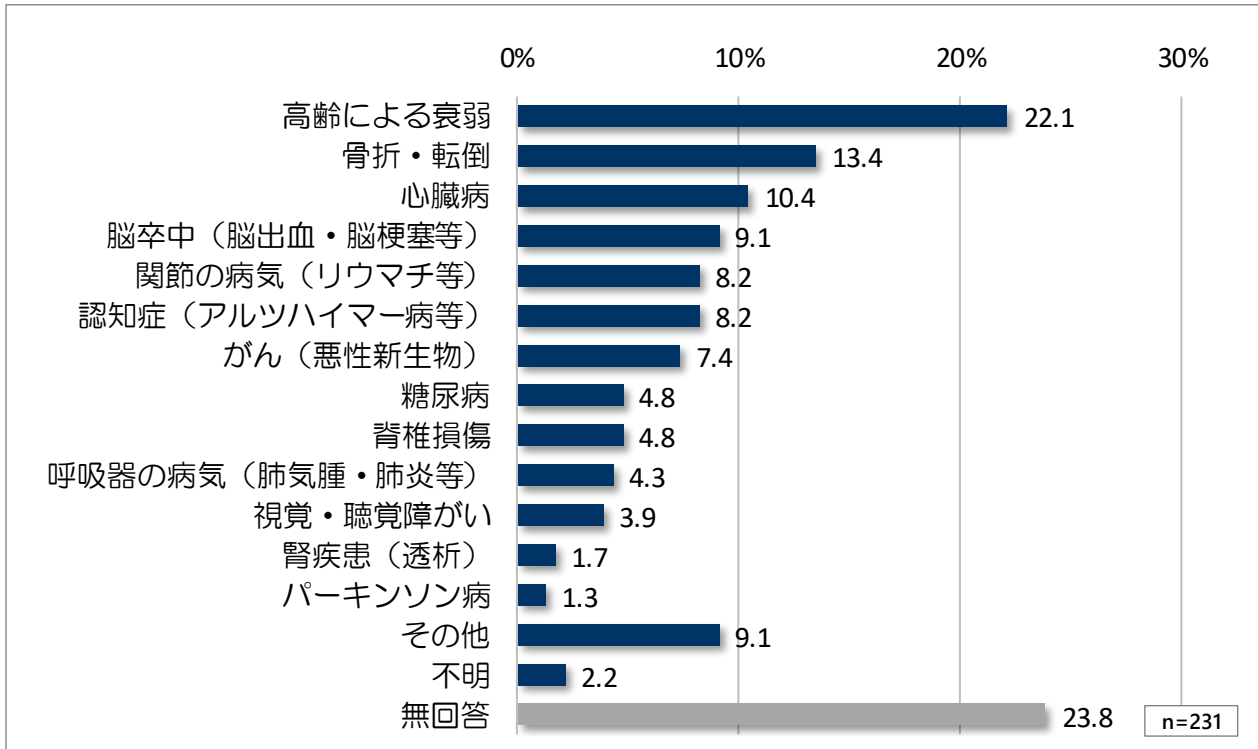
性別・年齢別にみると、男性の方が「介護・介助は必要ない」割合が高い傾向にあります。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて介護が必要になり、実際に何らかの介護を受ける割合が高くなっていますが、「男性・85歳」では「介護・介助が必要だが受けていない」割合は28.7%と高くなっています。



(2) で「介護・介助は必要ない」以外を選択した方にうかがいます

(2) ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（複数回答）

「高齢による衰弱」が 22.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が 13.4%、「心臓病」が 10.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 9.1%などとなっています。



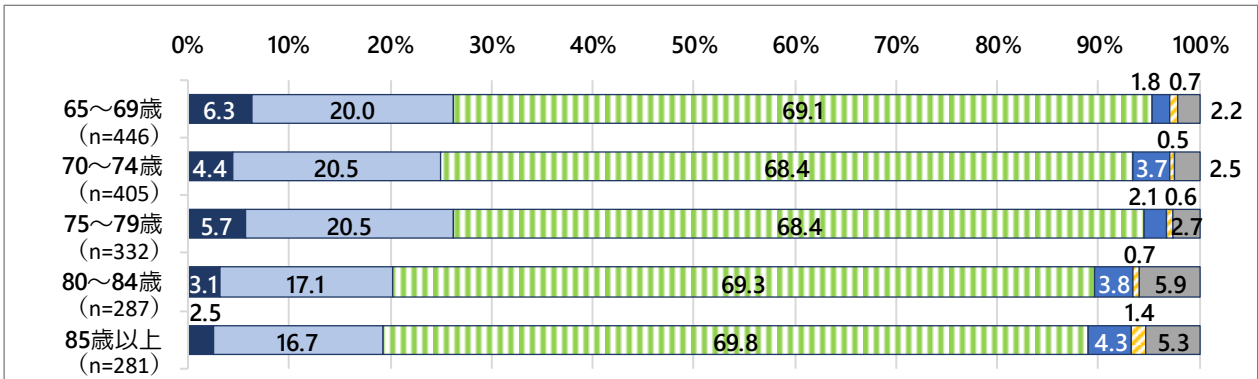
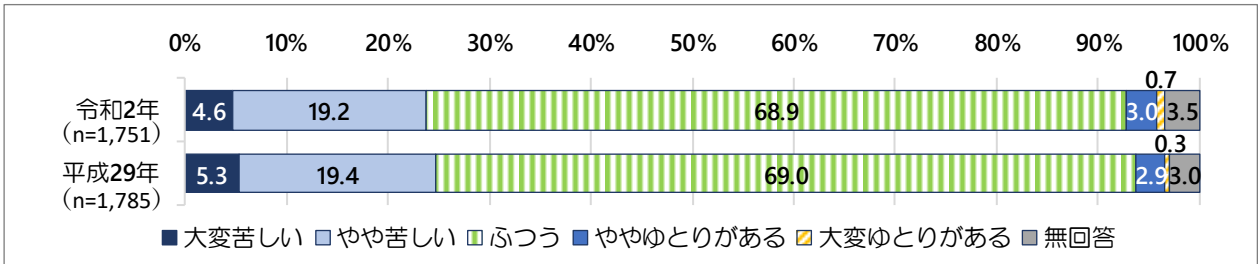
*その他は「腰痛」、「うつ病」などとなっています。

● 経済的状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が68.9%と最も高くなっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると23.8%となっています。

年齢別で大きな傾向はみられませんでした。

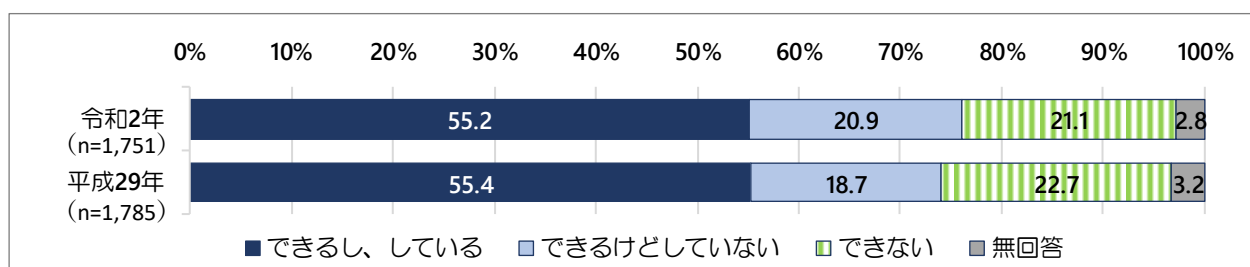


問 2 からだを動かすことについて

●運動器機能

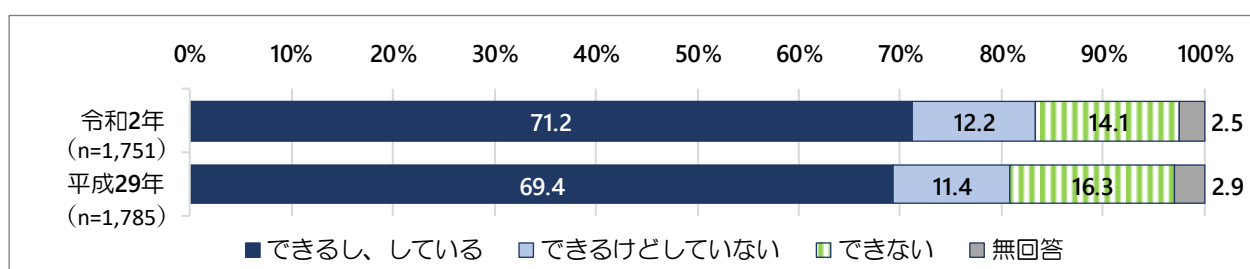
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」が55.2%、「できない」が21.1%となっています。



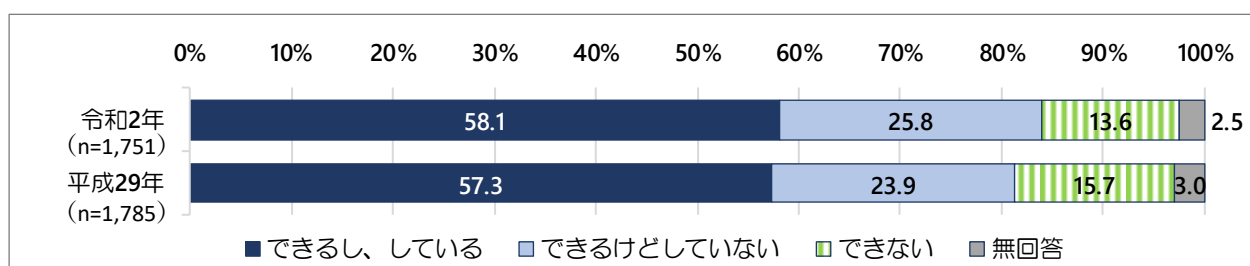
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が71.2%、「できない」が14.1%となっています。



(3) 15分くらい続けて歩いていますか

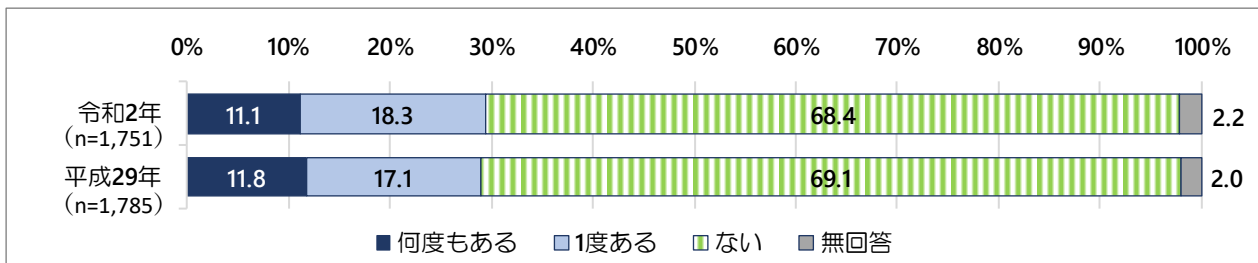
「できるし、している」が58.1%、「できない」が13.6%となっています。



●転倒

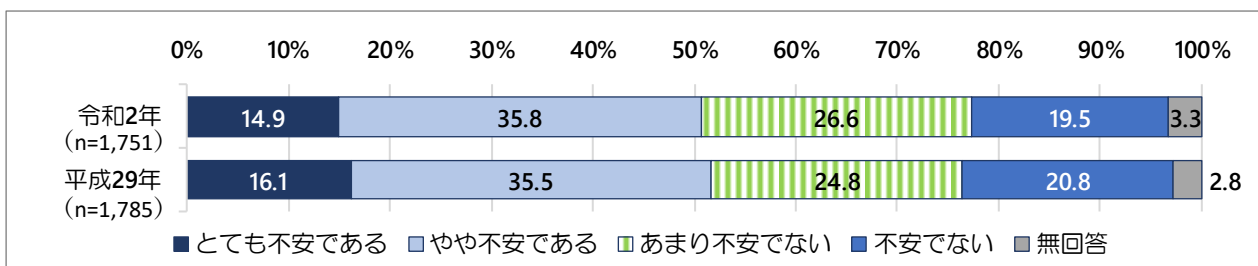
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「何度もある」が11.1%、「1度ある」が18.3%となっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか

「とても不安である」が14.9%、「やや不安である」が35.8%で、合わせると50.7%が転倒に対する不安を抱えている状況です。



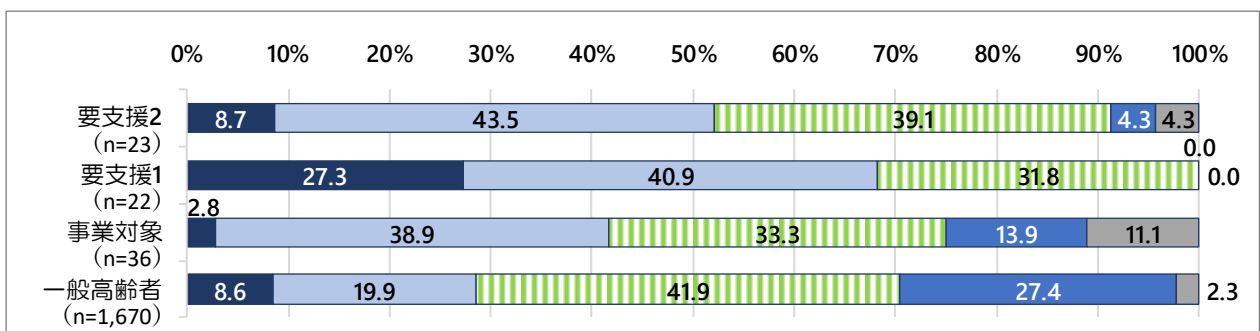
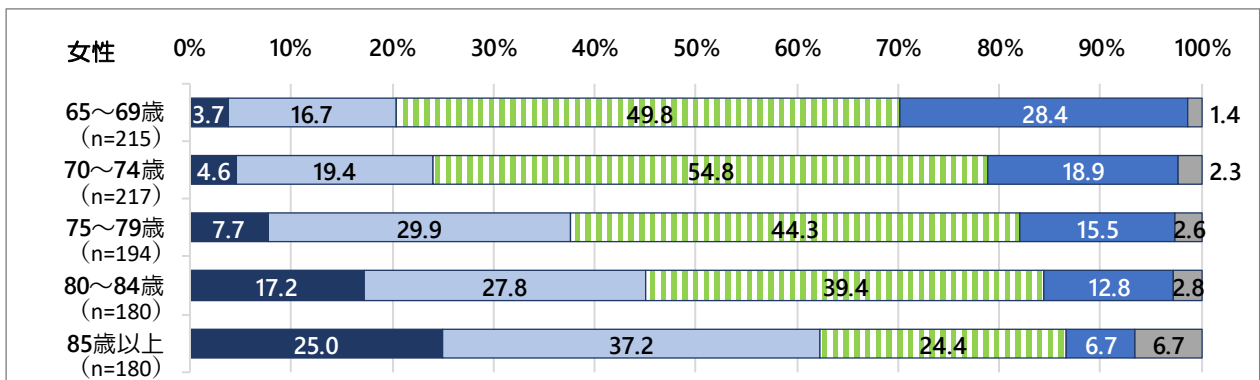
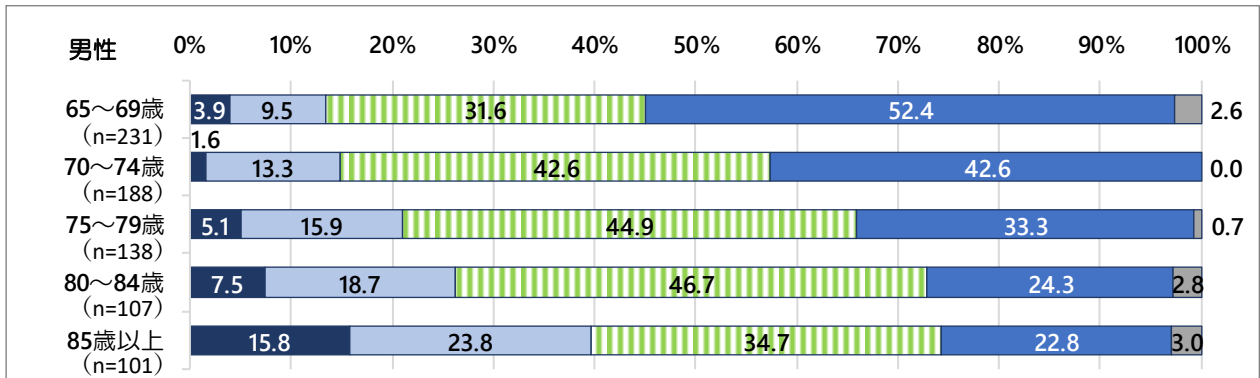
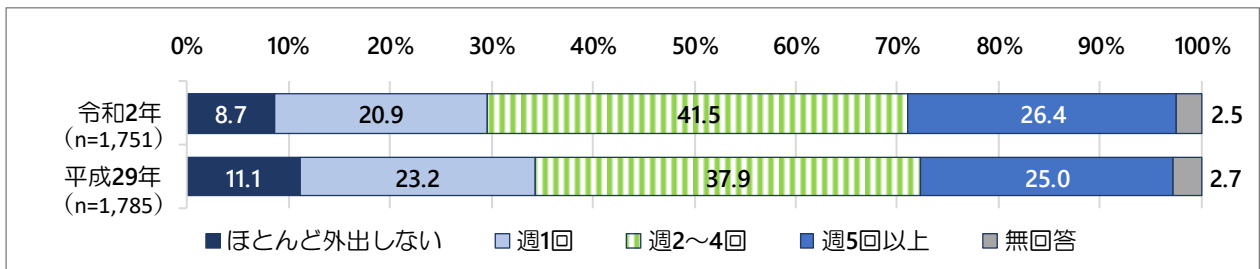
●外出

(6) 週に1回以上は外出していますか

「週2~4回」が41.5%、「週5回以上」が26.4%、「週1回」が20.9%となっています。一方で「ほとんど外出しない」が8.7%となっています。

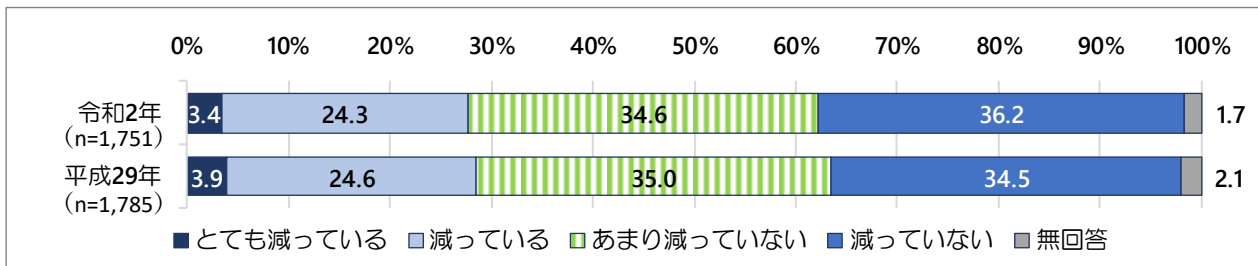
性別・年齢別にみると、女性よりも男性の方が外出の頻度が高い傾向にあります。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて外出の頻度が低くなっています。「ほとんど外出しない」割合が最も高いのは「女性・85歳以上」で25.0%、次いで「女性・80~84歳」が17.2%となっています。

認定区分別にみると、要支援で外出の頻度が低くなっており、特に「要支援1」では「ほとんど外出しない」が27.3%となっています。また、「要支援2」、「要支援1」、「事業対象」とともに「週1回」が40%前後となっており、「一般高齢者」の19.9%と比較して高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

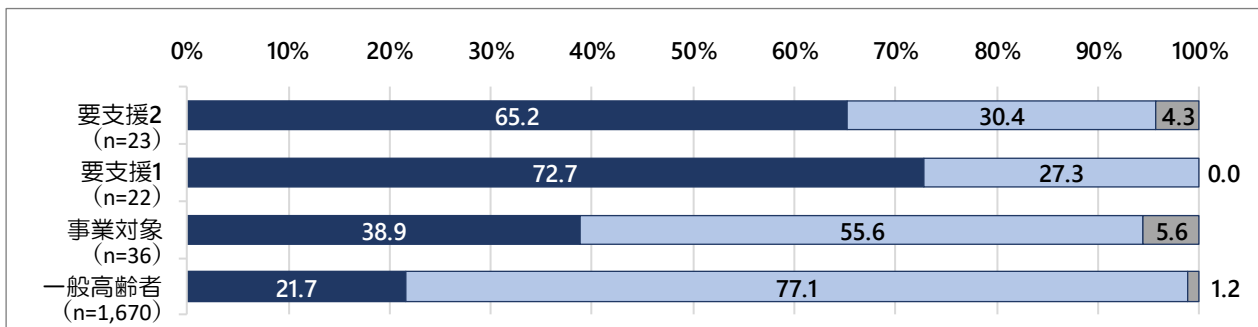
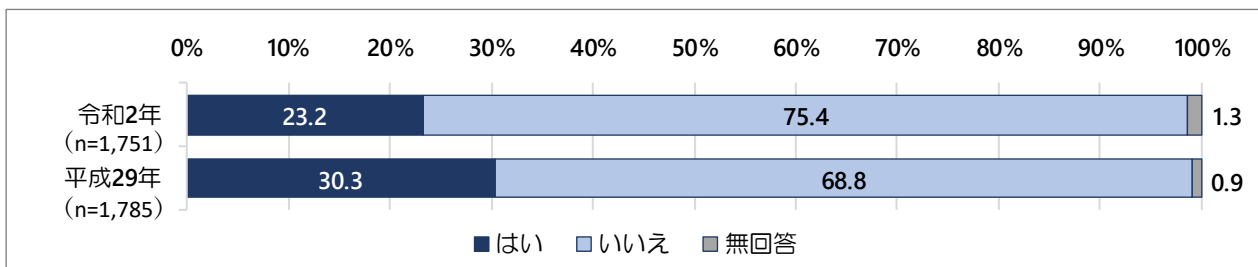
「とても減っている」と「減っている」を合わせると27.7%となっています。



(8) 外出を控えていますか

「はい」が23.2%、「いいえ」が75.4%となっています。

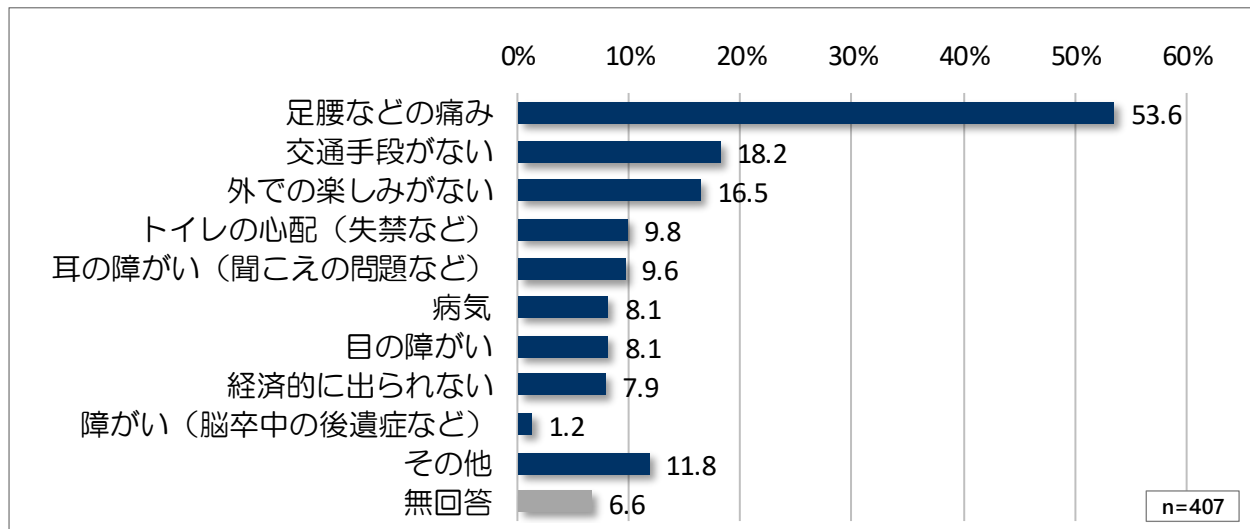
認定区分別にみると、「はい」の割合は「要支援2」は65.2%、「要支援1」は72.7%、「事業対象」は38.9%で、「一般高齢者」は21.7%となっています。



(8) で「はい」(外出を控えている)と回答した方にうかがいます

(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか(複数回答)

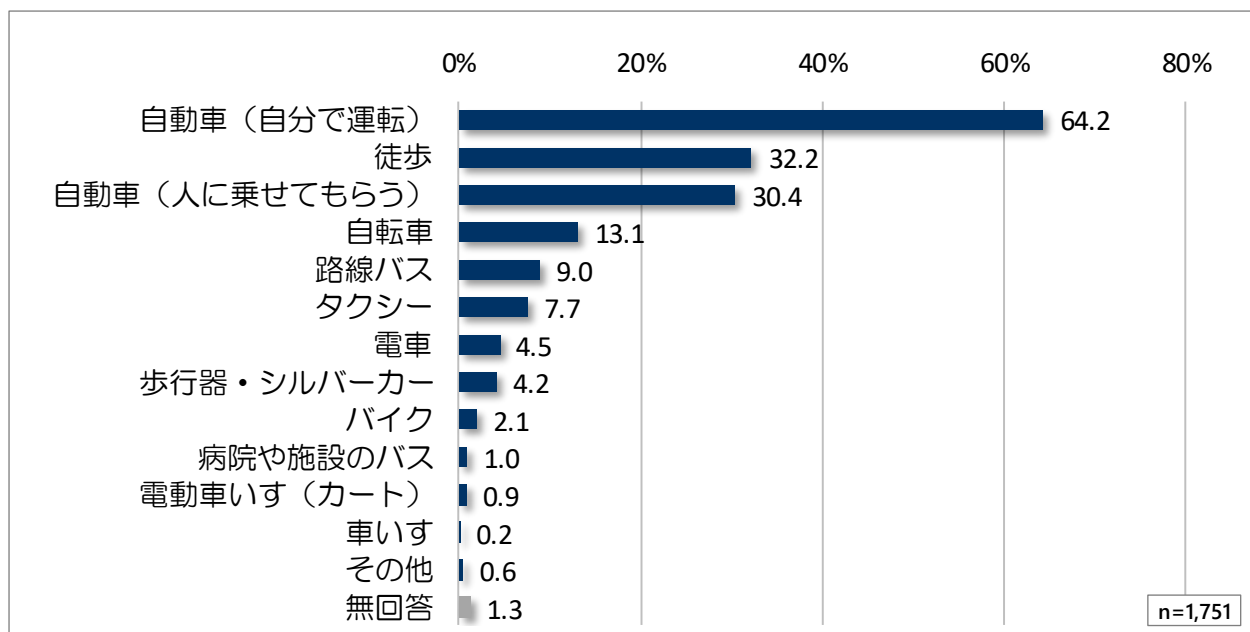
「足腰などの痛み」が53.6%と最も高くなっています。



*その他は「介護があるため」、「車の運転をするのが不安」などとなっています。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(複数回答)

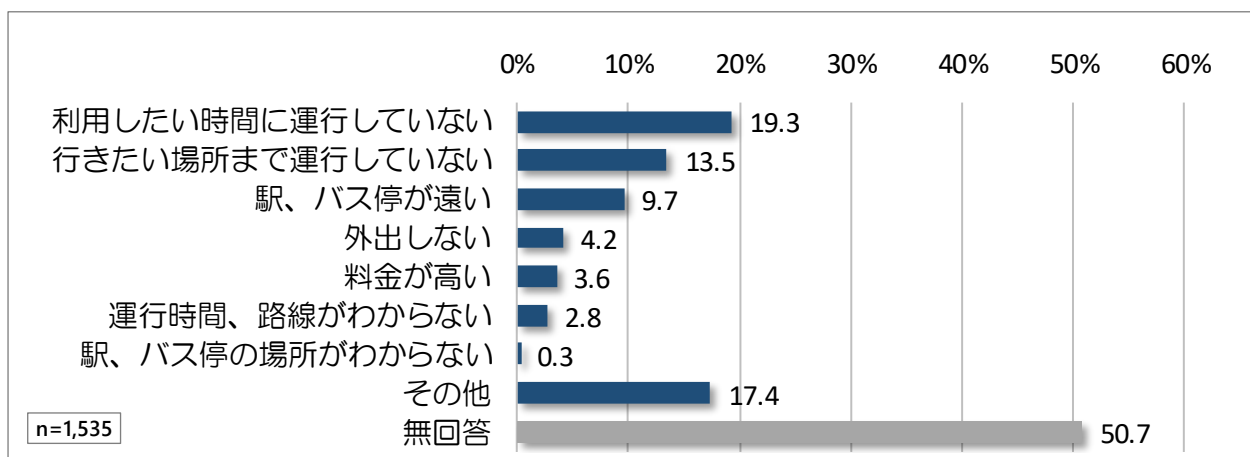
「自動車(自分で運転)」が64.2%と最も高く、次いで「徒歩」が32.2%、「自動車(人に乗せてもらう)」が30.4%などとなっています。



(9) で「電車」、「路線バス」を利用していない方にうかがいます

(9) ①利用しない理由は、次のどれですか（複数回答）

「利用したい時間に運行していない」が 19.3%と最も高く、次いで「行きたい場所まで運行していない」が 13.5%、「駅、バス停が遠い」が 9.7%などとなっています。



*その他は「車で移動できるから」が多くあがっており、他に「(家族などに)車に乗せてもらえるから」、「乗り降りが一人でできない」などとなっています。

問3 食べることについて

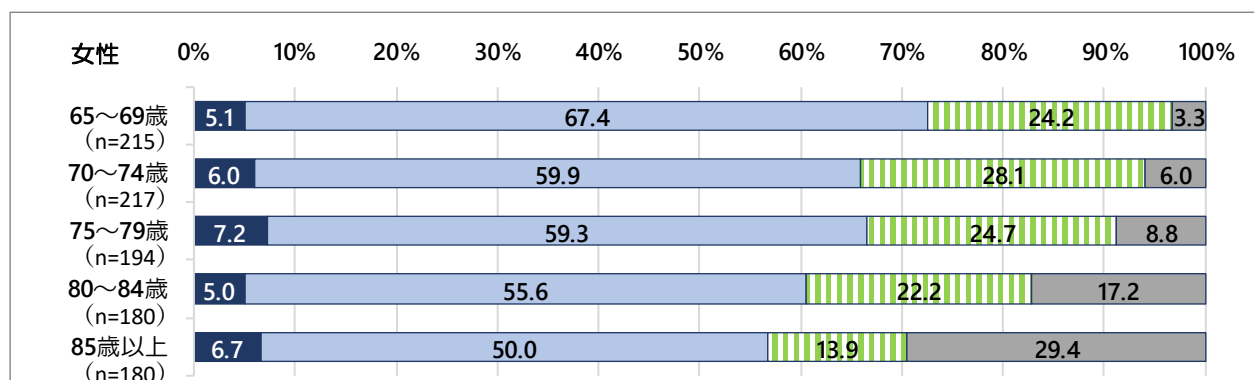
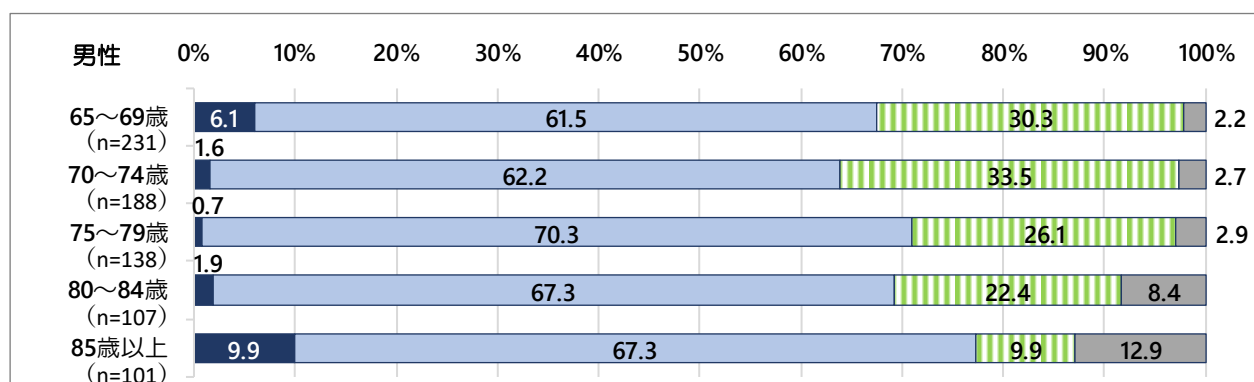
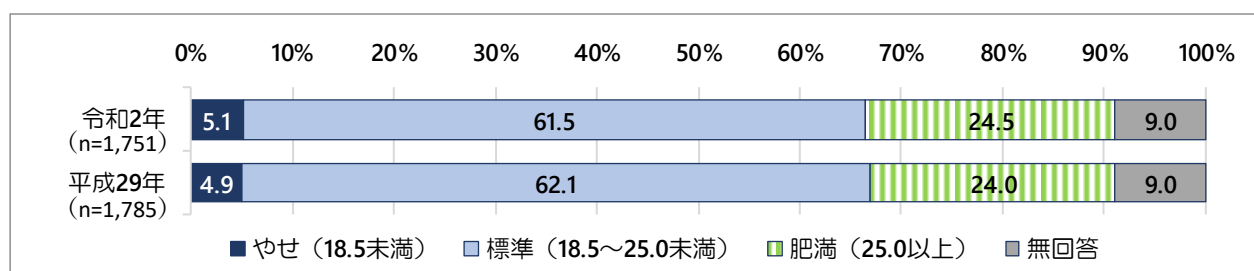
●身長・体重 (BMI)

(1) 身長・体重

BMI*

「やせ (18.5 未満) が 5.1%、「標準 (18.5~25.0 未満)」が 61.5%、「肥満 (25.0 以上)」が 24.5%となっています。

性別・年齢別にみると、70~84歳の男性で「やせ (18.5 未満)」の割合が低くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「肥満」の割合が低くなっています。

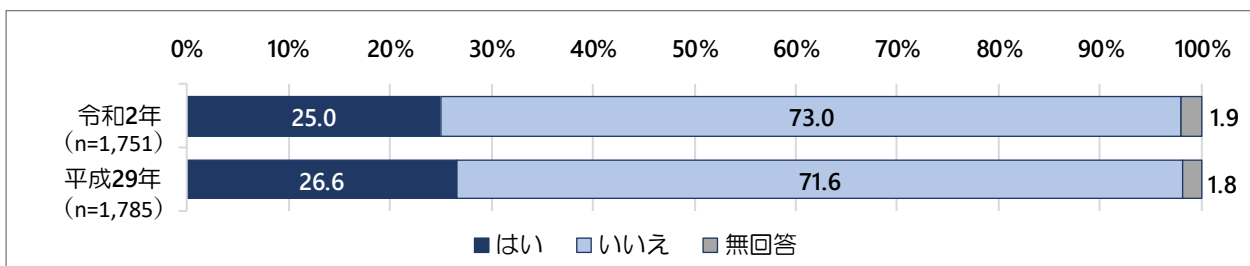


*BMI：体格指数（Body Mass Index）は、（体重kg）／（身長m）²で算出される肥満度を表す指標です。男性・女性ともにBMIが22のときに死亡率や高血圧、糖尿病、心筋梗塞などの有病率が、最も低いことが知られています。

●歯と口腔

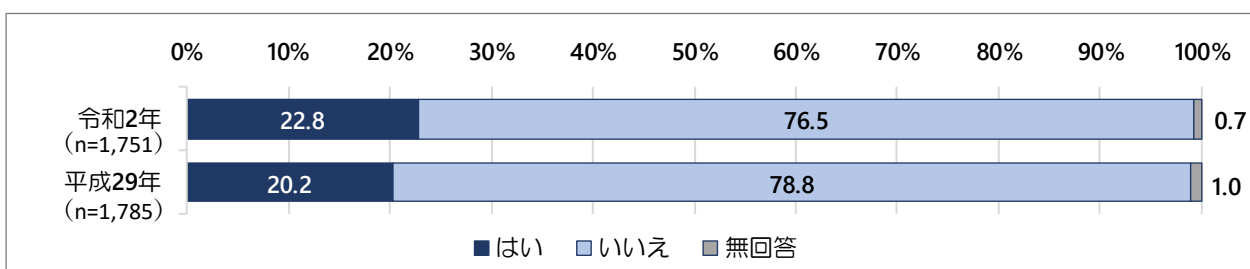
（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」が25.0%、「いいえ」が73.0%となっています。



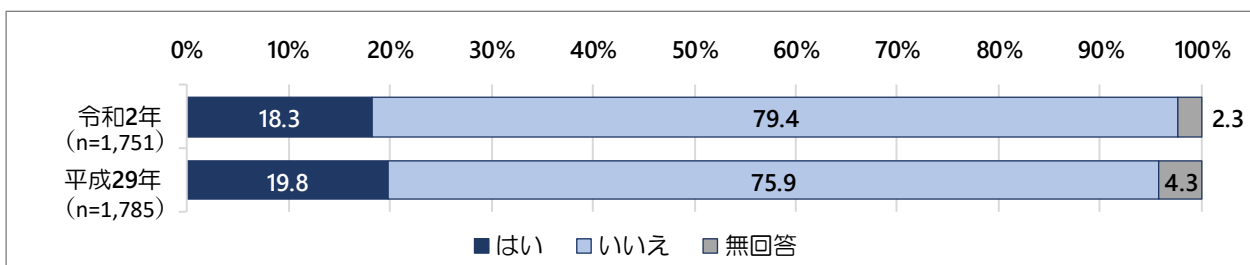
（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が22.8%、「いいえ」が76.5%となっています。



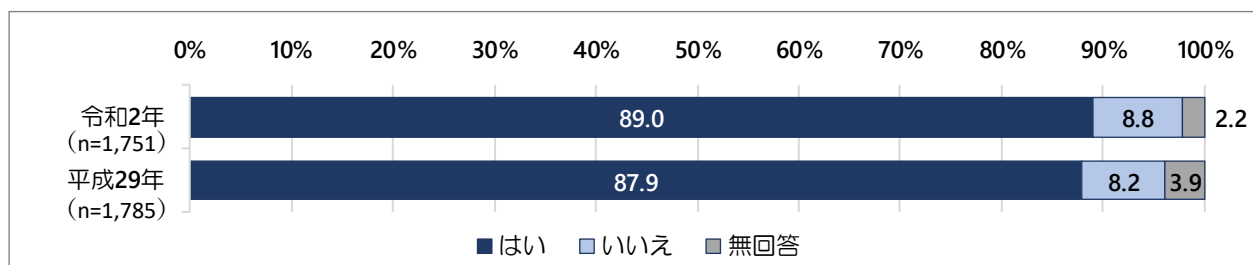
（4）口の渇きが気になりますか

「はい」が18.3%、「いいえ」が79.4%となっています。



(5) 歯みがき（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」が89.0%、「いいえ」が8.8%となっています。



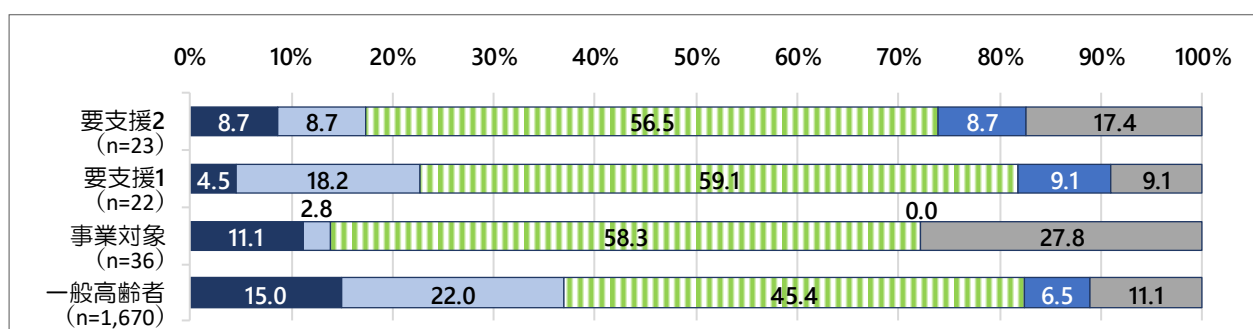
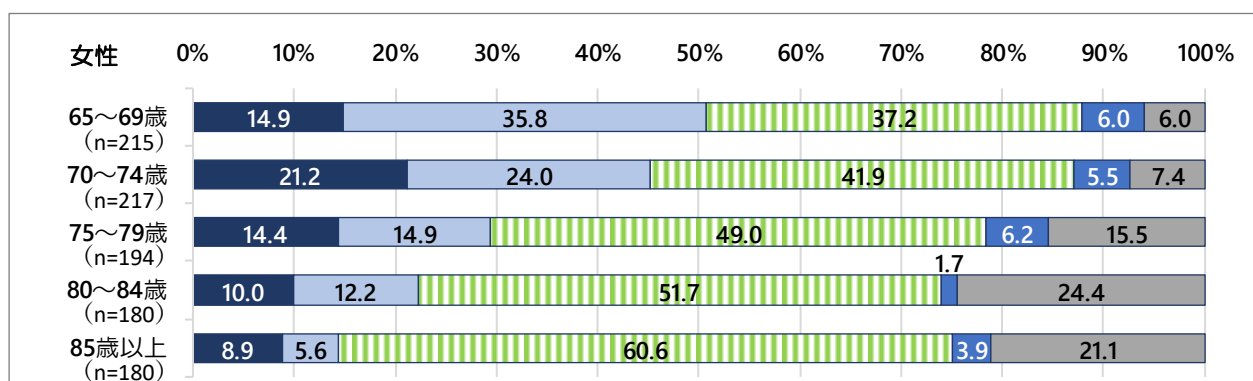
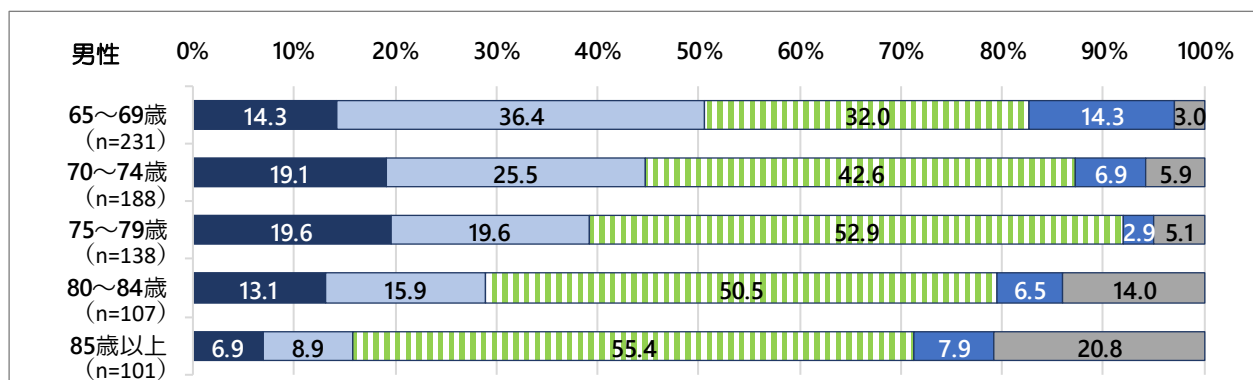
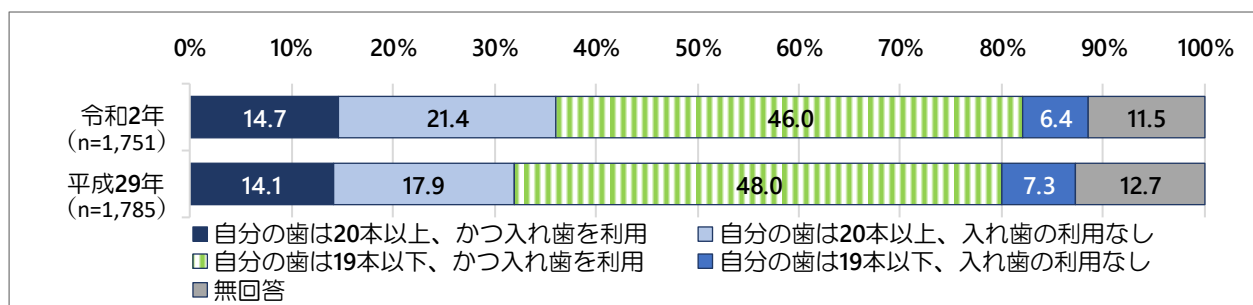
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

入れ歯の利用の有無にかかわらず、自分の歯が20本以上ある割合は36.1%、19本以下が52.4%となっています。

性別・年齢別にみると、性別によって大きな差はみられませんでした。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて歯が20本以上ある割合が低くなっています。

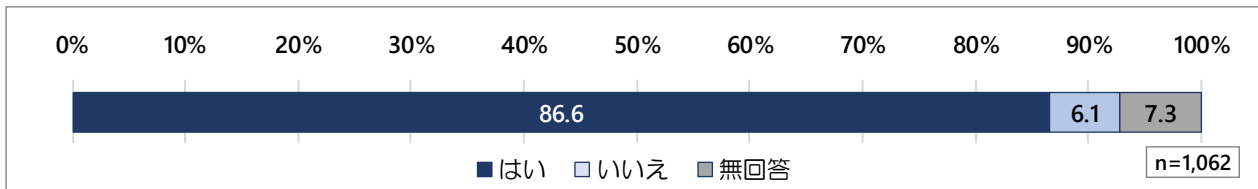
認定区分別にみると、歯が20本以上ある割合は「要支援2」は17.4%、「要支援1」は22.7%、「事業対象」が13.9%で、「一般高齢者」は37.0%となっています。



(6) で「入れ歯を利用」と回答した方にうかがいます

(6) ① 毎日入れ歯の手入れをしていますか

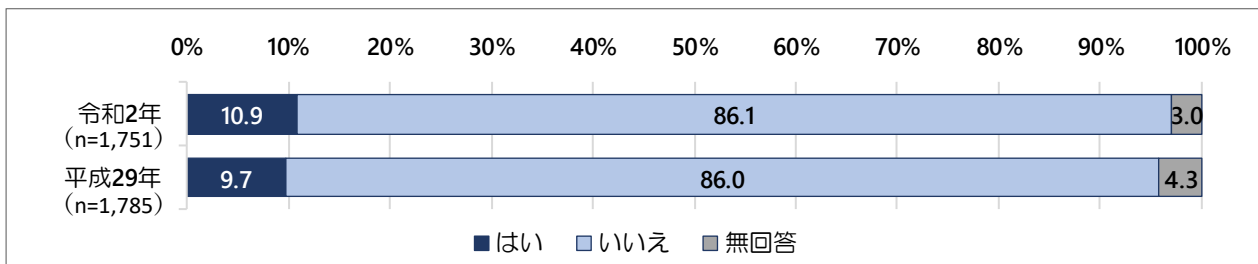
「はい」が86.6%、「いいえ」が6.1%となっています。



● 体重減少

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」が10.9%、「いいえ」が86.1%となっています。



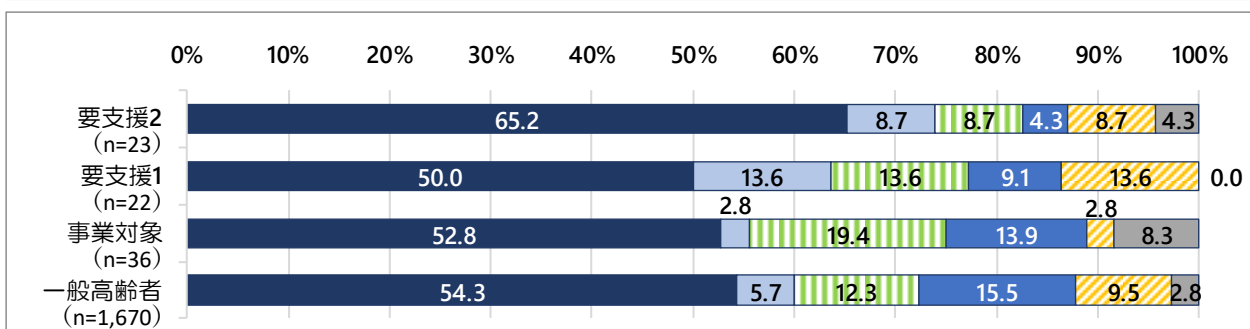
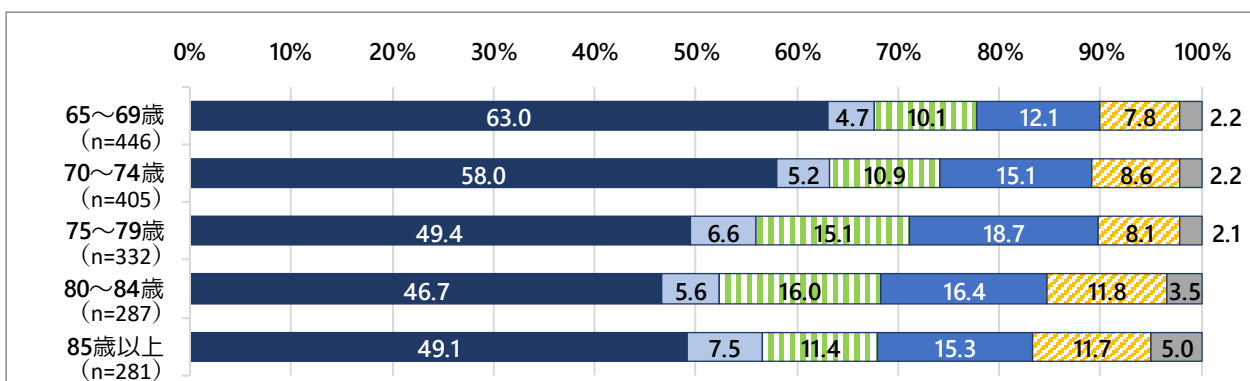
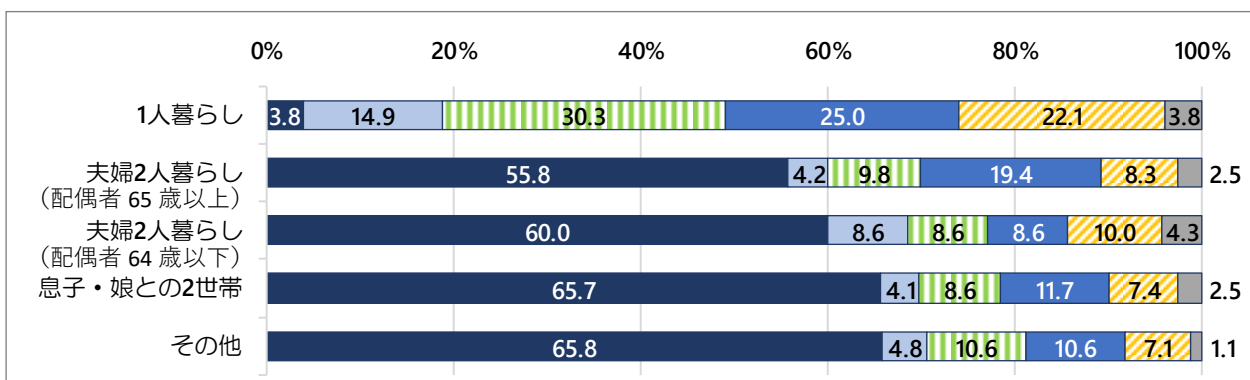
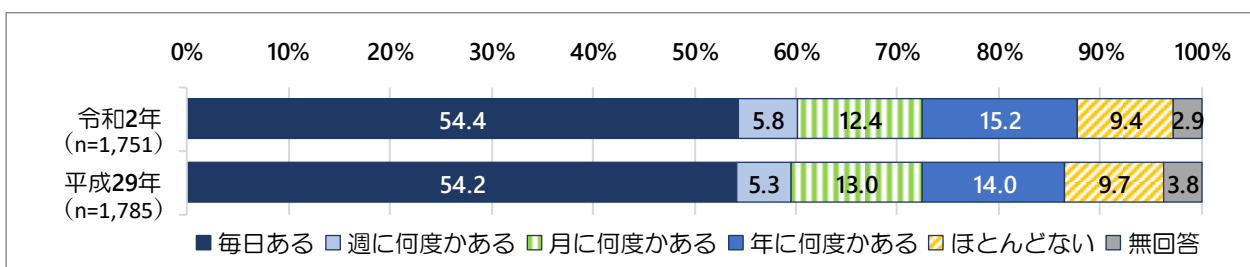
●共食

(8) どなたかと食事をともしる機会がありますか

「毎日ある」が54.4%、「週に何度かある」が5.8%、「月に何度かある」が12.4%、「年に何度かある」が15.2%で、「ほとんどない」が9.4%となっています。

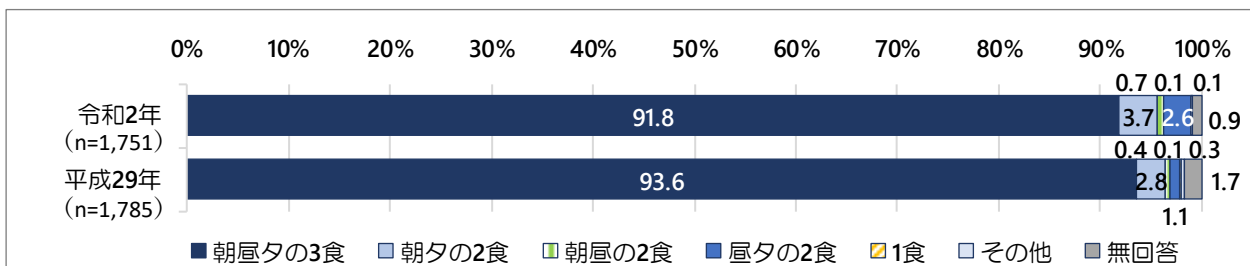
家族構成別にみると、「1人暮らし」では「毎日ある」が3.8%と低い一方で、「ほとんどない」が22.1%と高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「毎日ある」割合が低くなる傾向にあります。認定区分別にみると「要支援2」で「毎日ある」割合が高くなっています。



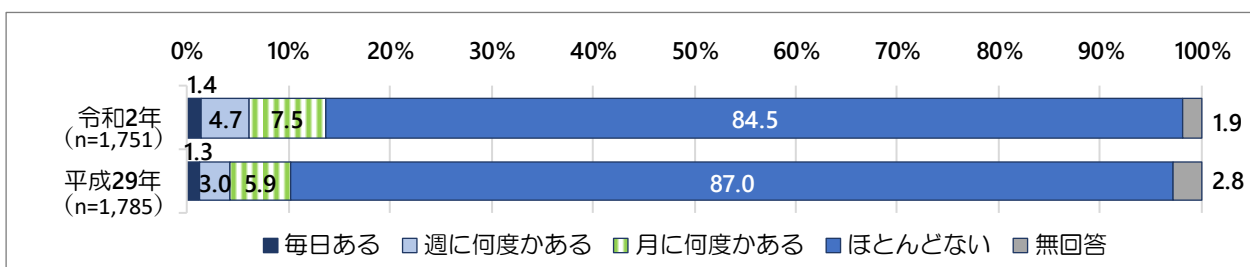
(9) 1日の食事の回数は何食ですか

「朝昼夕の3食」が91.8%となっています。



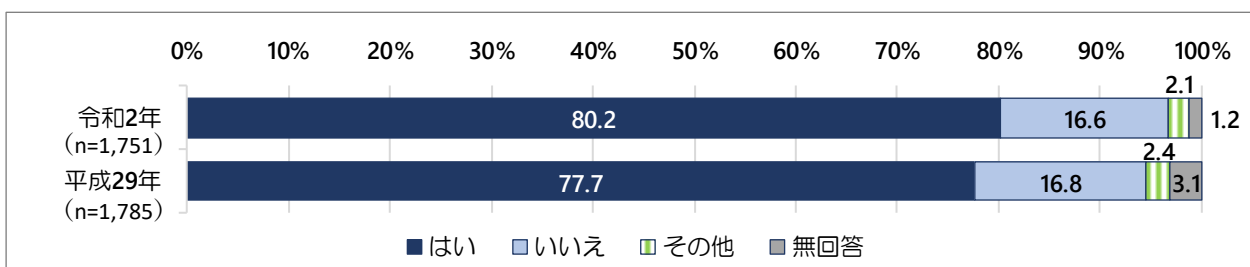
(10) 食事を抜くことがありますか

「ほとんどない」が84.5%となっています。一方で「毎日ある」が1.4%、「週に何度かある」が4.7%、「週に何度かある」が4.7%となっています。



(11) 毎食野菜を食べていますか

「はい」が80.2%、「いいえ」が16.6%となっています。



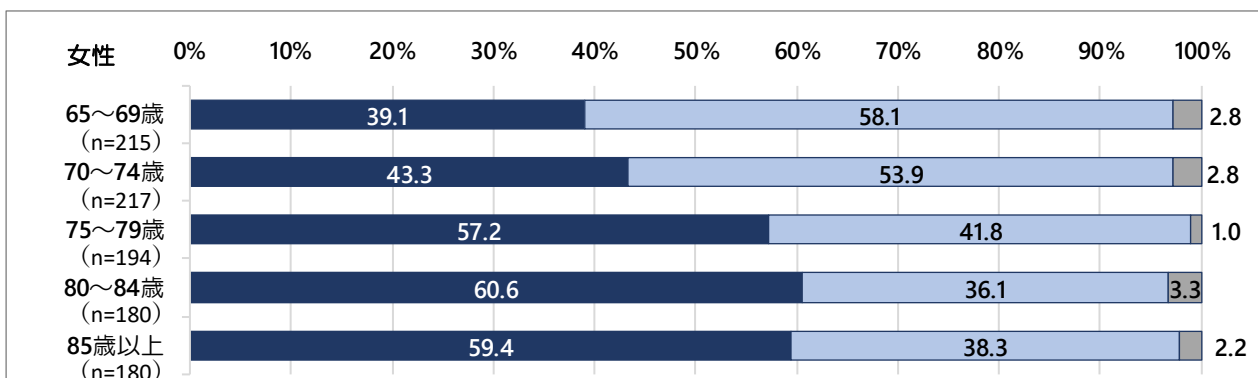
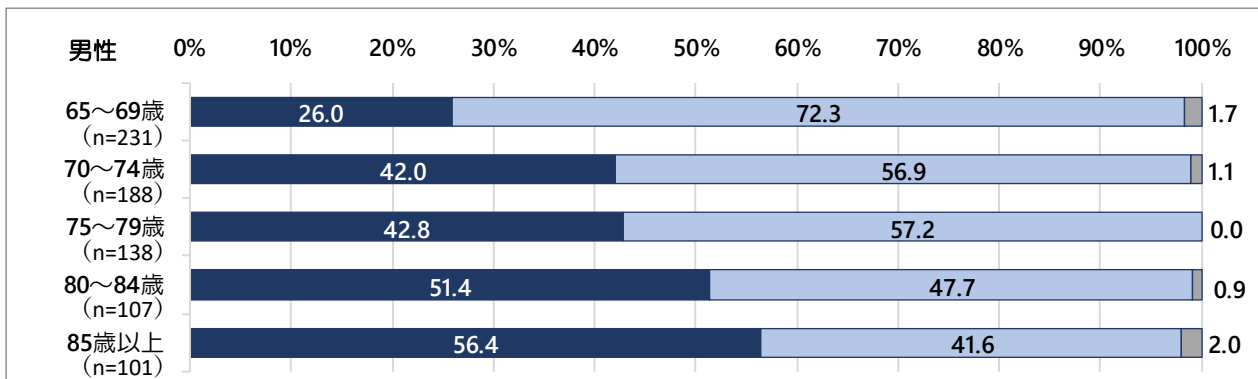
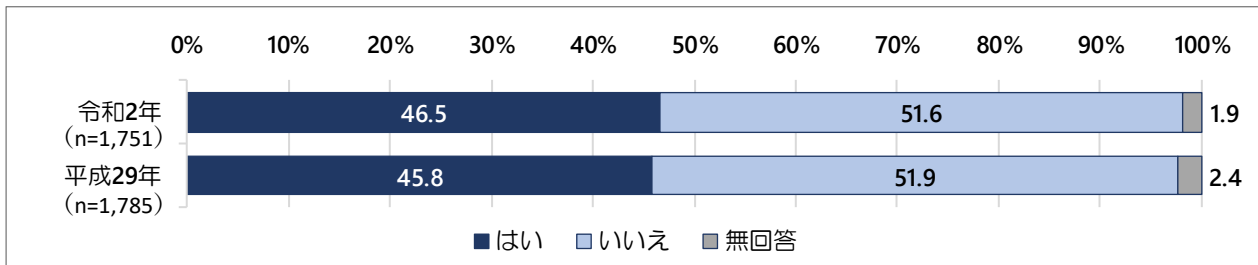
問 4 毎日の生活について

● 認知機能

(1) もの忘れが多いと感じますか

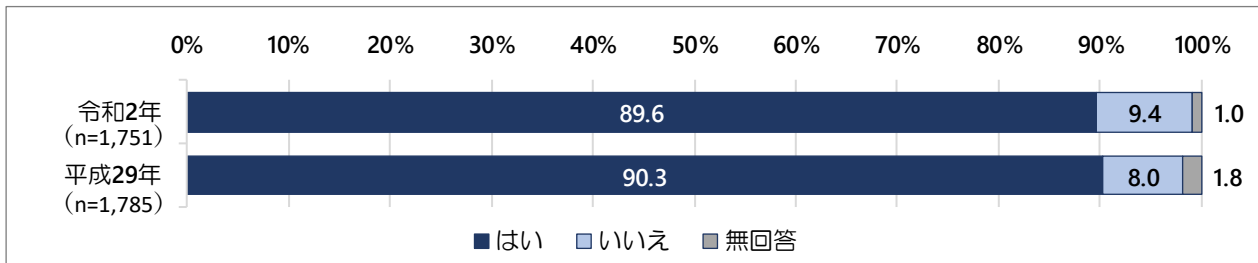
「はい」が46.5%、「いいえ」が51.6%となっています。

性別・年齢別にみると、全ての年齢層で男性より女性の方が「はい」の割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



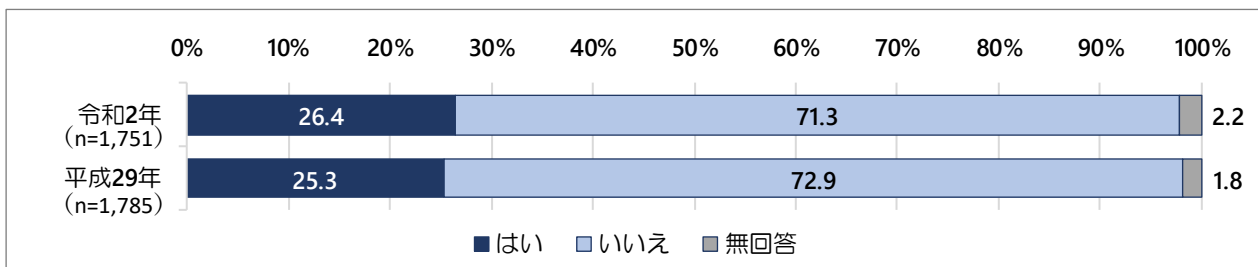
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が89.6%、「いいえ」が9.4%となっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」が26.4%、「いいえ」が71.3%となっています。



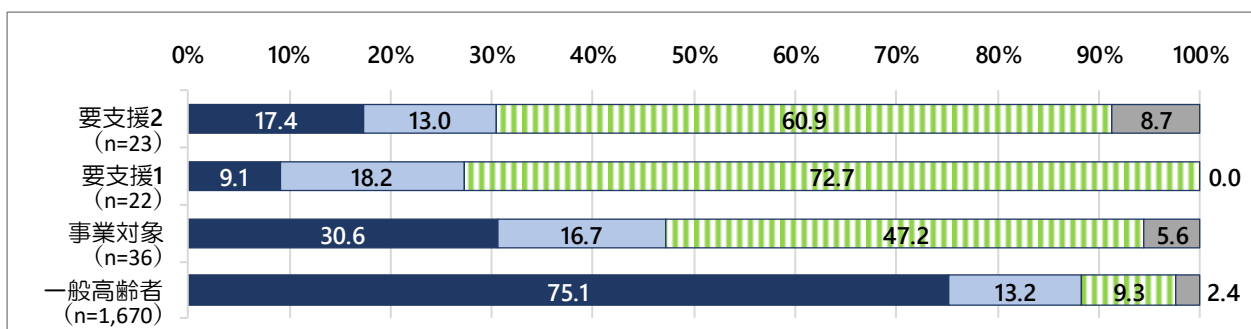
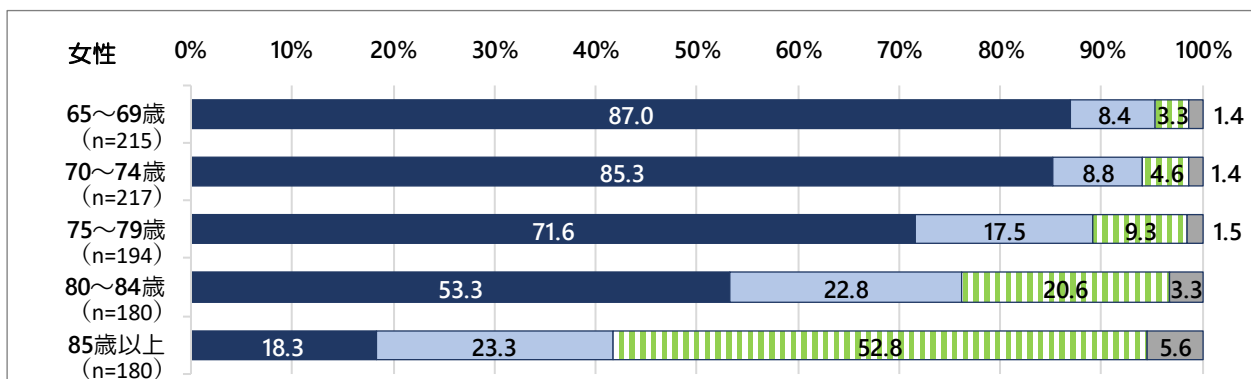
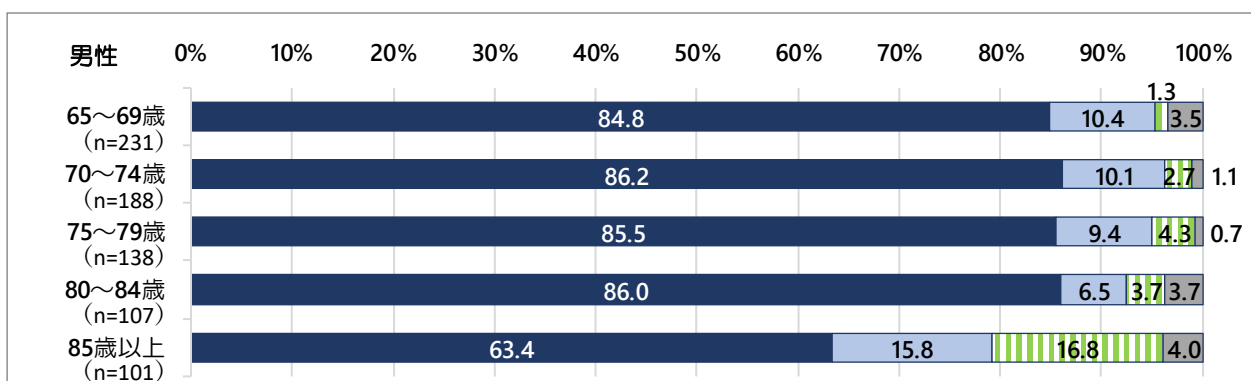
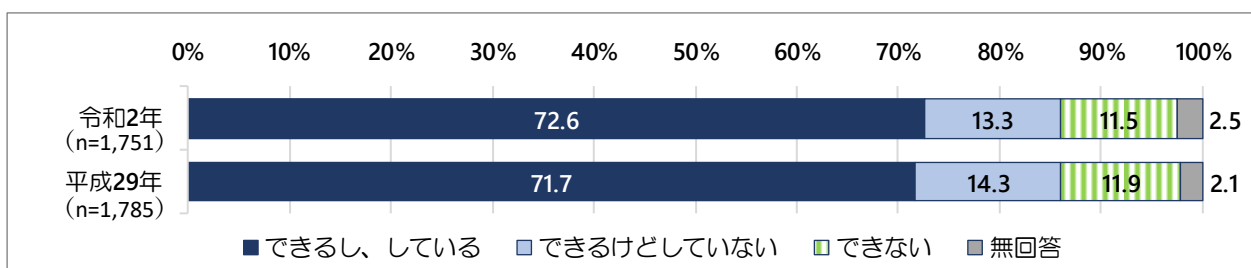
● IADL

(4) バスや電車で使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」が72.6%、「できない」が11.5%となっています。

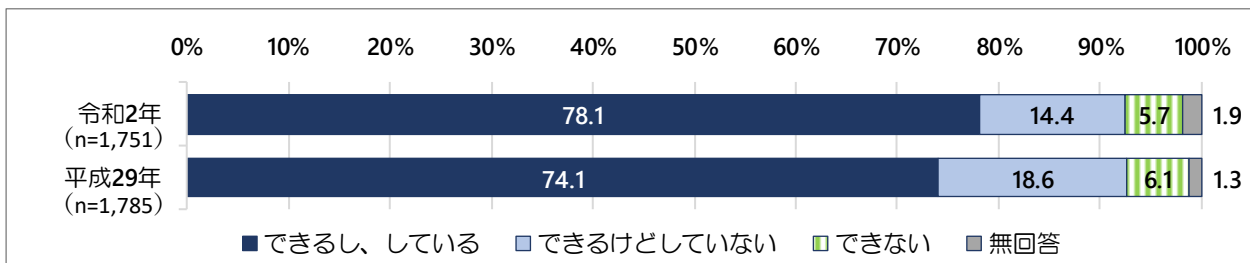
性別・年齢別にみると、男性は84歳まで「できるし、している」割合が85%前後になっていますが、女性は年齢が上がるにつれて「できるし、している」割合が低くなっており、「女性・85歳以上」では18.3%となっています。

認定区分別にみると、「できるし、している」割合は、「要支援2」は17.4%、「要支援1」は9.1%、「事業対象」が30.6%で、「一般高齢者」は75.1%となっています。



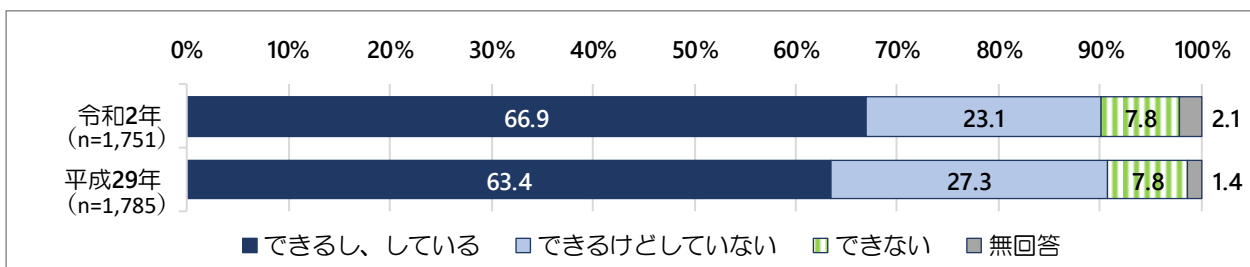
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が78.1%、「できない」が5.7%となっています。



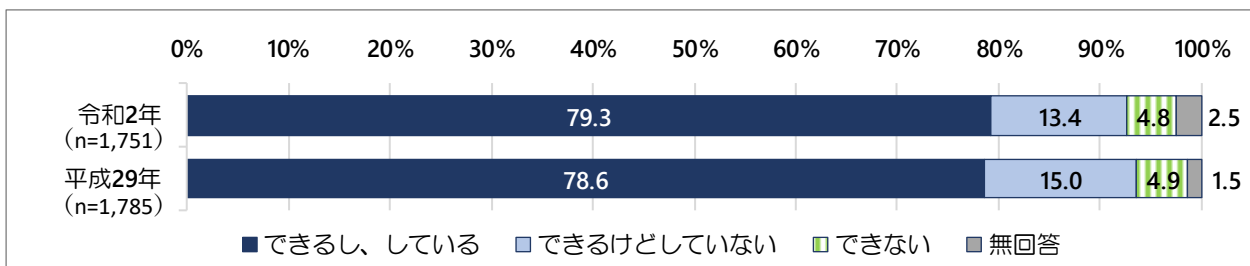
(6) 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が66.9%、「できない」が7.8%となっています。



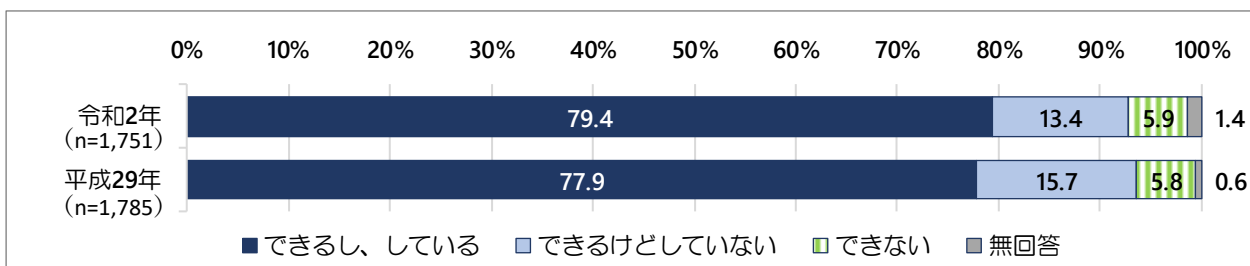
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が79.3%、「できない」が4.8%となっています。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

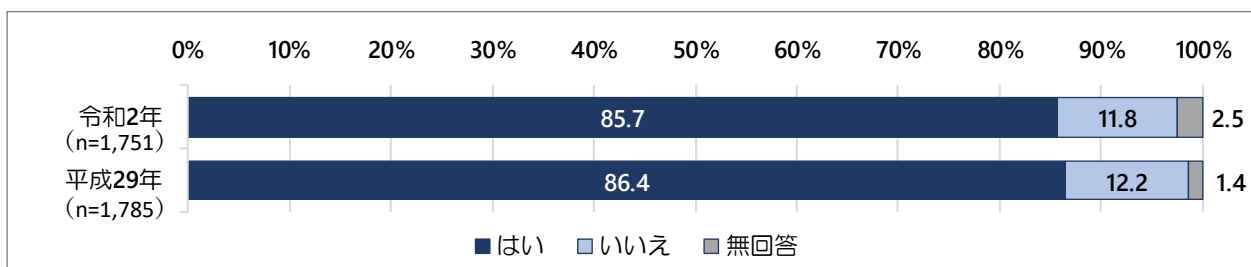
「できるし、している」が79.4%、「できない」が5.9%となっています。



●知的能動性

(9) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が85.7%、「いいえ」が11.8%となっています。



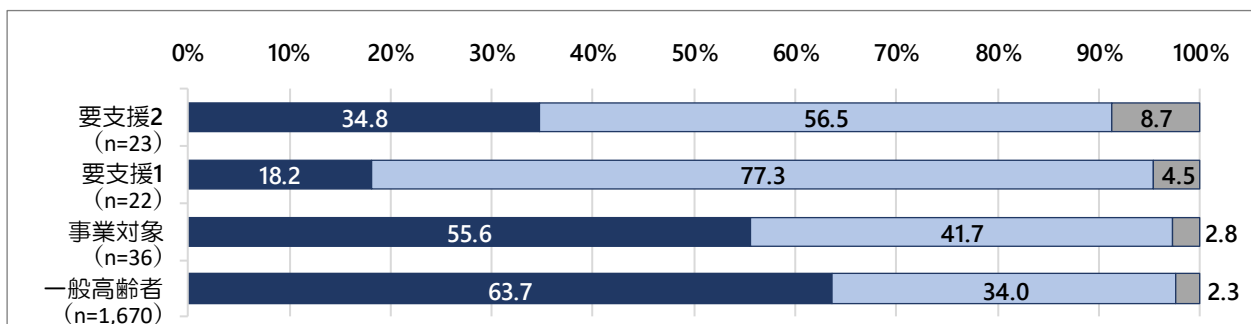
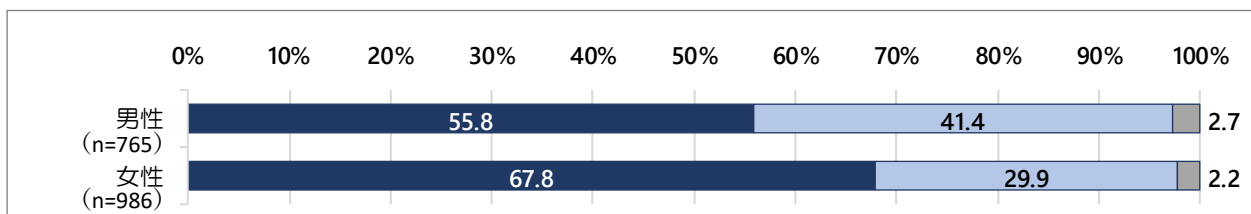
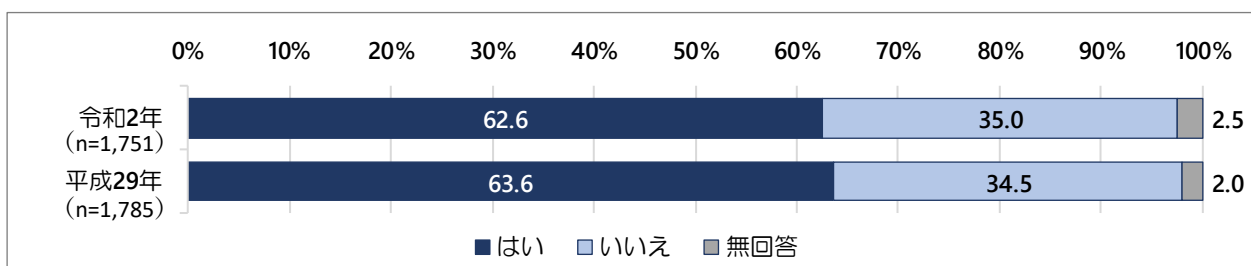
●他者との関わり

(10) 友人の家を訪ねていますか

「はい」が62.6%、「いいえ」が35.0%となっています。

性別にみると、男性より女性の方が「はい」の割合が高くなっています。

認定区分別にみると、「はい」の割合が最も低いのは「要支援1」で18.2%となっています。「要支援2」は34.8%、「事業対象」が55.6%で、「一般高齢者」は63.7%となっています。

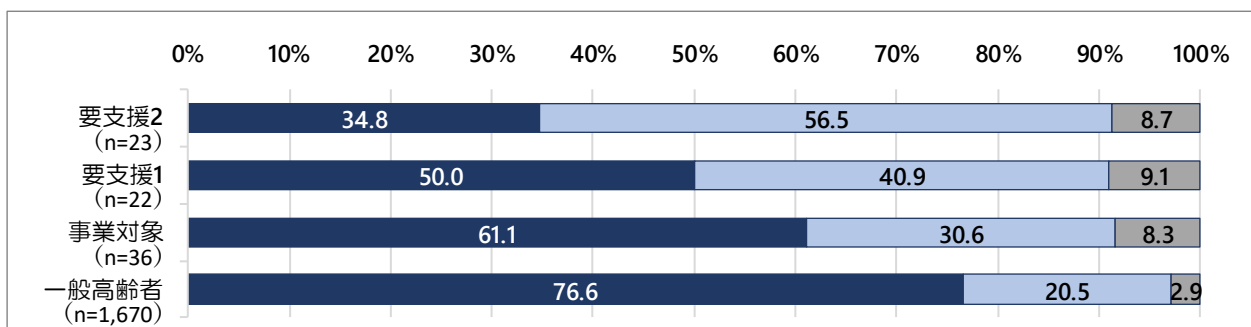
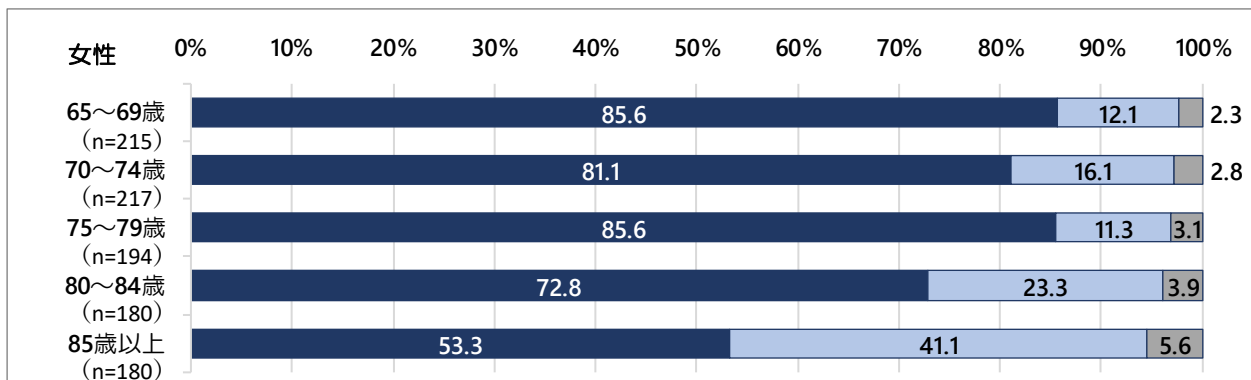
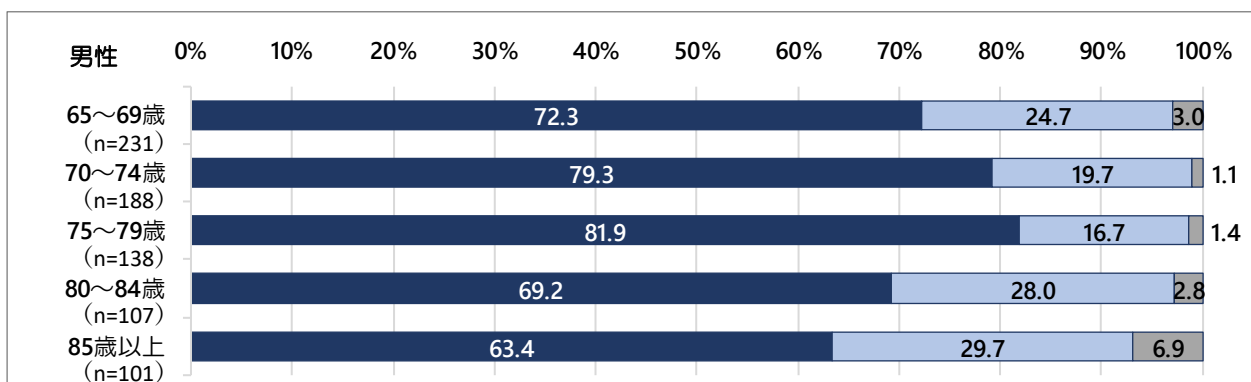
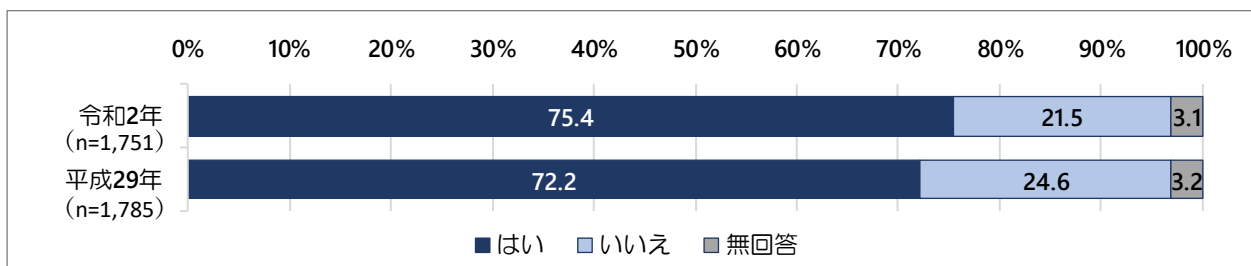


(11) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が75.4%、「いいえ」が21.5%となっています。

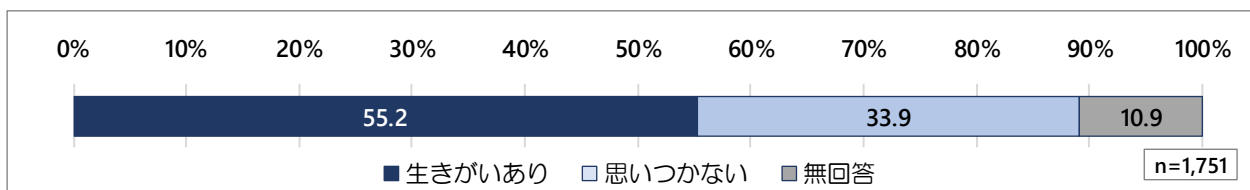
性別・年齢別にみると、男性より女性の方が「はい」の割合が高い傾向にあります。男性・女性ともに80歳を超えると「はい」の割合が低くなっています。

認定区分別にみると、「はい」の割合は「要支援2」は34.8%、「要支援1」は50.0%、「事業対象」が61.1%で、「一般高齢者」は76.6%となっています。



(12) 生きがいがありますか

「生きがいあり」が55.2%、「思いつかない」が33.9%となっています。具体的には「(子どもや孫など) 家族」、「(畑仕事など) 農業・仕事」、「趣味」などが多くあがっています。

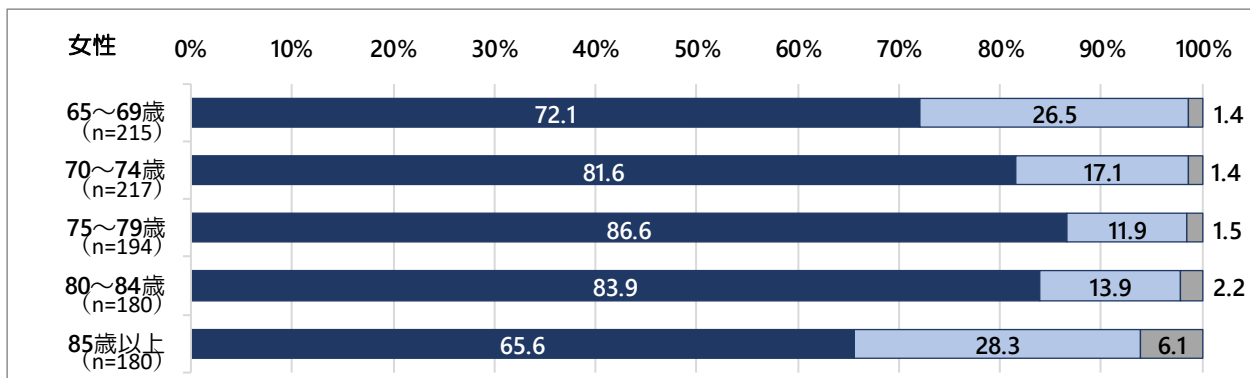
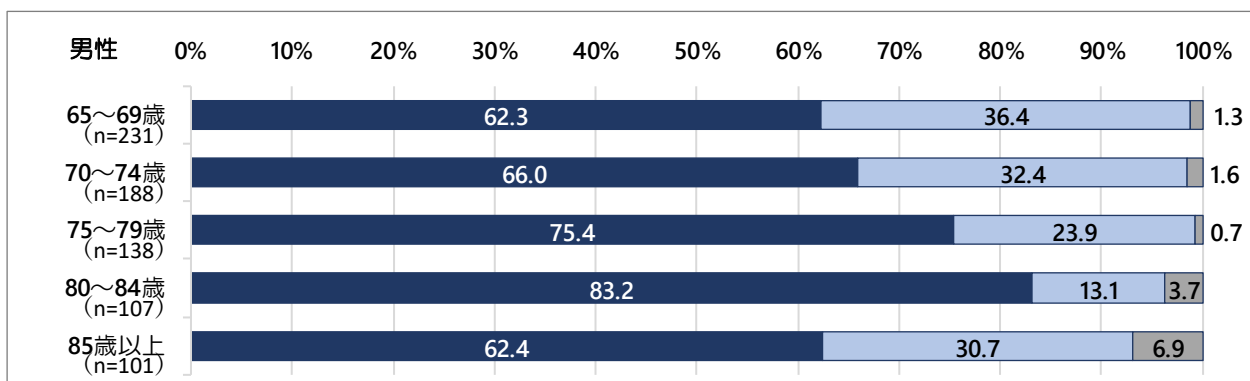
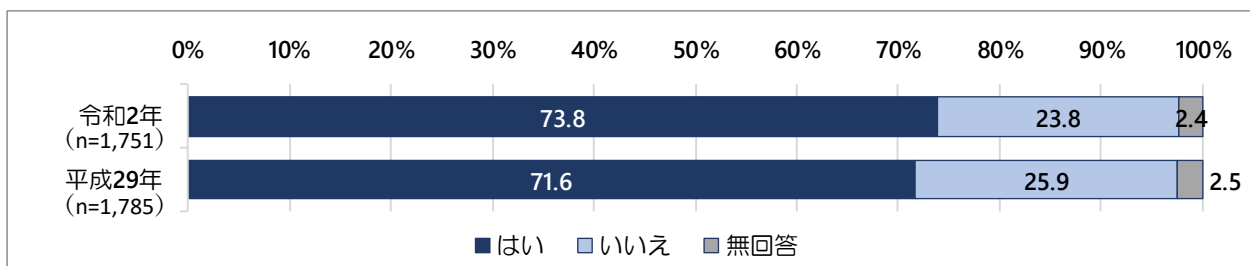


*平成29年はこの設問はありませんでした。

(13) 健康（介護予防）のために意識して行っていることはありますか

「はい」が73.8%、「いいえ」が23.8%となっています。

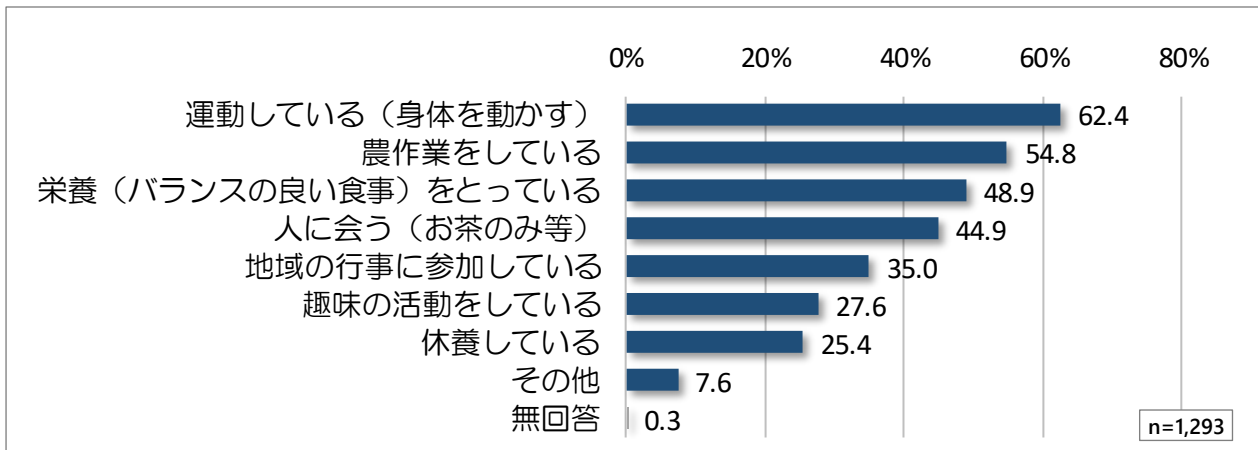
性別・年齢別にみると、すべての年齢層で、男性より女性の方が「はい」の割合が高くなっています。男性・女性ともに「85歳以上」で「はい」の割合が低くなっています。



(13) で「はい」と回答した方にうかがいます

(13) ① 健康（介護予防）のために意識して行っていることはどのようなことですか
（複数回答）

「運動している」が62.4%と最も高く、次いで「農作業をしている」が54.8%、「栄養（バランスのよい食事）をとっている」が48.9%、「人に会う」が44.9%などとなっています。



*その他は、「仕事・ボランティア活動をする」、「庭仕事をする」などとなっています。

問5 地域での活動について

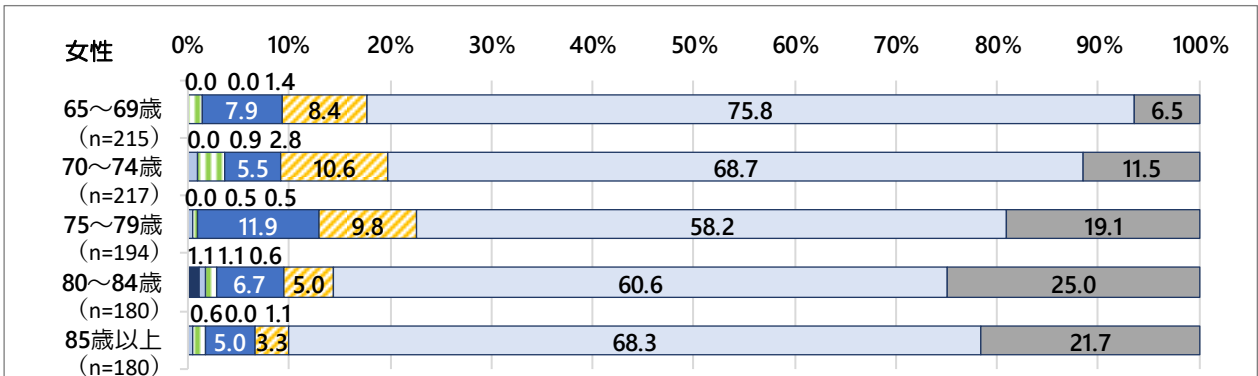
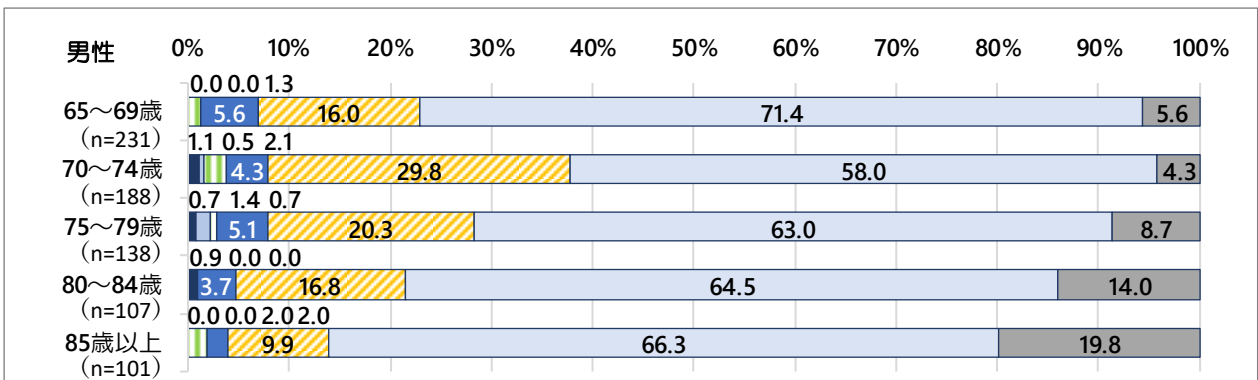
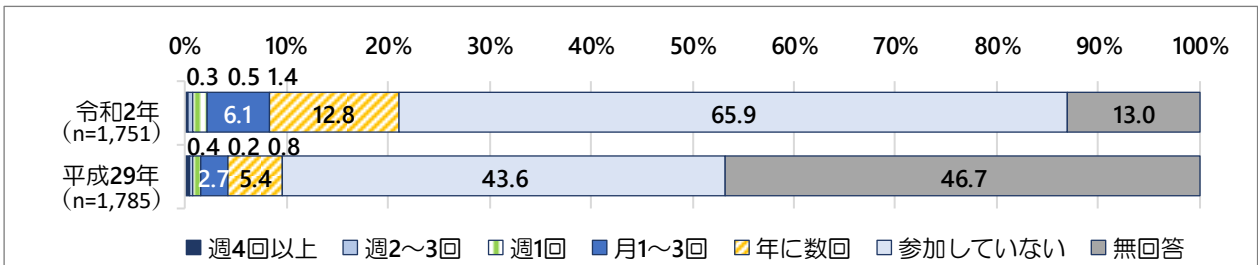
● 地域活動への参加の頻度

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ

「年に数回」が12.8%、「月1～3回」が6.1%となっています。

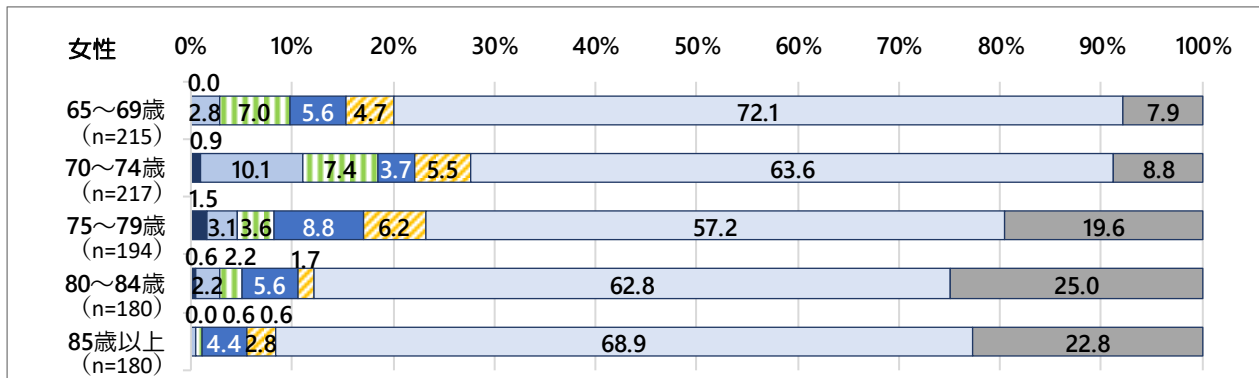
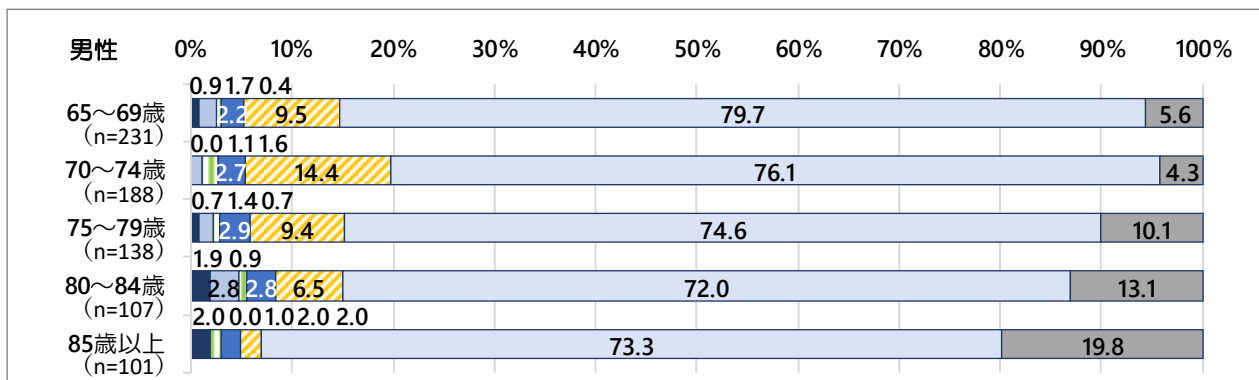
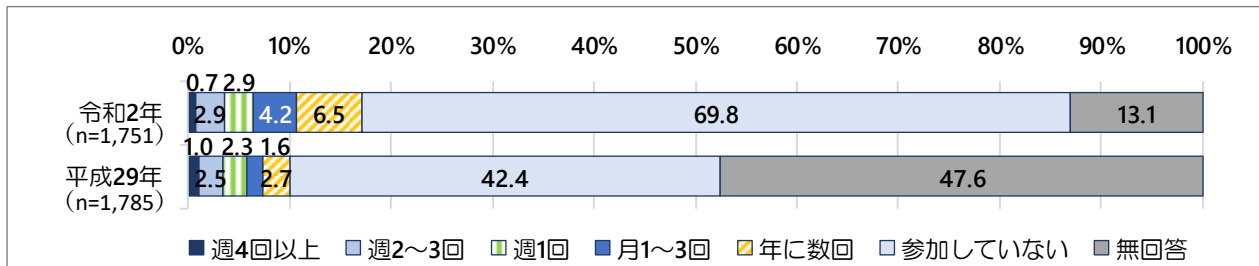
性別・年齢別にみると、「年に数回」の割合は女性より男性の方が高く、「月1～3回」の割合は女性の方が高くなっています。



② スポーツ関係のグループやクラブ

「年に数回」が6.5%、「月1～3回」が4.2%となっています。

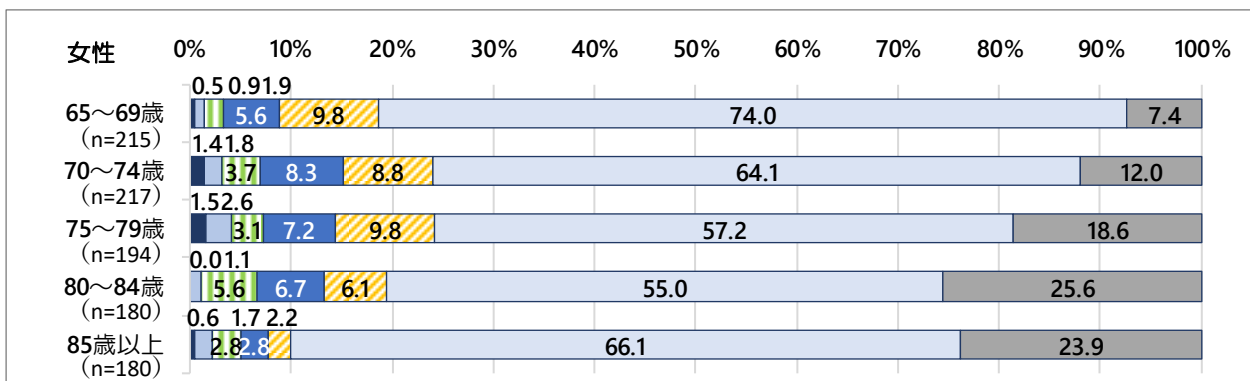
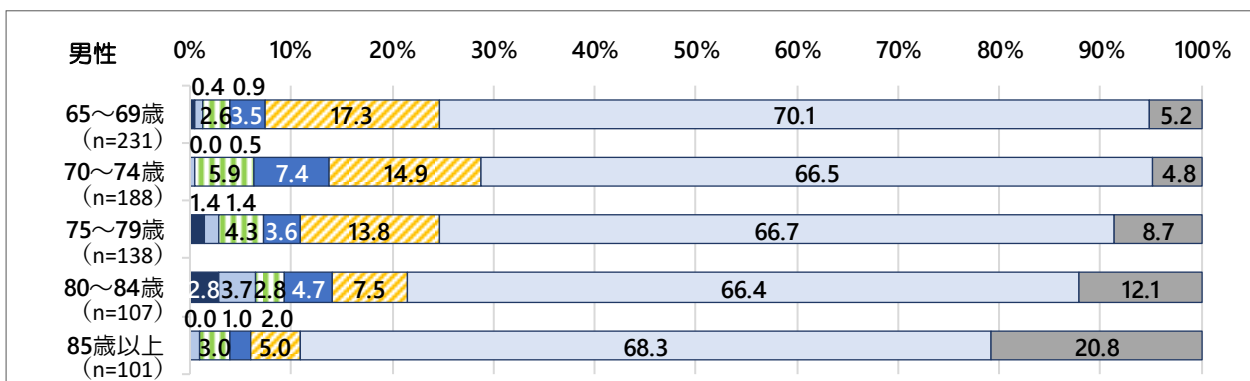
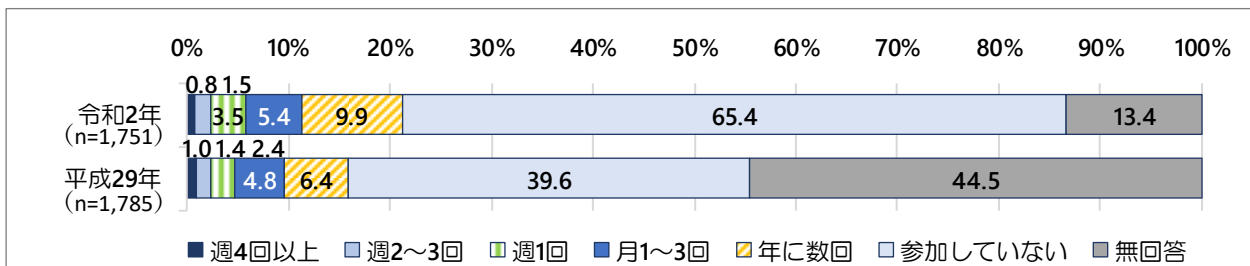
性別・年齢別にみると、週1回以上参加している割合は男性より女性の方が高くなっています。男性・女性ともに「70～74歳」で参加している割合が高くなっています。



③ 趣味関係のグループ

「年に数回」が9.9%、「月1～3回」が5.4%となっています。

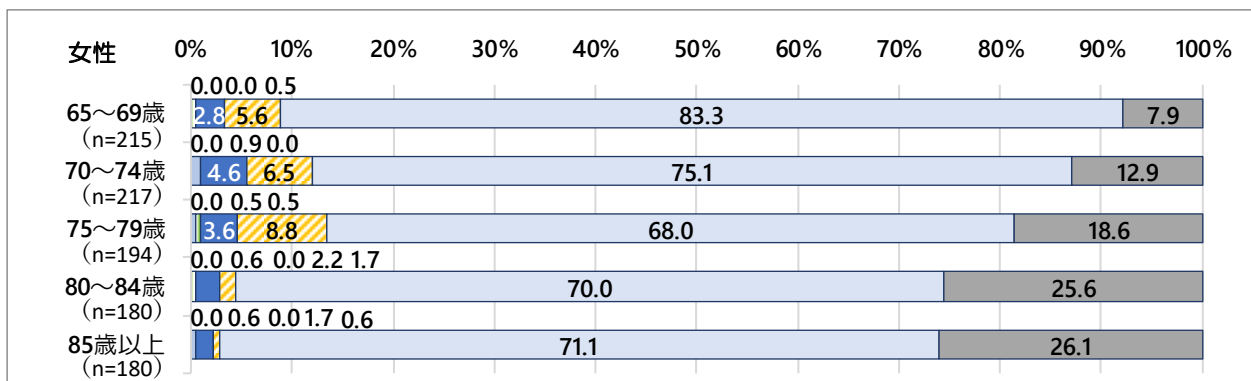
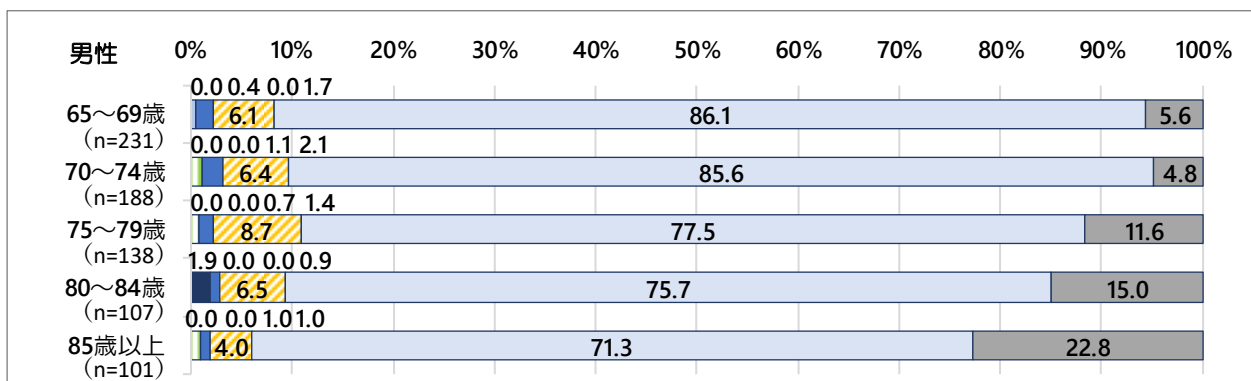
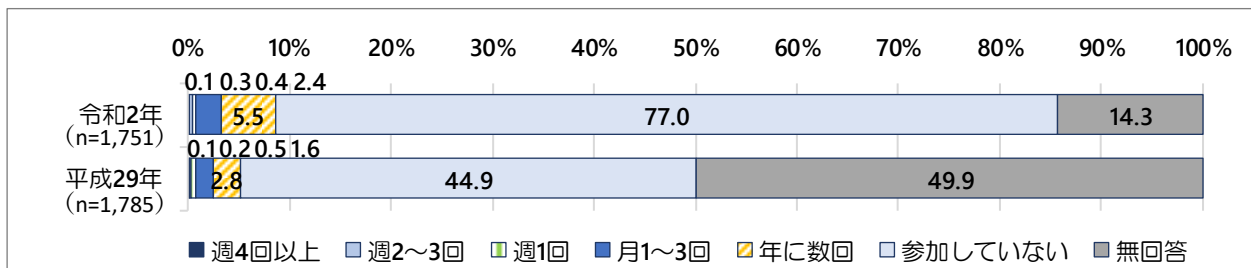
性別・年齢別にみると、男性・女性ともに年齢が上がるにつれて参加している割合が低くなっています。



④ 学習・教養サークル

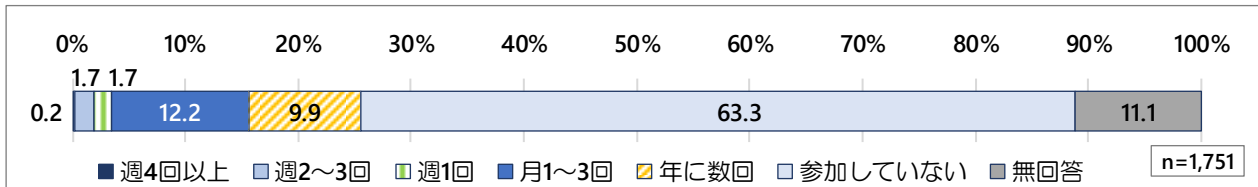
「年に数回」が5.5%となっています。

性別・年齢別にみると、全体的に参加割合が低く、はっきりした傾向はみられませんでした。

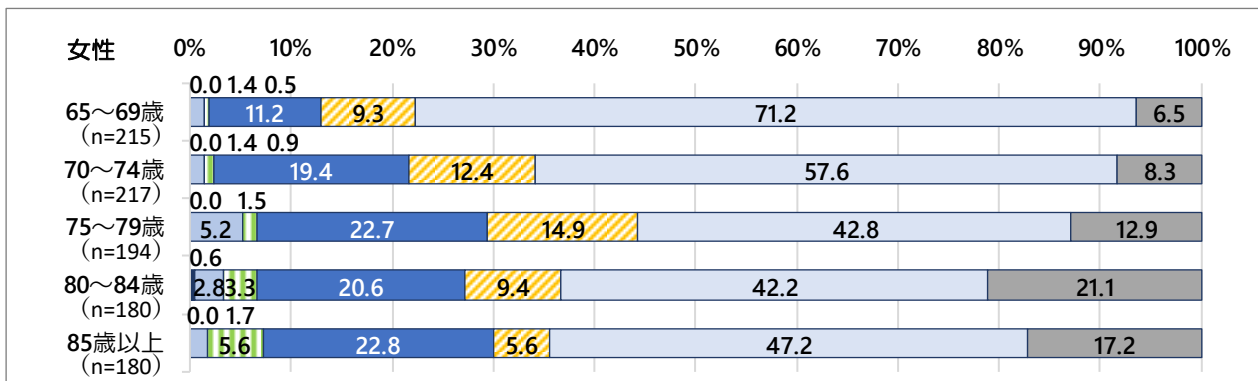
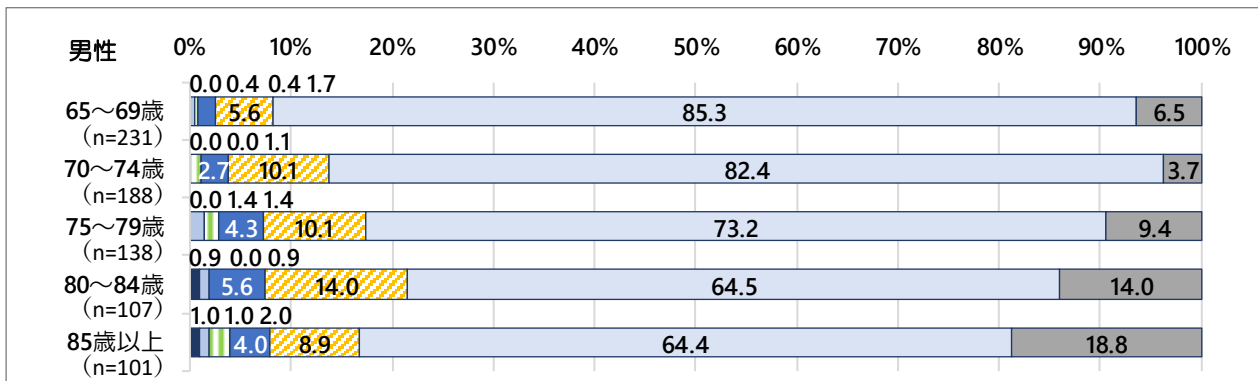


⑤ 地域の茶の間・地域の運動教室・居場所（つなぐ）など介護予防のための通いの場

「月1～3回」が12.2%、「年に数回」が9.9%となっています。
性別・年齢別にみると、すべての年齢層で女性の方が参加割合が高くなっています。



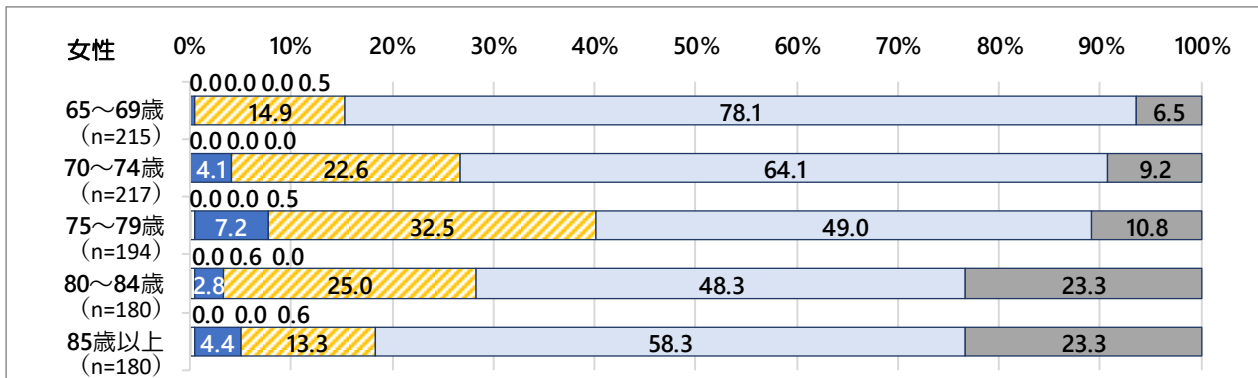
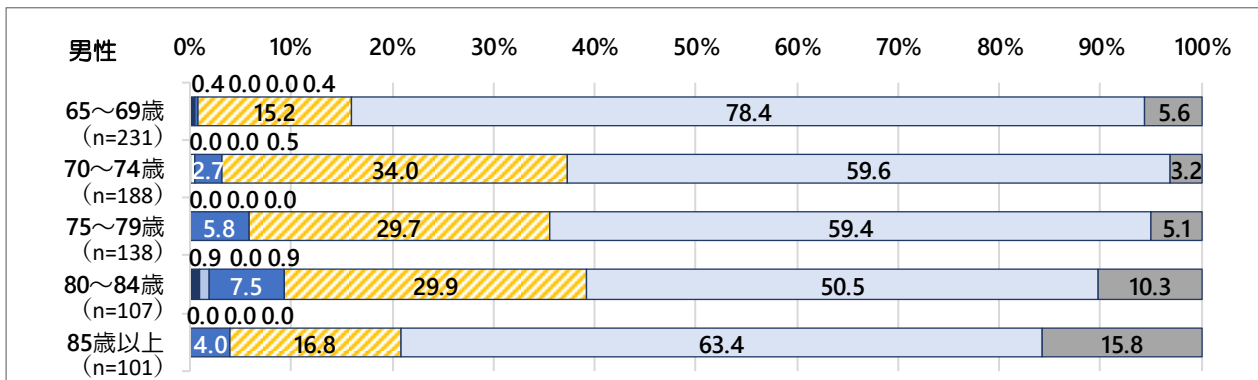
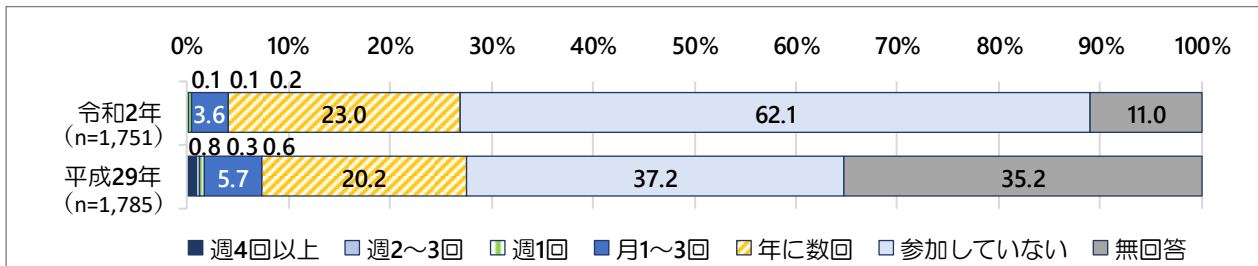
*平成29年はこの設問はありませんでした。



◎ 老人クラブ

「年に数回」が23.0%となっています。

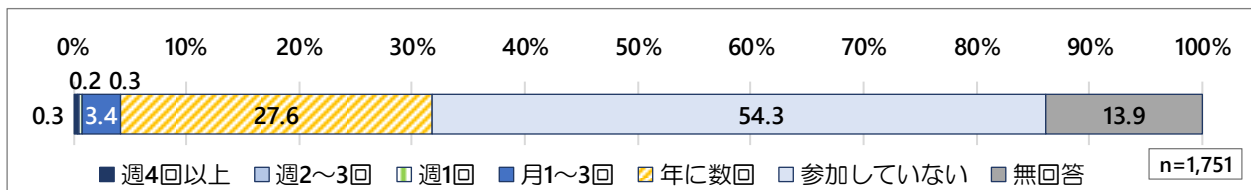
性別・年齢別にみると、女性より男性の方が参加割合が高い傾向にあります。男性・女性ともに70～84歳で参加割合が高くなっています。



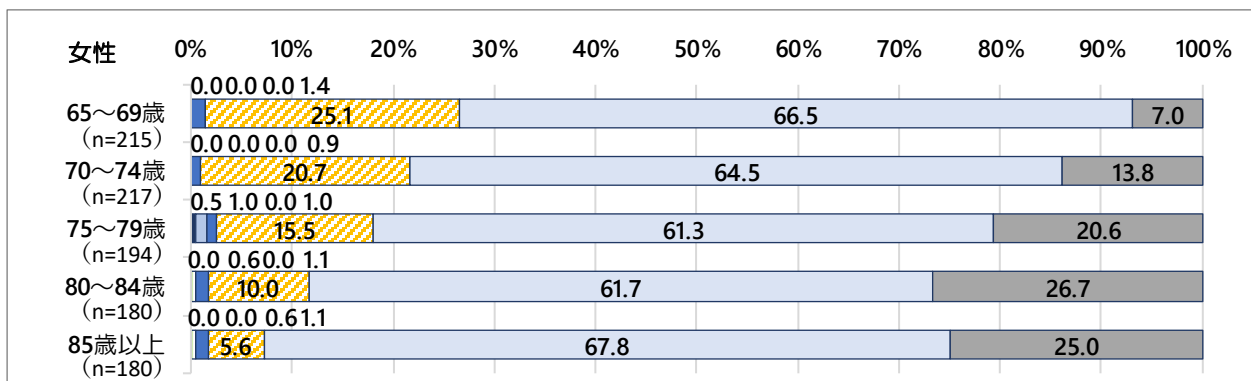
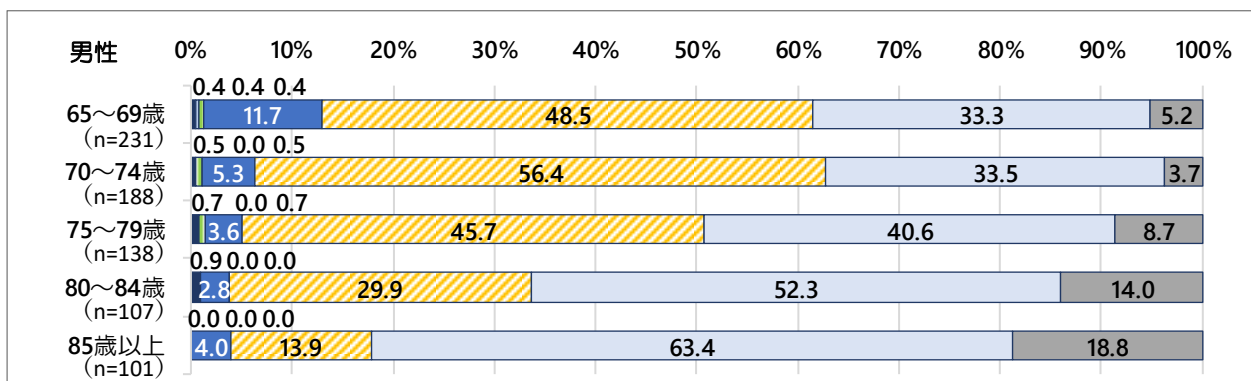
⑦ 町内会・自治会

「年に数回」が27.6%となっています。

性別・年齢別にみると、全ての年齢層で男性の方が参加割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて参加率が低くなっています。



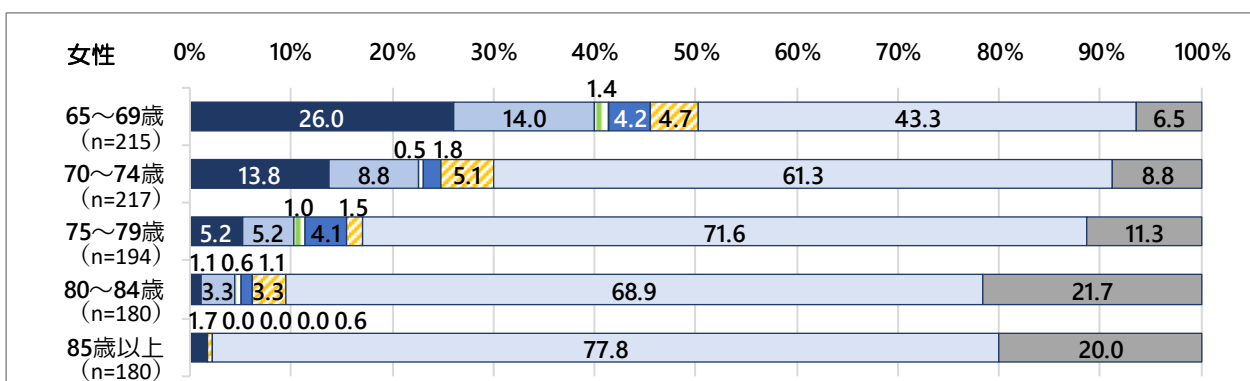
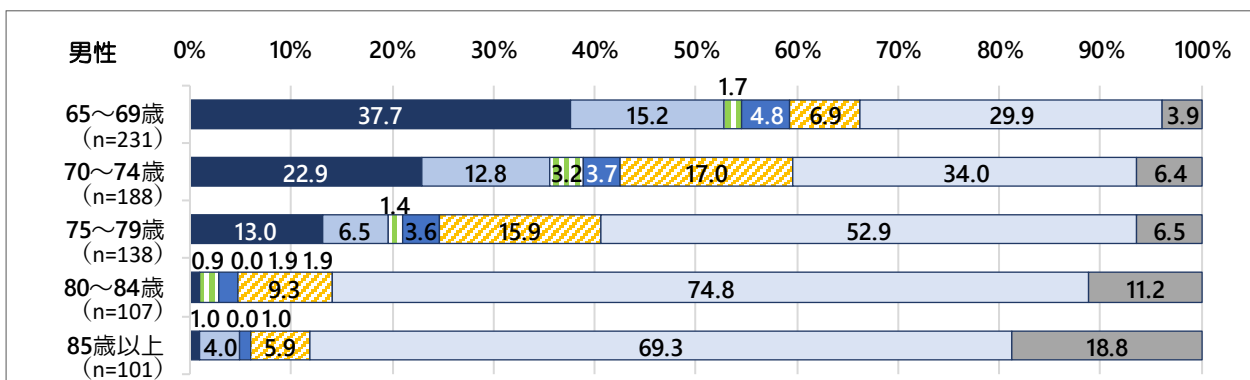
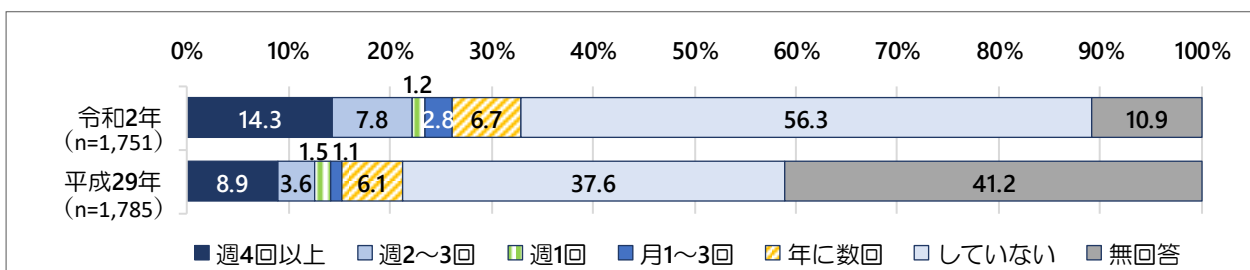
*平成29年はこの設問はありませんでした。



⑧ 収入のある仕事

「週4回以上」が14.3%、「週2～3回」が7.8%となっています。

性別・年齢別にみると、全ての年齢層で男性の方が収入のある仕事をしている割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて仕事をしている割合は低くなっています。

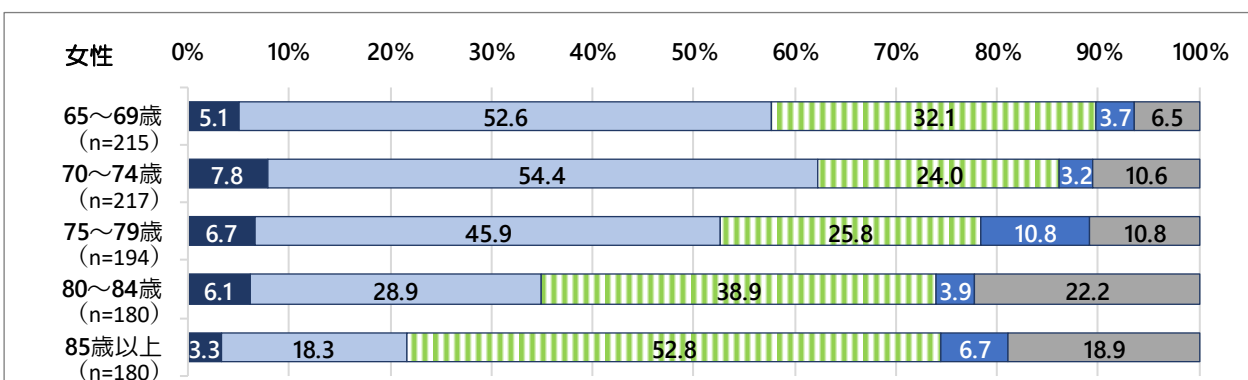
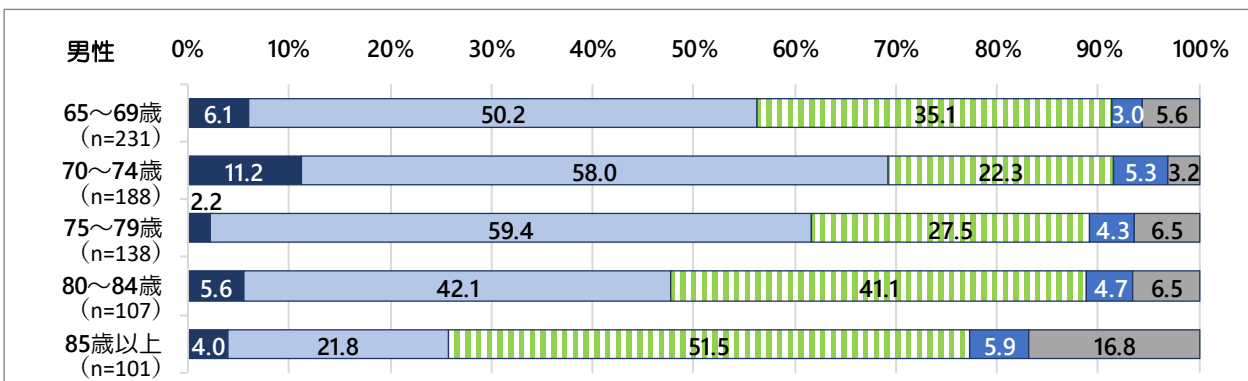
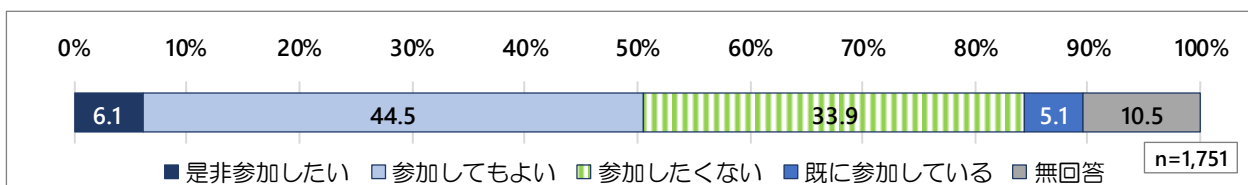


●地域づくり活動への参加意向

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「是非参加したい」が6.1%、「参加してもよい」が44.5%で、「既に参加している」は5.1%となっています。

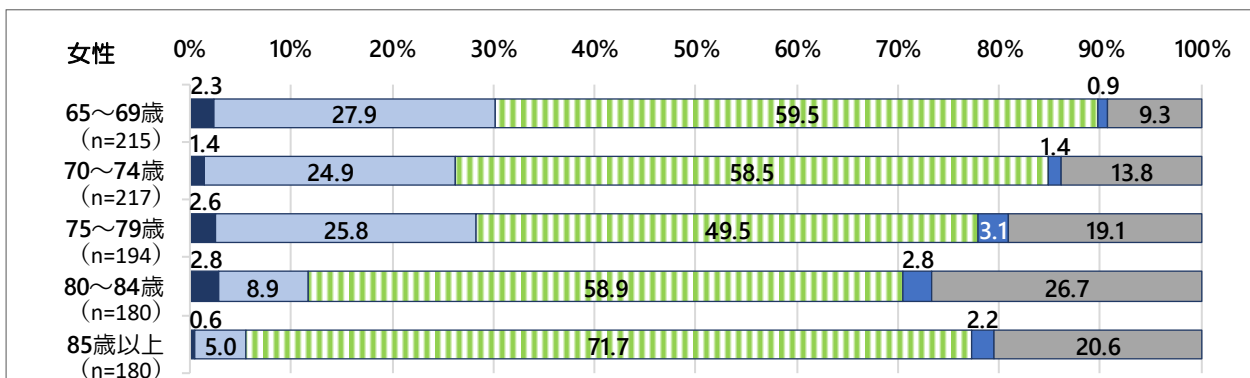
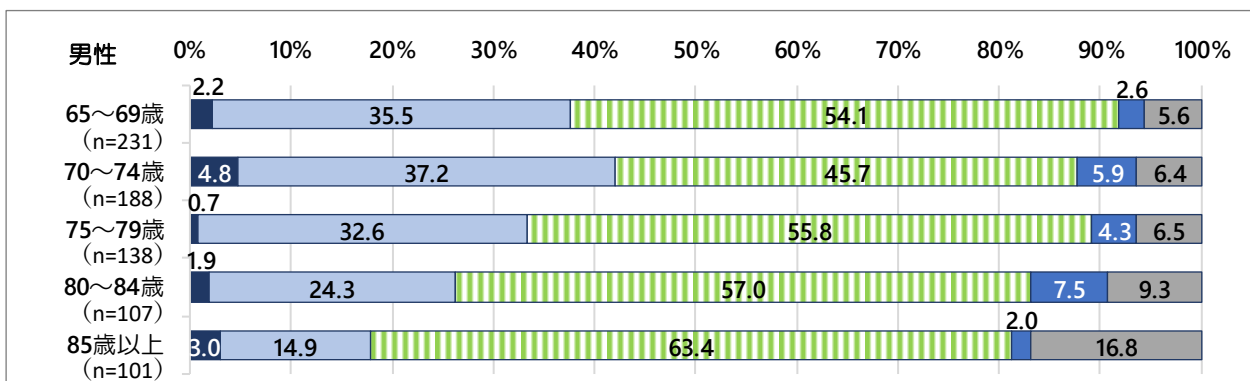
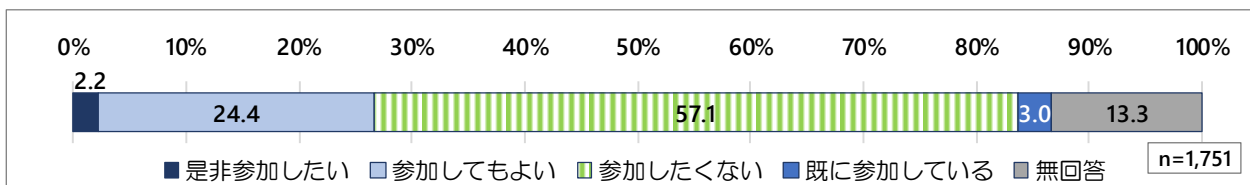
性別・年齢別にみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」割合は、男性・女性ともに「70～74歳」で最も高くなっており、75歳を超えると年齢が上がるにつれて低くなっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「是非参加したい」が2.2%、「参加してもよい」が24.4%で、「既に参加している」は3.0%となっています。

性別・年齢別にみると、「既に参加している」、「参加してもよい」割合は、女性よりも男性の方が高くなっています。男性・女性ともに75歳を超えると年齢が上がるにつれて「参加してもよい」割合が低くなっています。

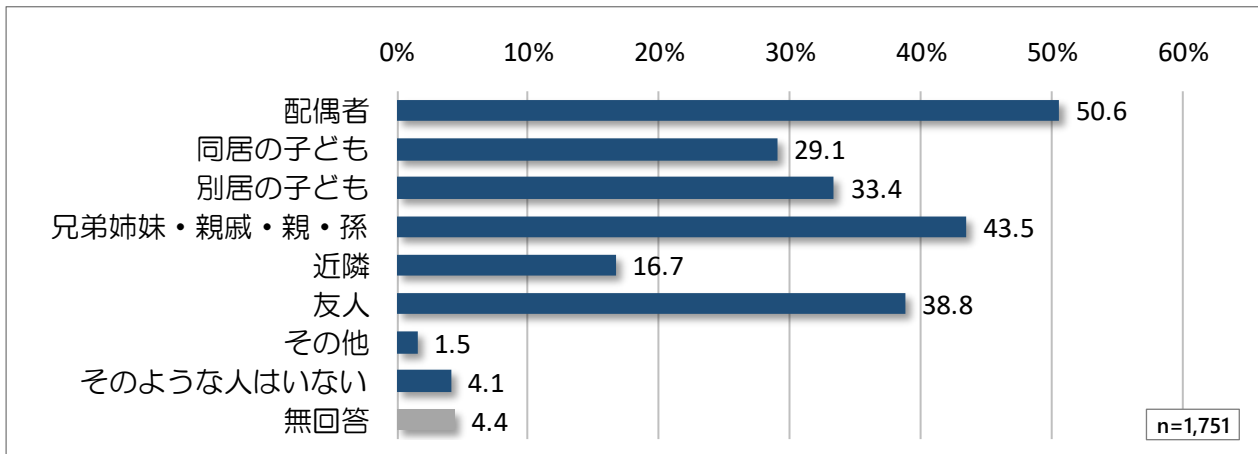


問6 助けあいについて

● 周囲との助けあいの状況

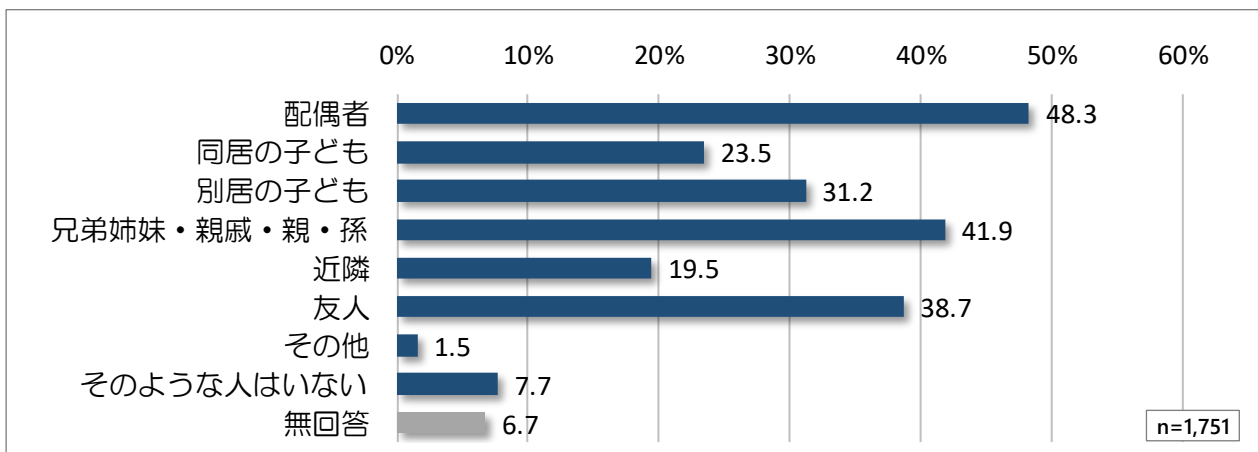
(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

「配偶者」が50.6%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が43.5%、「友人」が38.8%などとなっています。一方で「そのような人はいない」は4.1%となっています。



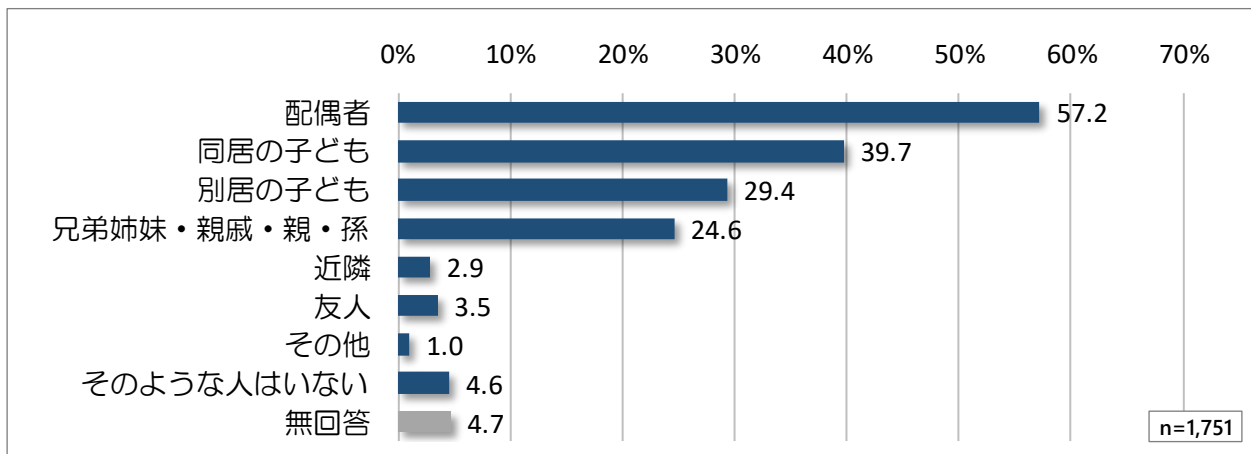
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

「配偶者」が48.3%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が41.9%、「友人」が38.7%などとなっています。一方で「そのような人はいない」は7.7%となっています。



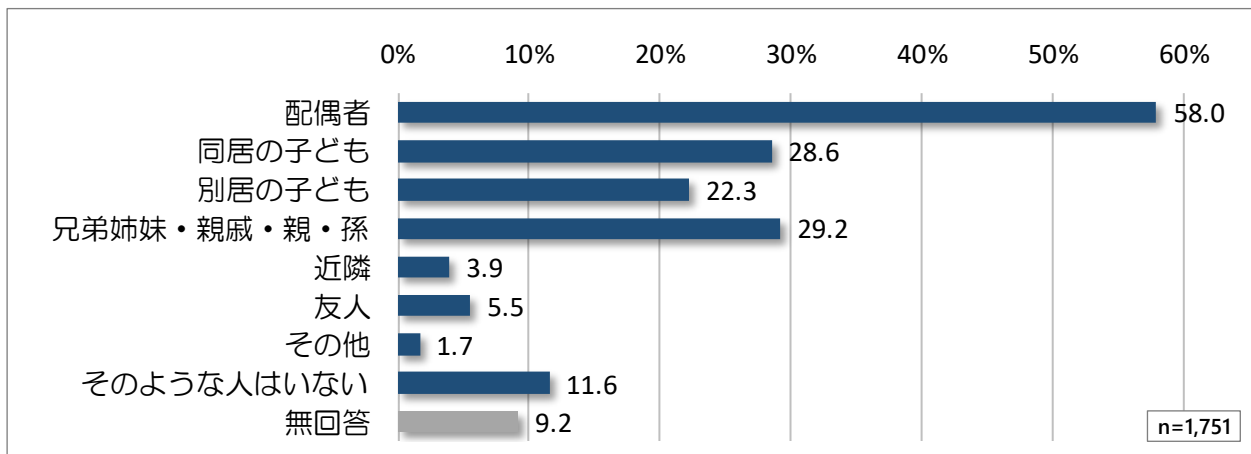
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

「配偶者」が57.2%と最も高く、次いで「同居の子ども」が39.7%、「別居の子ども」が29.4%などとなっています。一方で「そのような人はいない」は4.6%となっています。



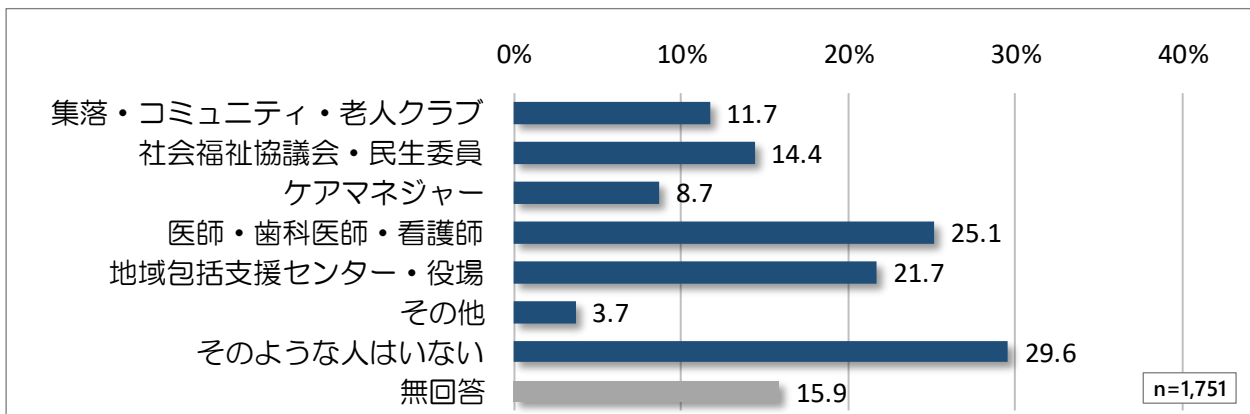
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数回答）

「配偶者」が58.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.2%、「同居の子ども」が28.6%などとなっています。一方で「そのような人はいない」は11.6%となっています。



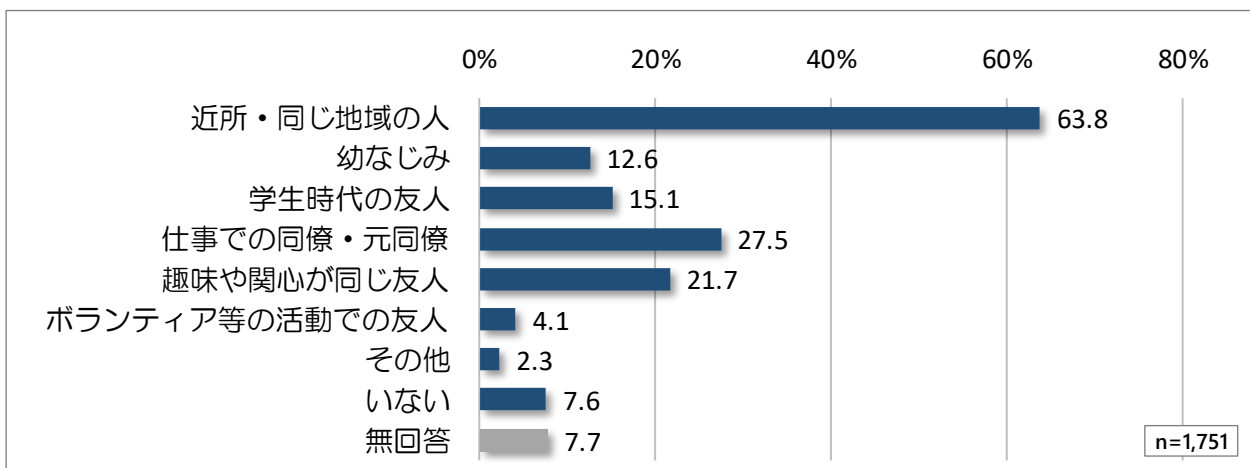
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数回答）

「医師・歯科医師・看護師」が25.1%、「地域包括支援センター・役場」が21.7%などとなっていますが、「そのような人はいない」が29.6%と最も高くなっています。



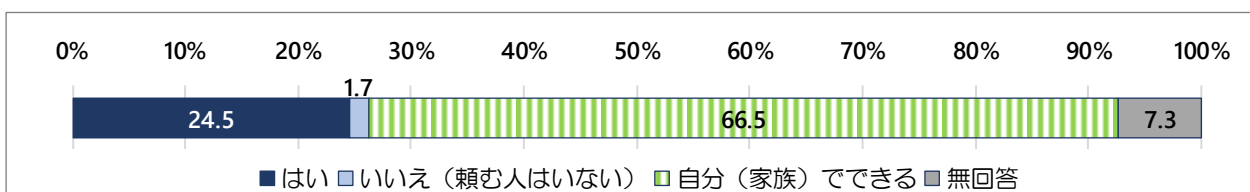
(6) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数回答）

「近所・同じ地域の人」が63.8%と最も高くなっています。



(7) ゴミ出しや電球の交換などの生活支援を頼める人はいいますか

「はい」が24.5%、「いいえ」が1.7%で、「自分（家族）でできる」が66.5%となっています。



問 7 健康について

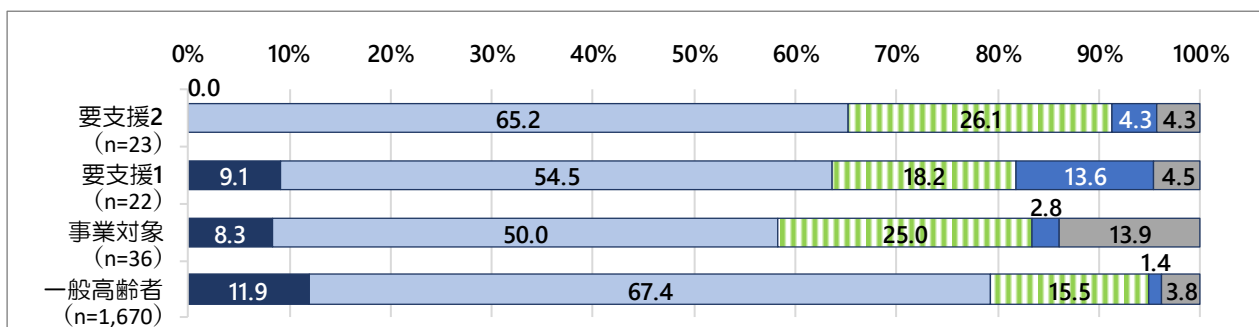
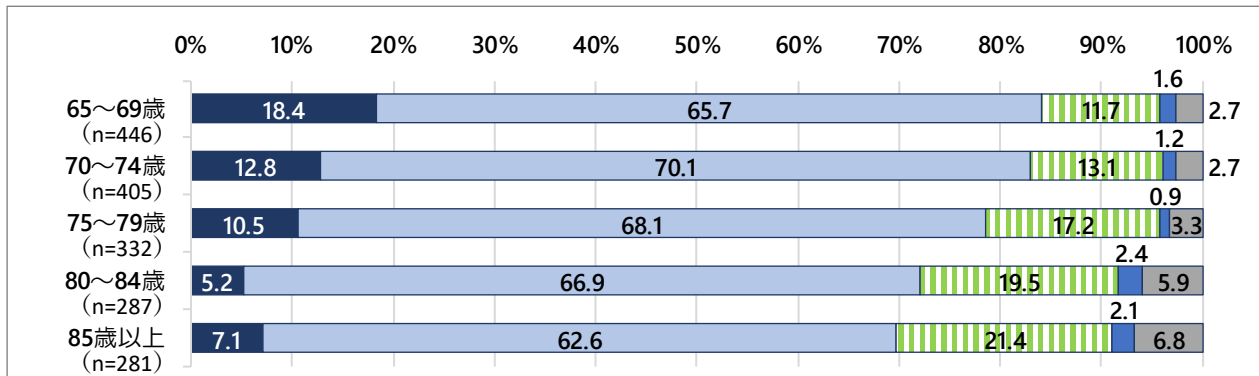
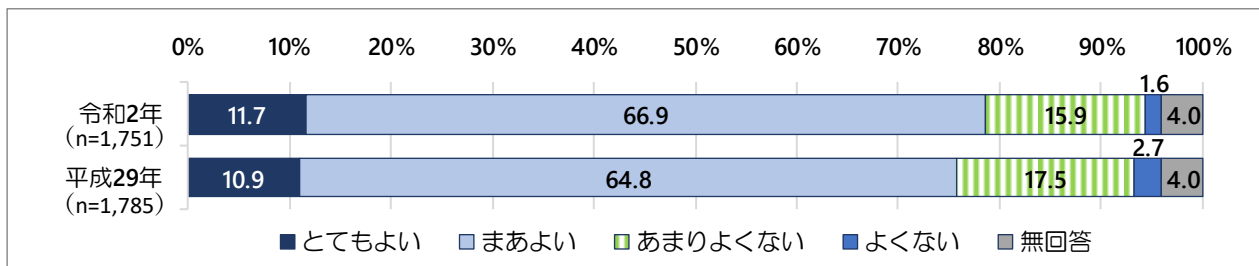
●主観的健康状態

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「とてもよい」と「まあよい」を合わせると78.6%で、「あまりよくない」と「よくない」を合わせると17.5%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「とてもよい」、「まあよい」の割合が低くなり、「あまりよくない」、「よくない」の割合が高くなる傾向にあります。

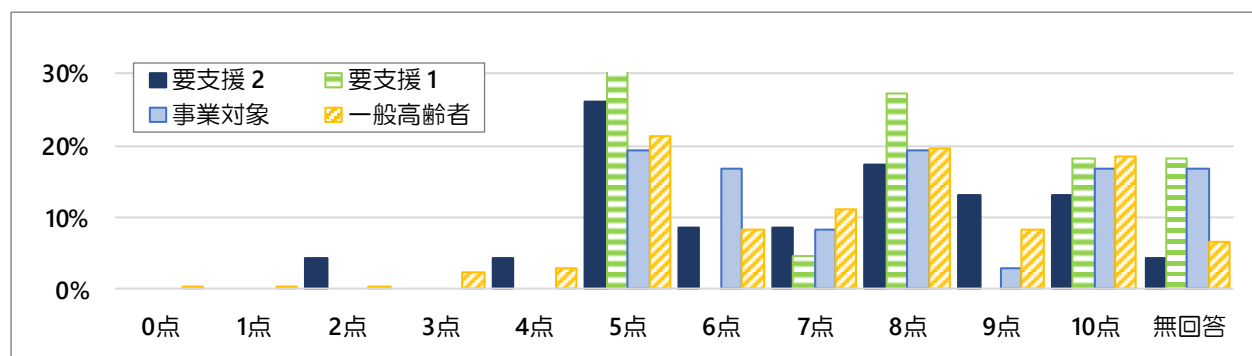
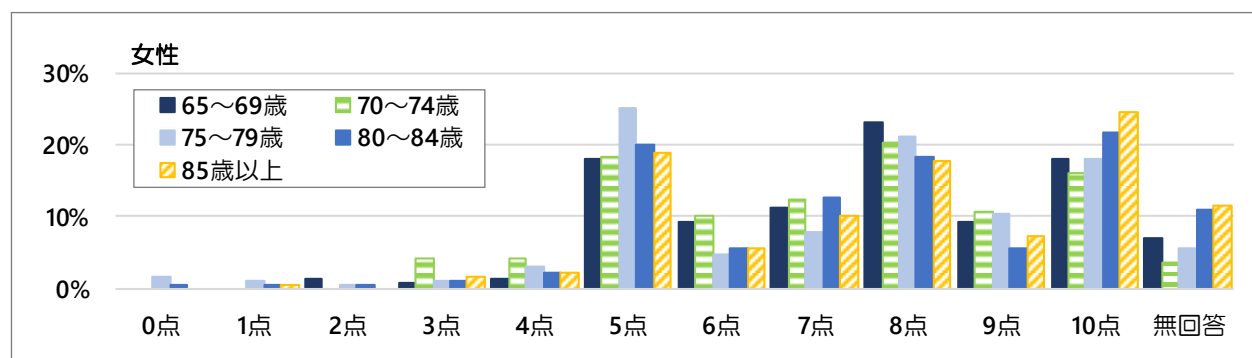
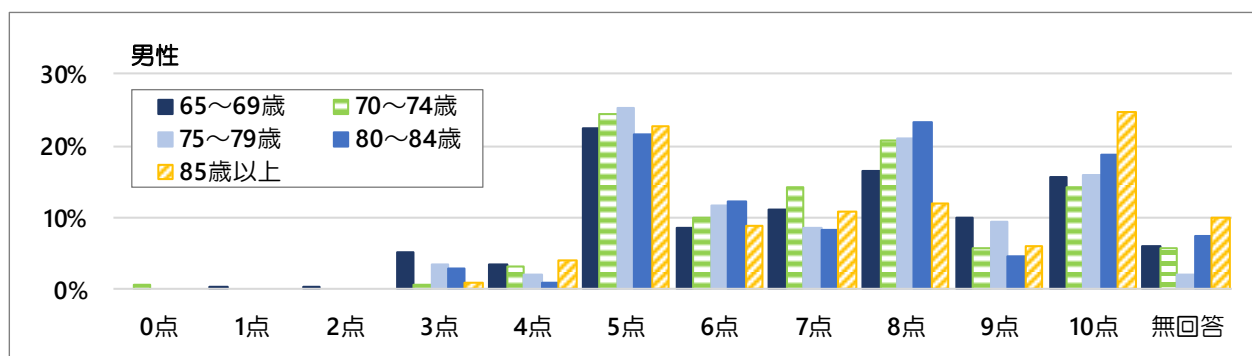
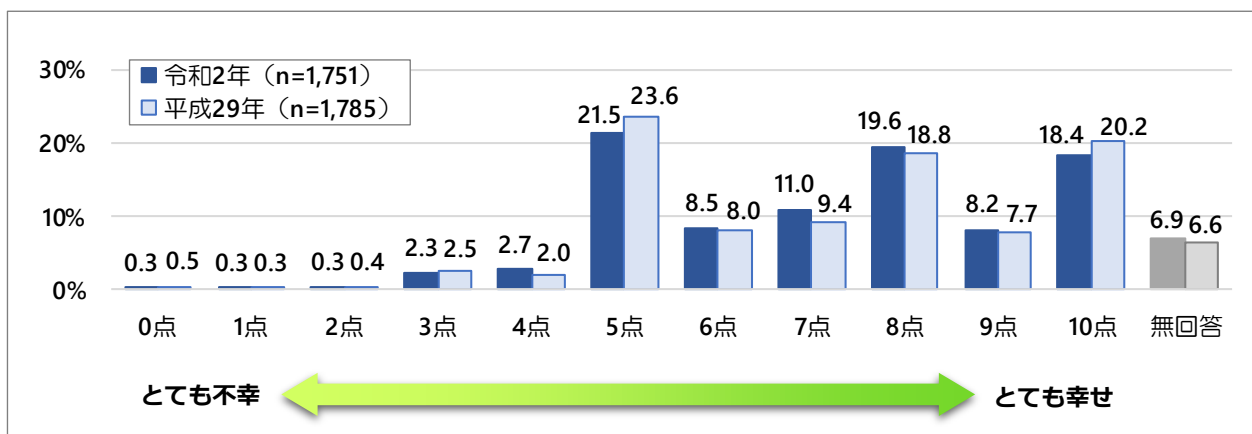
認定区分別にみると、「要支援2」では「とてもよい」は0.0%で、「あまりよくない」が26.1%、「よくない」が4.3%となっています。「要支援1」では「よくない」が13.6%となっています。



●幸福度

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

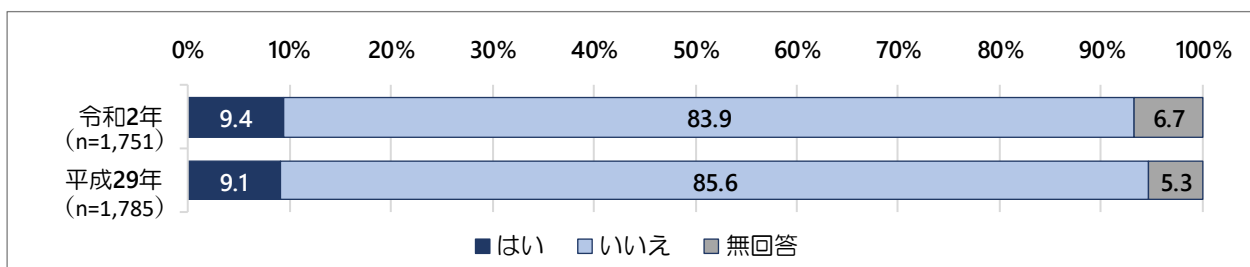
「5点」が21.5%と最も高く、次いで「8点」が19.6%、「10点」が18.4%で、平均は7.2点となっています。



●うつ傾向

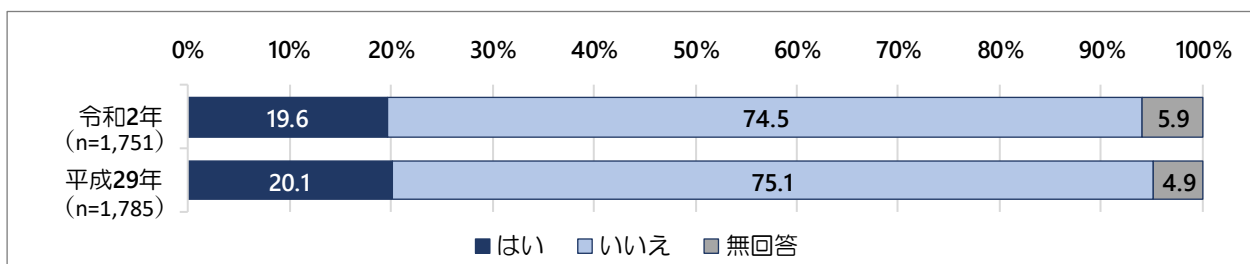
(3) 現在、誰にも相談していない大きな悩みや不安を抱えていますか

「はい」が9.4%、「いいえ」が83.9%となっています。



(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」が19.6%、「いいえ」が74.5%となっています。

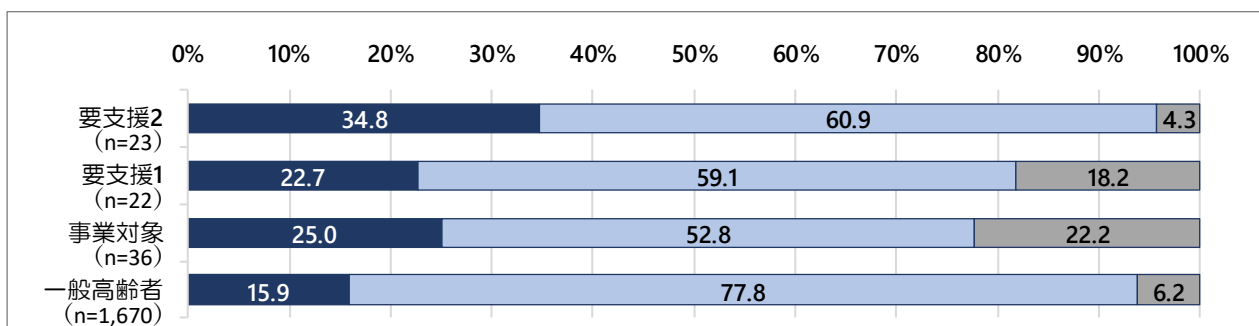
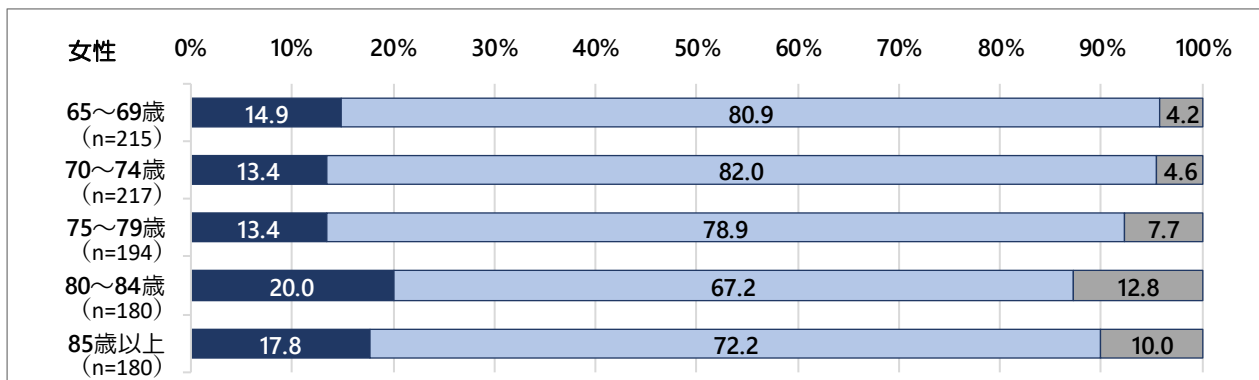
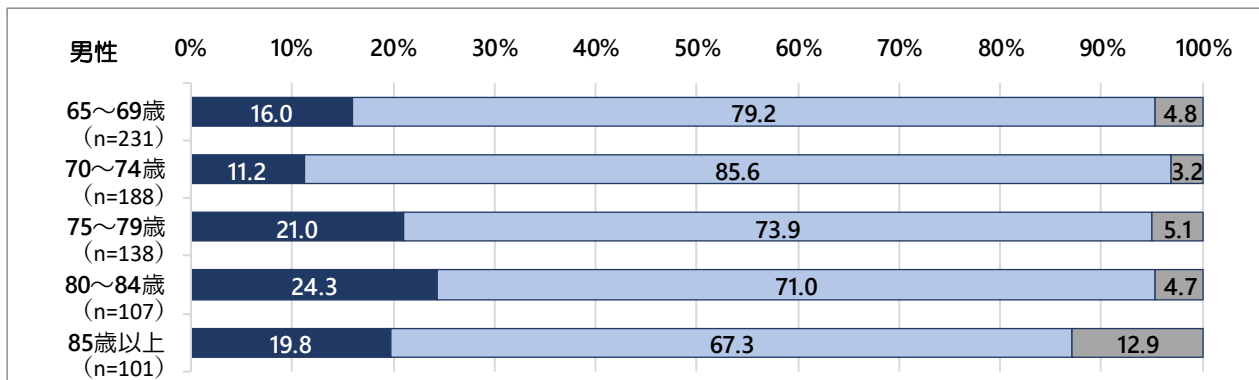
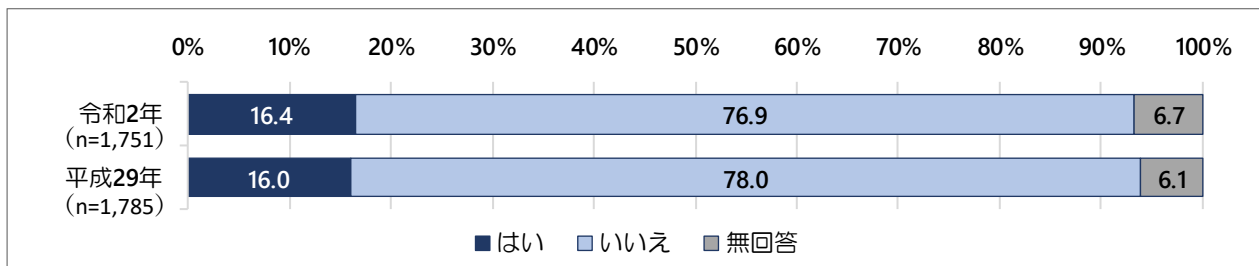


(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」が16.4%、「いいえ」が76.9%となっています。

性別・年齢別にはっきりした傾向はみられませんが、男性は75歳以上、女性は80歳以上で「はい」の割合がやや高くなっています。

認定区分別にみると、「要支援2」で「はい」の割合が高く、34.8%となっています。

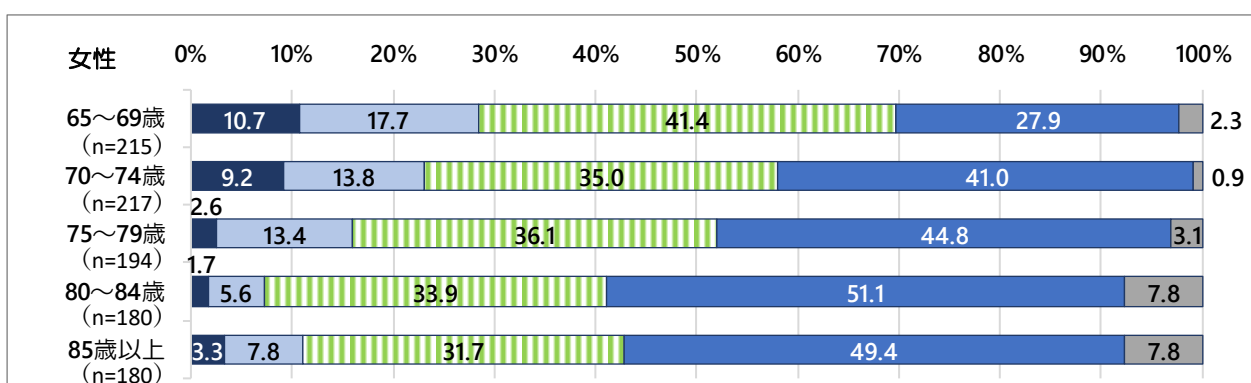
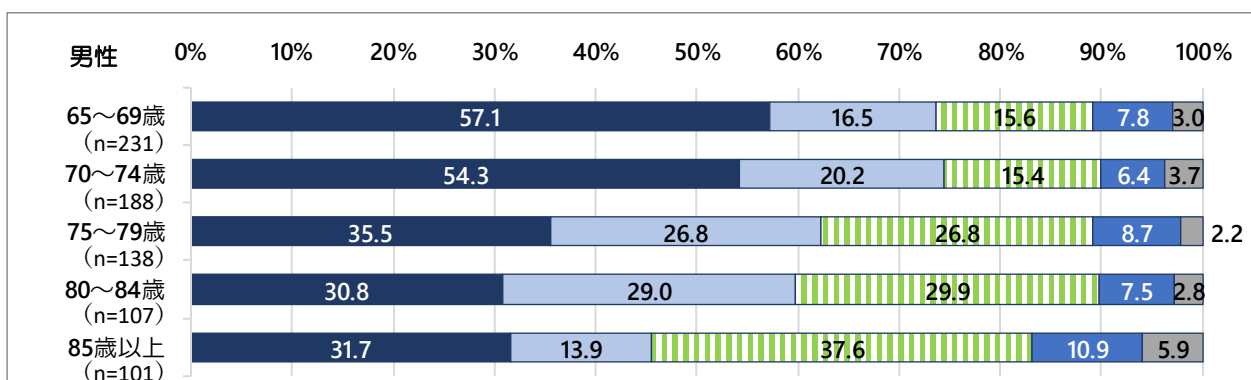
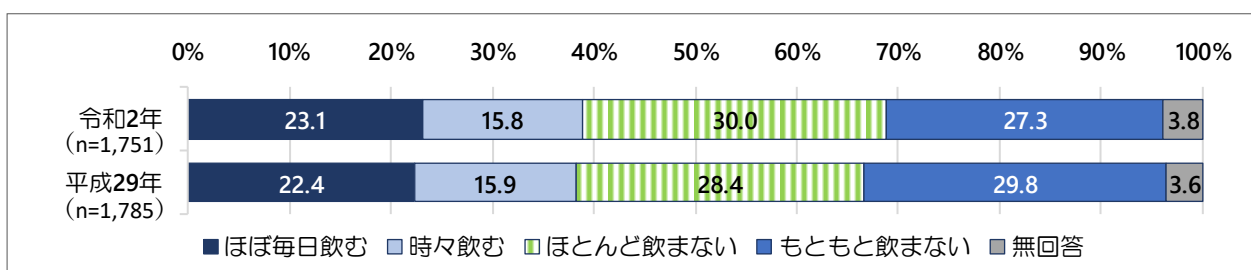


● 飲酒

(6) お酒は飲みますか

「ほぼ毎日飲む」が23.1%、「時々飲む」が15.8%、「ほとんど飲まない」が30.0%、「もともと飲まない」が27.3%となっています。

性別・年齢別にみると、女性より男性の方がお酒を飲む割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「ほぼ毎日飲む」割合が低くなっています。

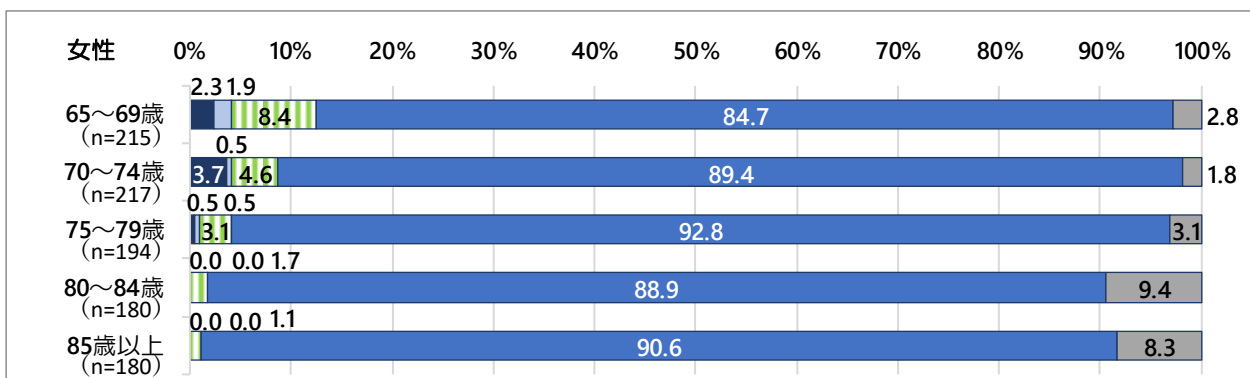
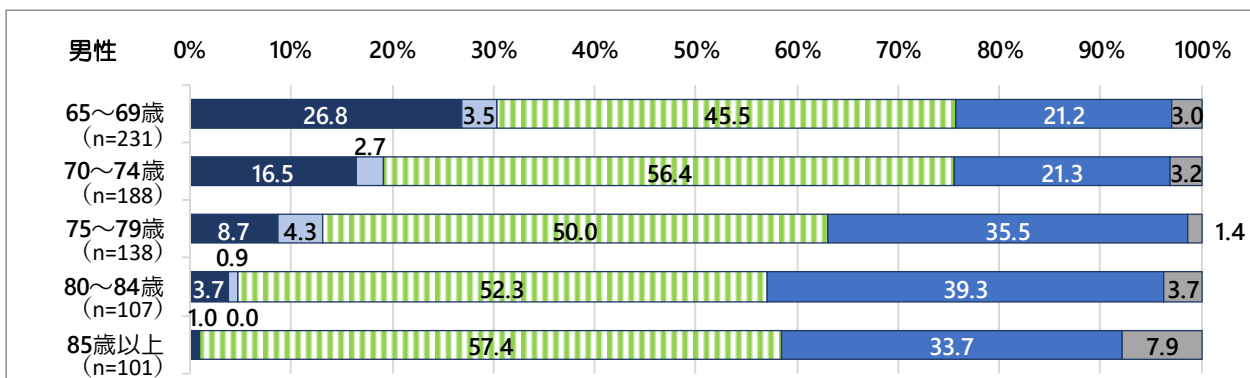
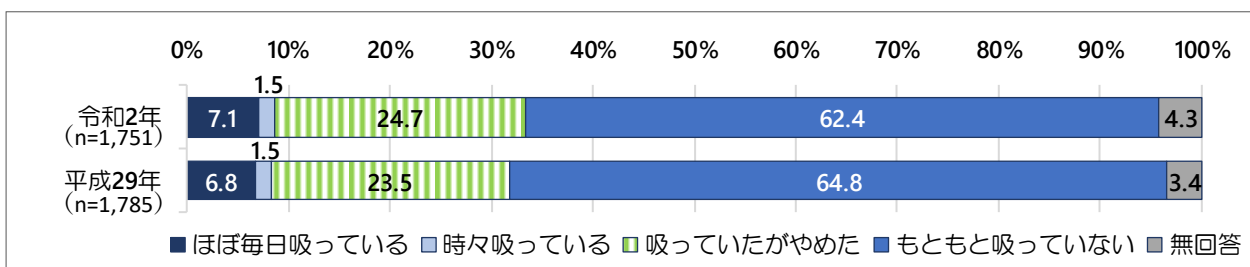


●喫煙

(7) たばこは吸っていますか

「ほぼ毎日吸っている」割合は7.1%となっています。

性別・年齢別にみると、すべての年齢層で「ほぼ毎日吸っている」割合は女性より男性の方が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「ほぼ毎日吸っている」割合は低くなる傾向にあります。女性はすべての年齢層で「もともと吸っていない」が80%以上となっています。

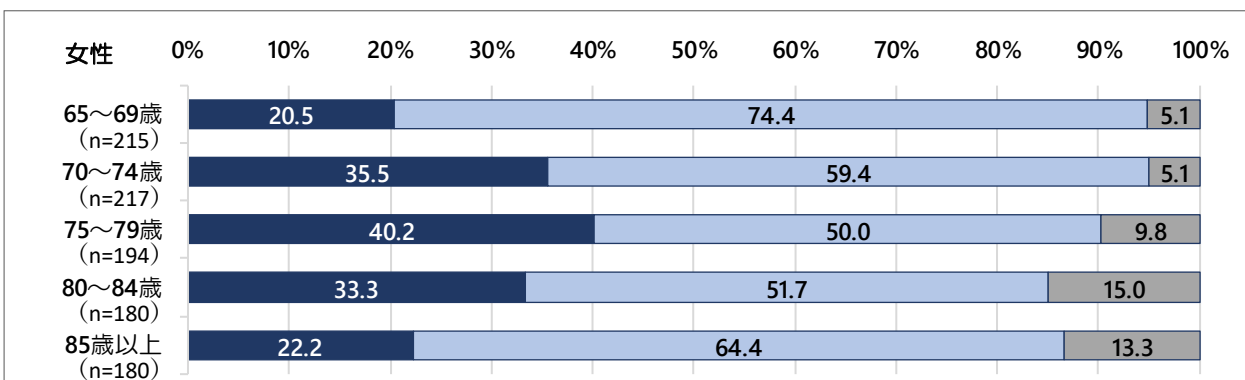
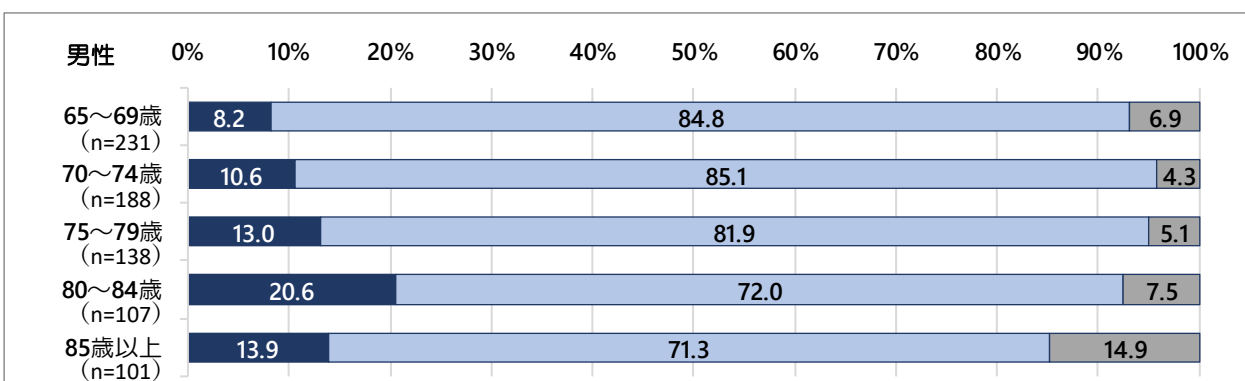
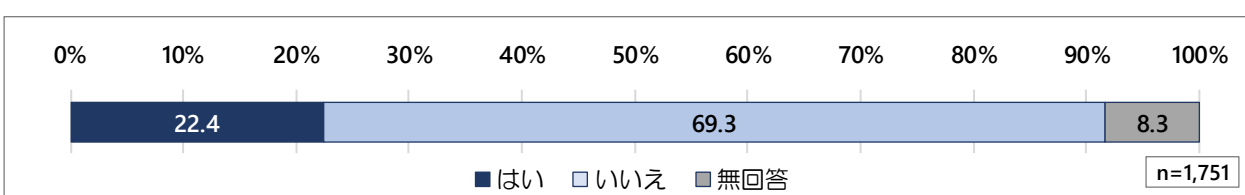


●健康教室・介護予防事業への参加

(8) 村の健康教室や介護予防事業（健脚・健脳うんどう日・フレイル教室など）に参加したことはありますか

「はい」が22.4%、「いいえ」が69.3%となっています。

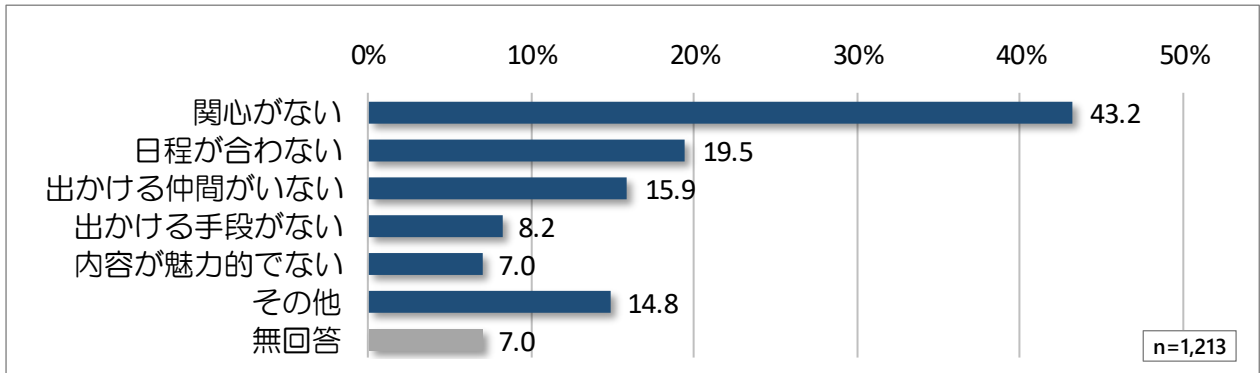
性別・年齢別にみると、すべての年齢層で男性より女性の方が「はい」の割合が高くなっています。



(8) で「いいえ (参加したことがない)」と回答した方にうかがいます

(8) ① 参加しない理由は、次のどれですか (複数回答)

「関心がない」が43.2%と最も高くなっています。

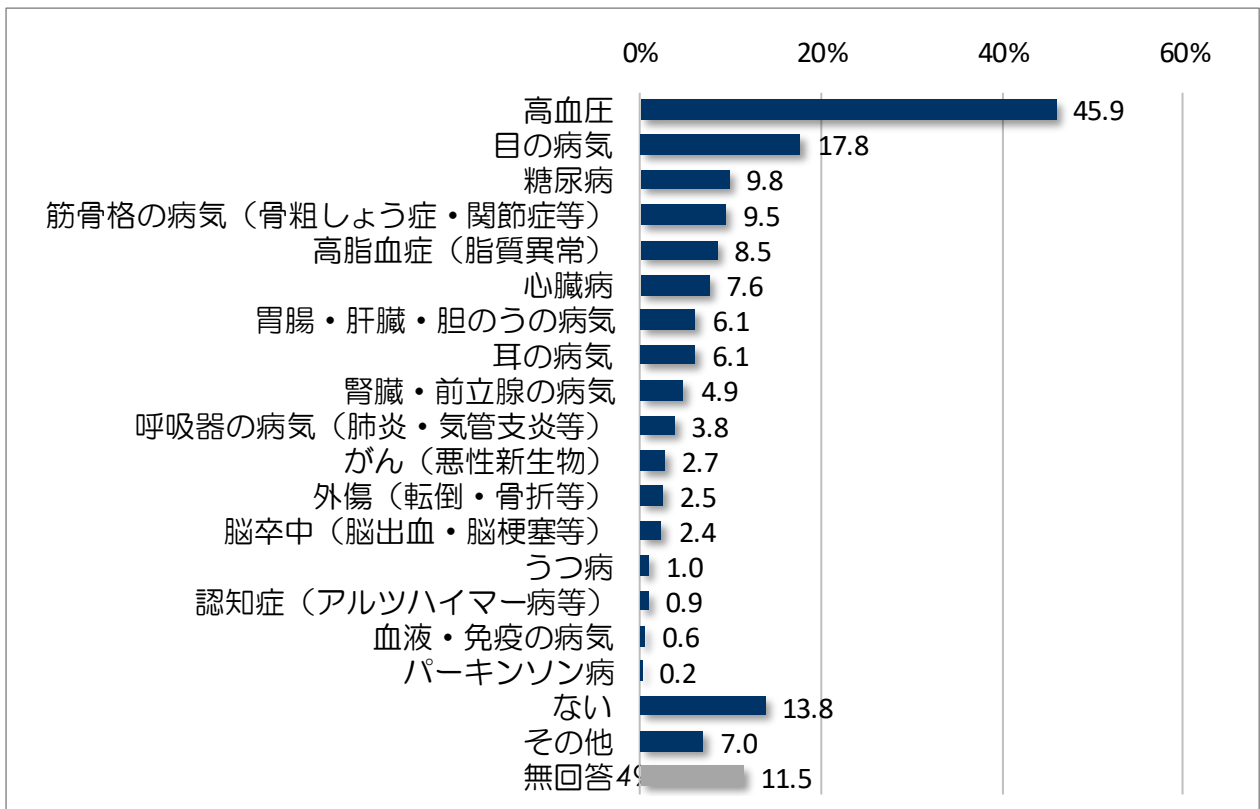


*その他は「仕事があるため」、「(高齢、腰痛など) 体調のため」などとなっています。

● 病気について

(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (複数回答)

「高血圧」が45.9%と最も高く、次いで「目の病気」が17.8%、「糖尿病」が9.8%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)」が9.5%などとなっています。一方で「ない」が13.8%となっています。

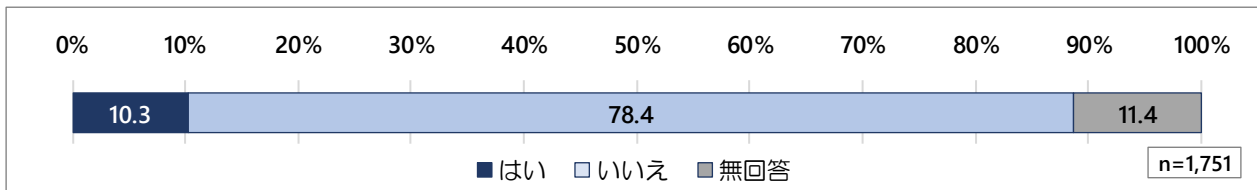


*その他は「歯科疾患」、「腰痛」などとなっています。

問 8 認知症について

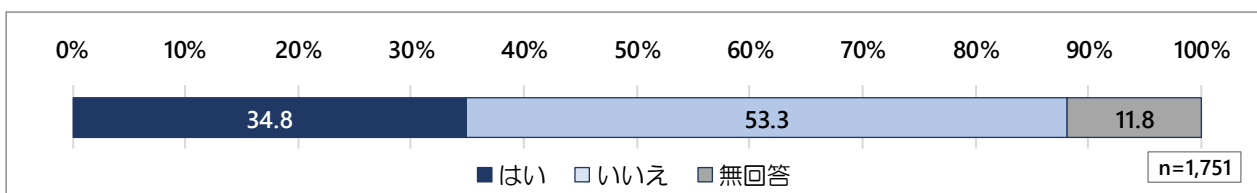
(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が10.3%、「いいえ」が78.4%となっています。



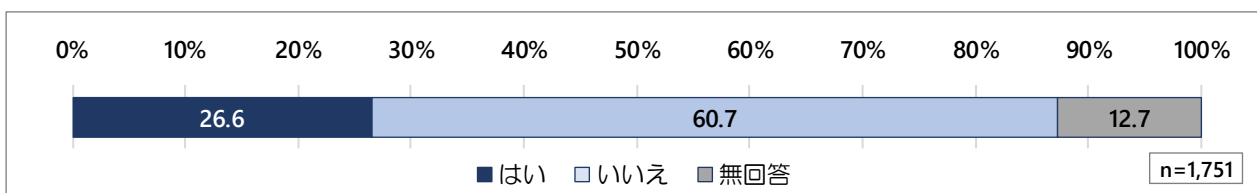
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」が34.8%、「いいえ」が53.3%となっています。



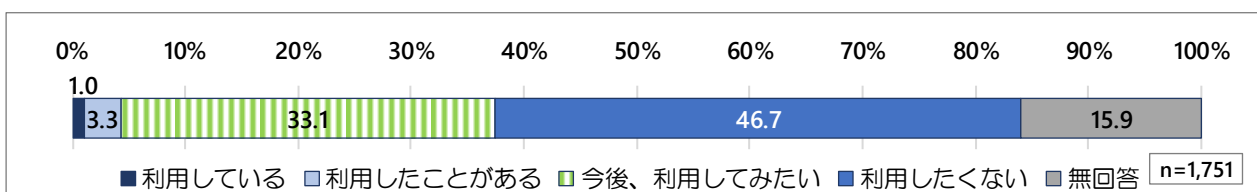
(3) 認知症カフェを知っていますか

「はい」が26.6%、「いいえ」が60.7%となっています。



(4) 認知症カフェ（「わぁ〜むカフェ」、「なごみカフェ」）を利用したいと思いますか

「利用している」は1.0%、「利用したことがある」は3.3%となっていますが、「今後利用してみたい」が33.1%となっています。



問9 成年後見制度について

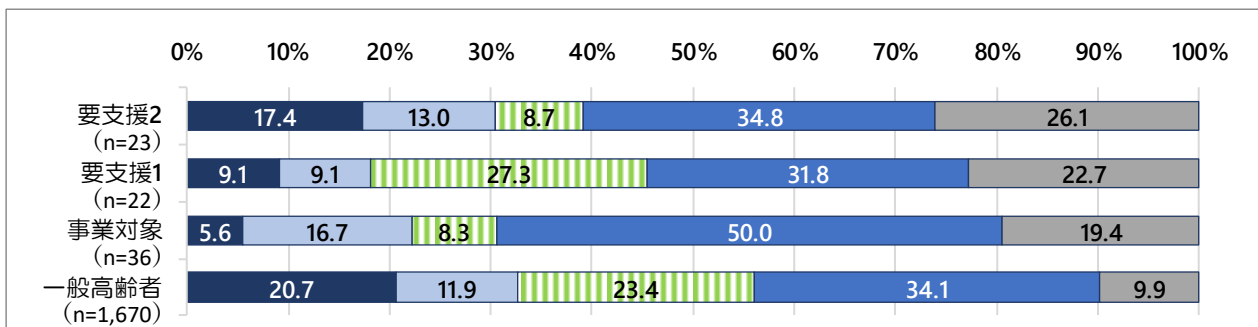
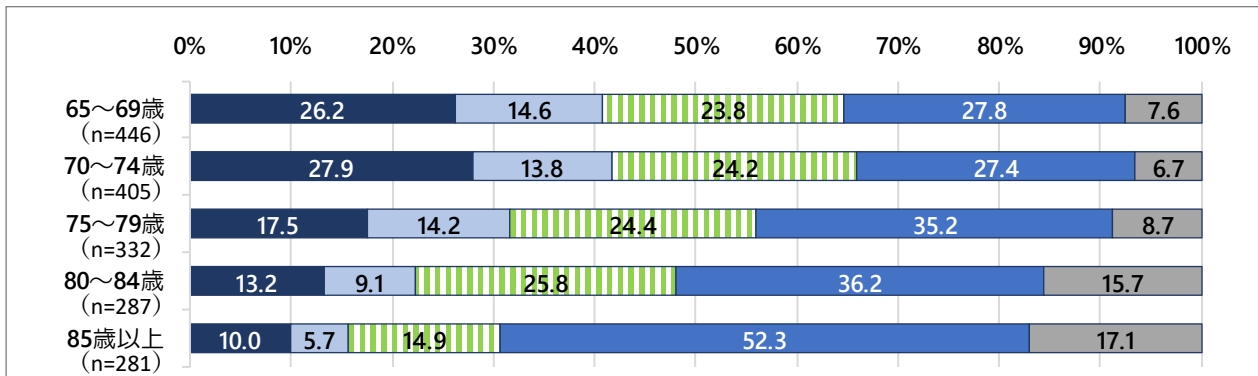
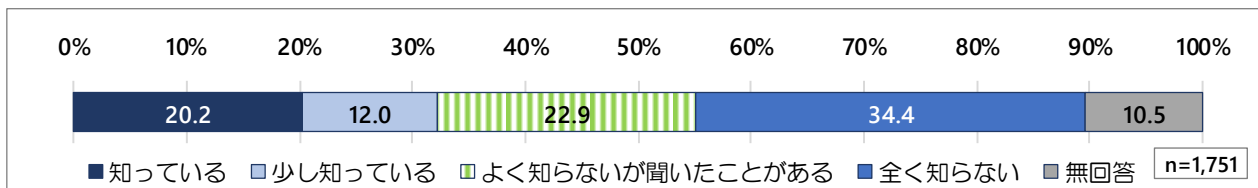
(1) 「成年後見制度」をご存じですか

※「成年後見制度」とは、認知症や知的障がいなどによって判断能力が不十分な人が、経済的に不利益を受けたり、生活上の不自由さを解消するために、「成年後見人」などの支援者が法律行為を支援する制度です。

「知っている」が20.2%、「少し知っている」が12.0%、「よく知らないが、聞いたことがある」が22.9%で、「全く知らない」は34.4%となっています。

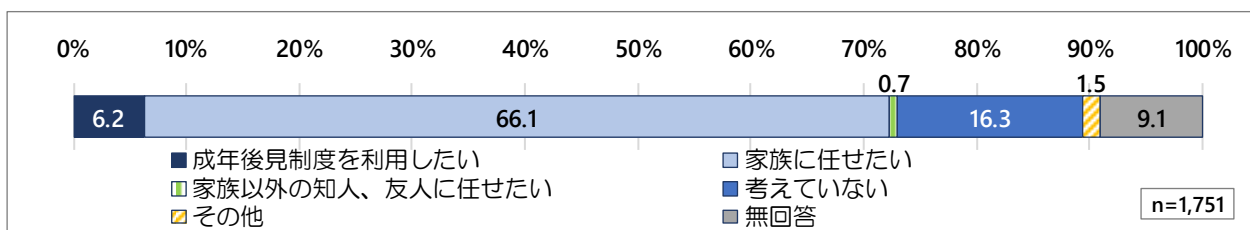
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知っている」割合が低くなり、「全く知らない」割合が高くなっています。

認定区分別にみると、「事業対象」で「知っている」割合が最も低く、「全く知らない」割合が最も高くなっています。



(2) あなた自身が認知症などで判断力が十分にできなくなったときは、どのようにしたいとお考えですか

「家族に任せたい」が66.1%で、「成年後見制度を利用したい」が6.2%となっています。また、「考えていない」が16.3%となっています。

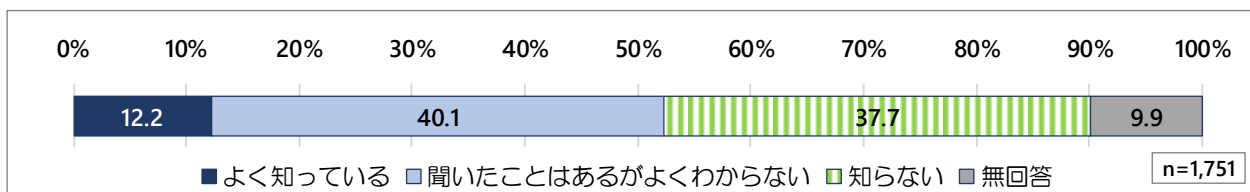


問 10 終末期医療について

(1) あなたは、ACP について知っていますか

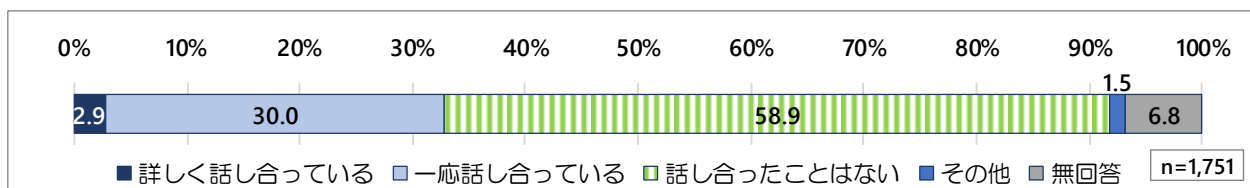
※ACP とは、人生の最終段階における医療・ケアについて、医師等の医療従事者から本人・家族等への適切な情報の提供と説明がなされたうえで、医療・ケアチーム（他専門職種）と十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めることです。

「よく知っている」は12.2%で、「聞いたことはあるがよくわからない」が40.1%、「知らない」が37.7%となっています。



(2) 終末期にあなたが受けてみたい医療・受けてくれない医療について、ご家族と話し合っていますか

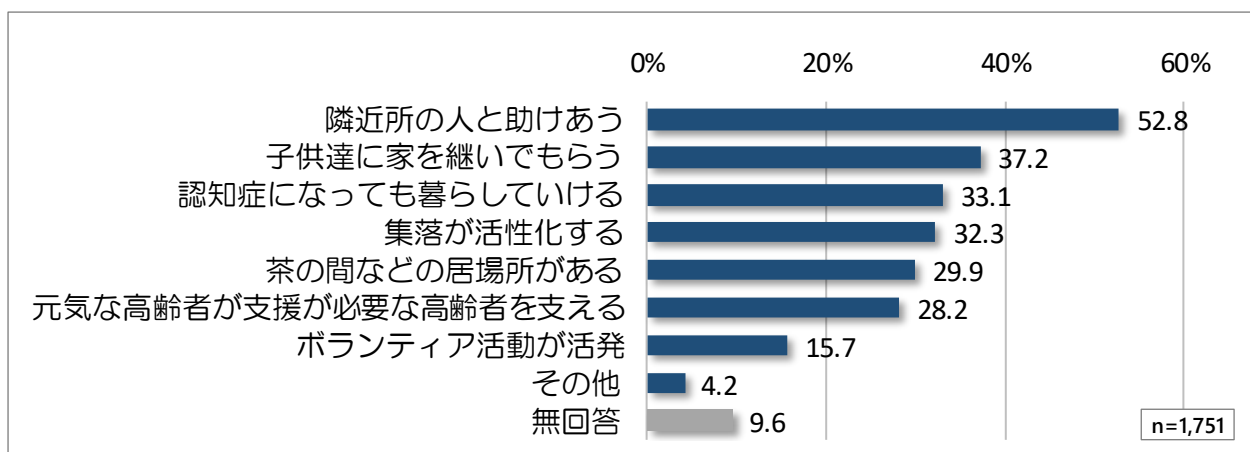
「詳しく話し合っている」が2.9%、「一応話し合っている」が30.0%で、「話し合ったことはない」は58.9%となっています。



問 11 今後の暮らしについて

(1)これから暮らしていく関川村の姿(高齢者が元気で暮らし続けることができる村)にするためにどのようなことが必要ですか(複数回答)

「隣近所の人と助けあう」が52.8%と最も高く、次いで「子ども達に家を継いでもらう」が37.2%、「認知症になっても暮らし続けられる」が33.1%、「集落が活性化する」が32.3%などとなっています。



(2) 医療(在宅医療)、保健福祉、介護保険などについて、自由にお書きください

	項目	件数
1	介護保険料への不満	43
2	在宅医療の充実	21
3	行政への要望	18
4	将来について	13
5	交通の利便性への要望	12
6	病院の利便性への要望	11
7	地域の活性化	8
8	施設に入居できるか	7
9	その他	39

3 リスク分析結果

1. 運動器機能

■ 運動機能の低下 判定基準

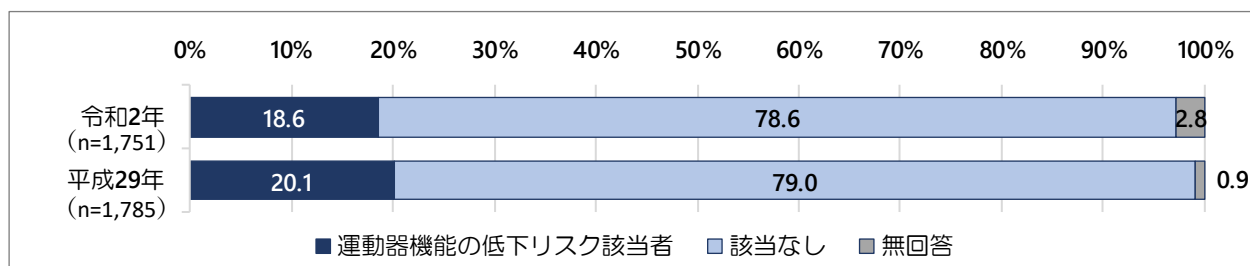
設問	0点	1点
問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(3) 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(4) 過去1年間に転んだことがありますか	3. ない	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか	3. あまり不安ではない 4. 不安ではない	1. とても不安である 2. やや不安である

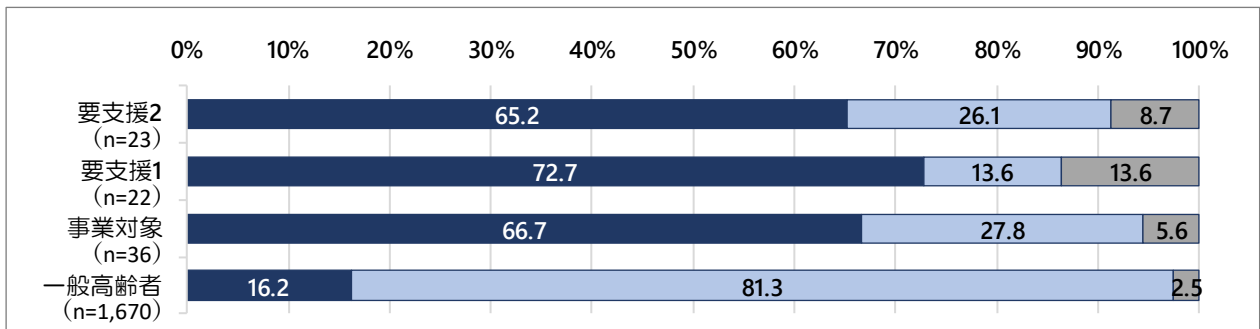
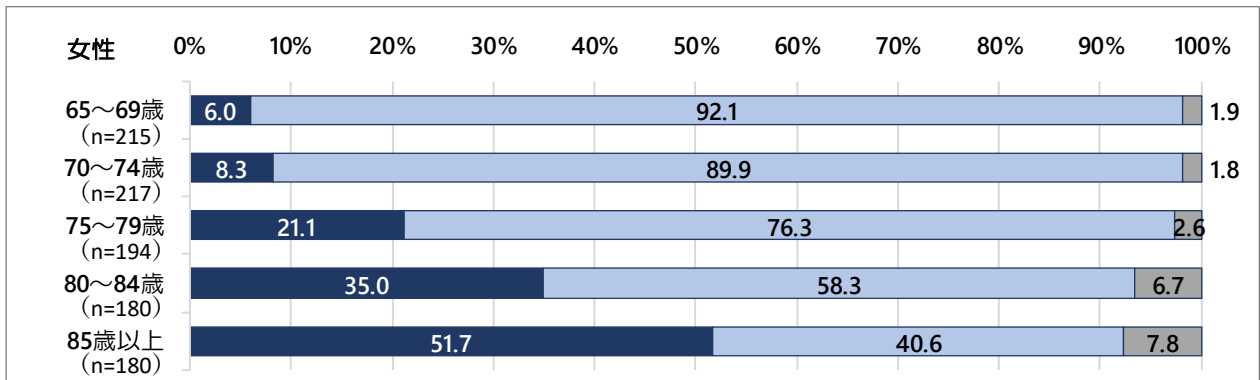
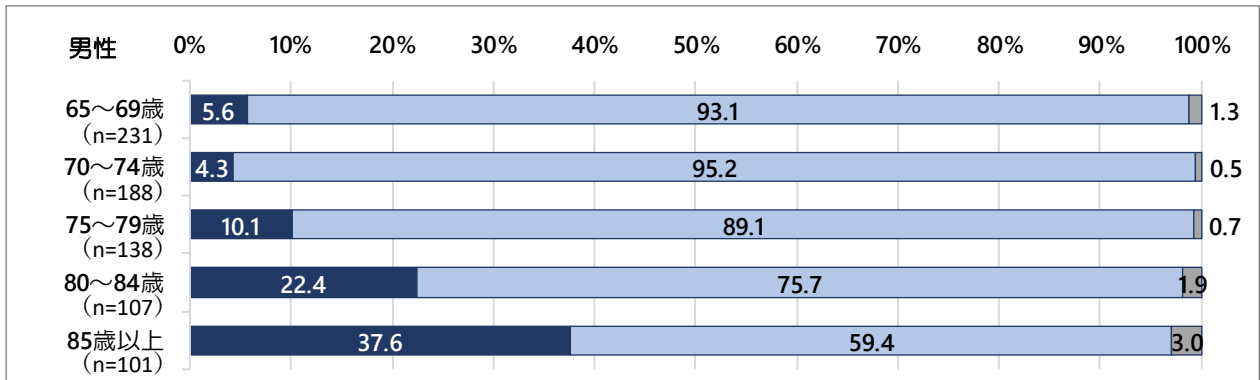
5項目の合計得点	2点以下	3点以上
運動機能の低下：判定カテゴリ	該当なし	運動機能の低下 該当者

運動器機能低下のリスク該当者は18.6%となっています。

性別・年齢別にみると、すべての年齢層で男性よりも女性の方がリスク該当者の割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分別にみると、「要支援2」は65.2%、「要支援1」は72.7%、「事業対象」は66.7%で、「一般高齢者」は16.2%となっています。





2. 転倒

■ 転倒リスク 判定基準

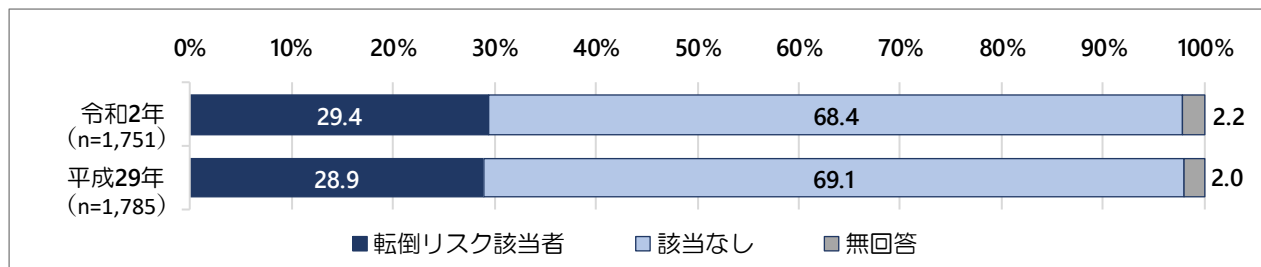
設問	0点	1点
問2 (4) 過去1年間に転んだことがありますか	3. ない	1. 何度もある 2. 1度ある

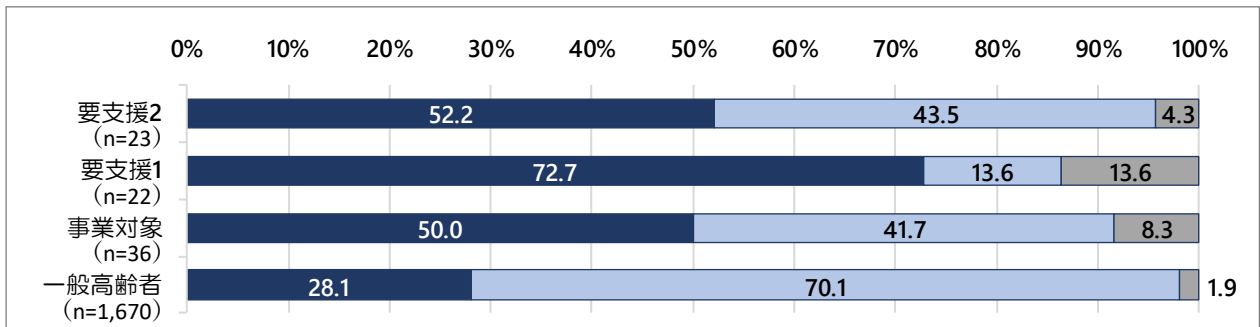
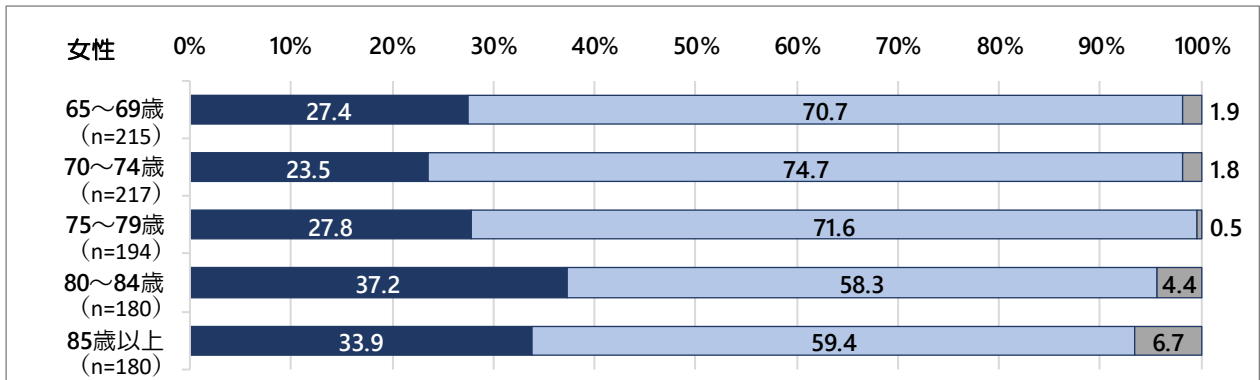
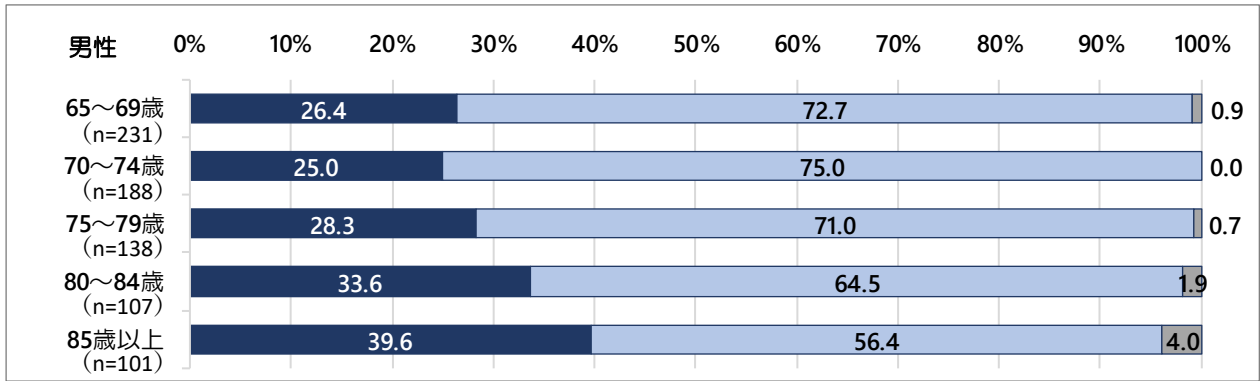
1項目の合計得点	0点	1点
転倒リスク：判定カテゴリ	該当なし	転倒リスク 該当者

転倒のリスク該当者は29.4%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに「70～74歳」でリスク該当者の割合が最も低くなっており、年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が高くなる傾向にあります。

認定区分別にみると、「要支援2」は52.2%、「要支援1」は72.7%、「事業対象」は50.0%で、「一般高齢者」は28.1%となっています。





3. 閉じこもり

■ 閉じこもり傾向 判定基準

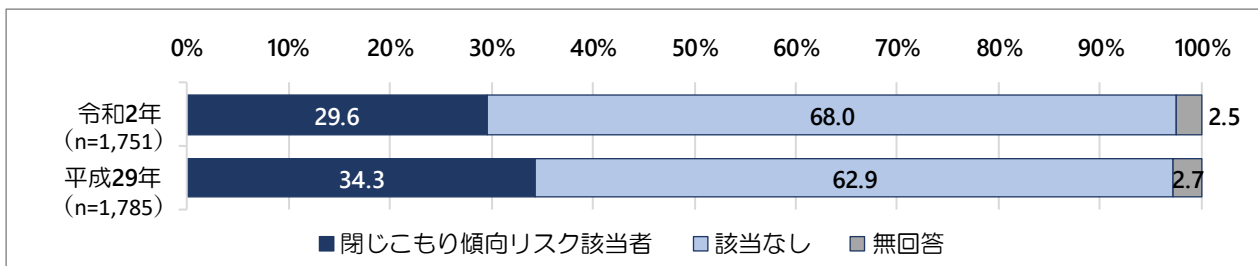
設問	0点	1点
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか	3. 週2~4回 4. 週5回以上	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

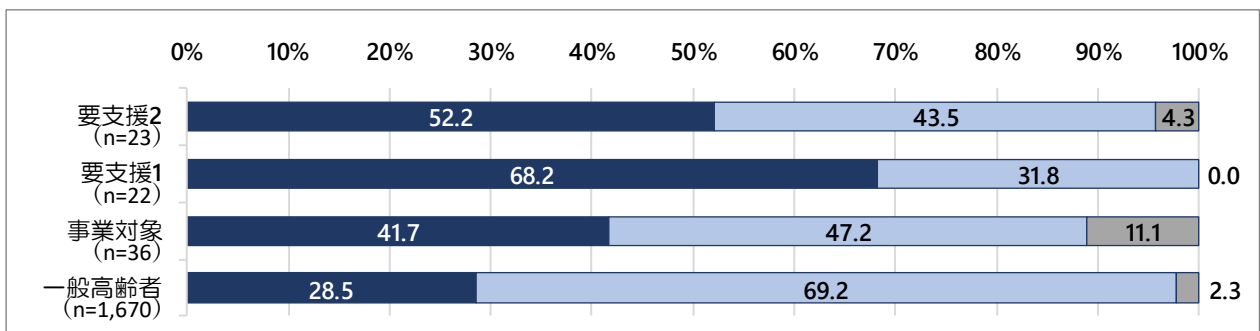
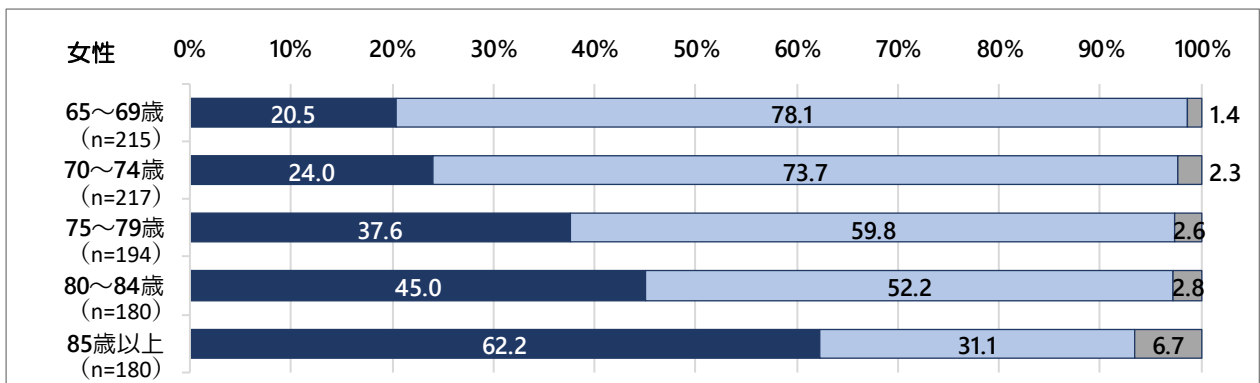
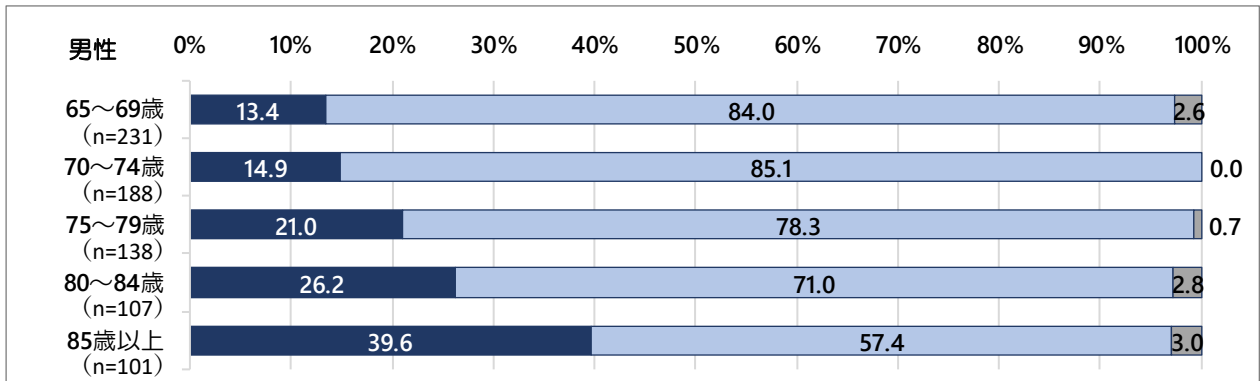
1項目の合計得点	0点	1点
閉じこもり傾向：判定カテゴリ	該当なし	閉じこもり傾向 該当者

閉じこもり傾向のリスク該当者は平成29年の前回調査より4.7ポイント減少して29.6%となっています。

性別・年齢別にみると、すべての年齢層で男性より女性の方がリスク該当者の割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が高くなっています。リスク該当者の割合が最も高いのは「女性・85歳以上」で、62.2%となっています。

認定区分別にみると、「要支援2」は52.2%、「要支援1」は68.2%、「事業対象」は41.7%で、「一般高齢者」は28.5%となっています。





4. 低栄養

■ 低栄養の傾向 判定基準

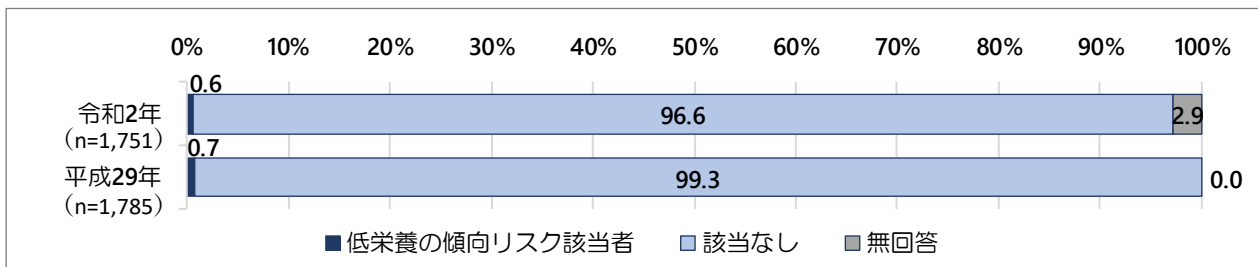
設問	0点	1点
問3 (1) BMI (身長・体重)	2. 標準 (18.5~25.0 未満) 3. 肥満 (25.0 以上)	1. やせ (18.5 未満)
問3 (7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	2. いいえ	1. はい

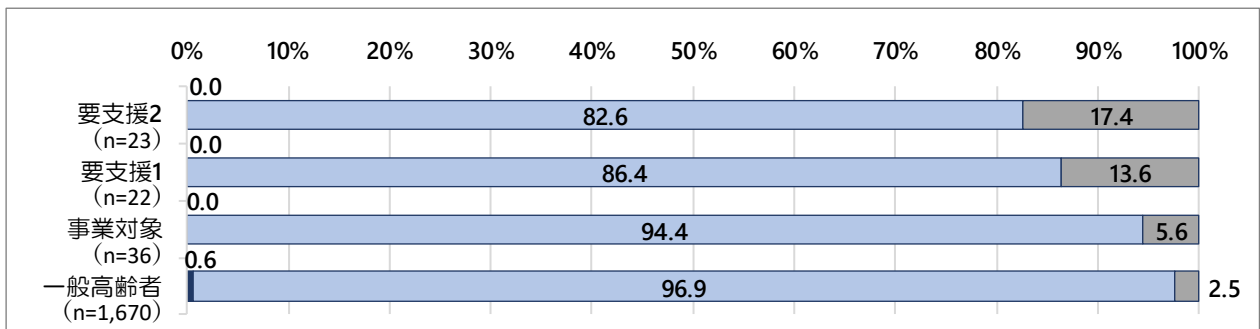
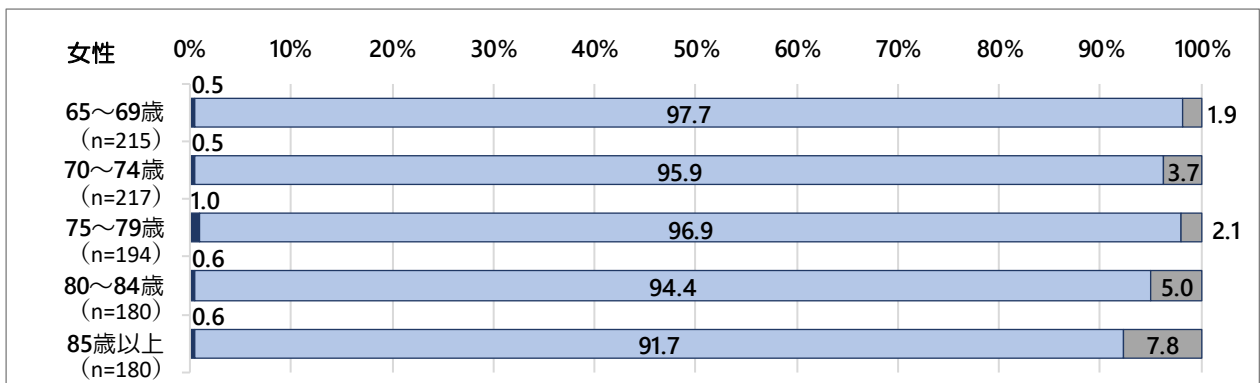
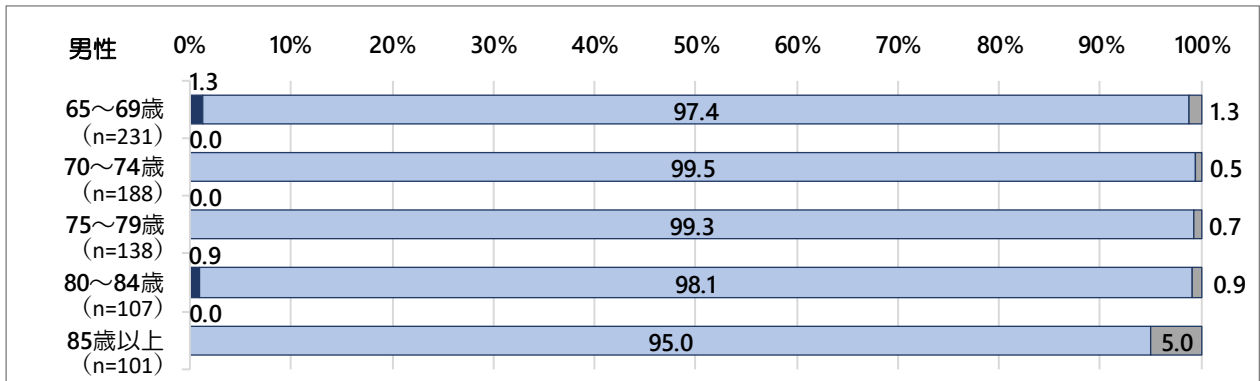
2項目の合計得点	1点以下	2点
低栄養の傾向：判定カテゴリ	該当なし	低栄養の傾向 該当者

低栄養のリスク該当者は0.6%となっています。

性別・年齢別にみると、リスク該当者の割合が少ないため明らかな傾向はみられませんでした。リスク該当者の割合が最も高いのは「男性・65~69歳」で1.3%となっています。

認定区分別にみると、「要支援2」、「要支援1」、「事業対象」にリスク該当者はいませんでした。





5. 口腔機能

■ 口腔機能の低下 判定基準

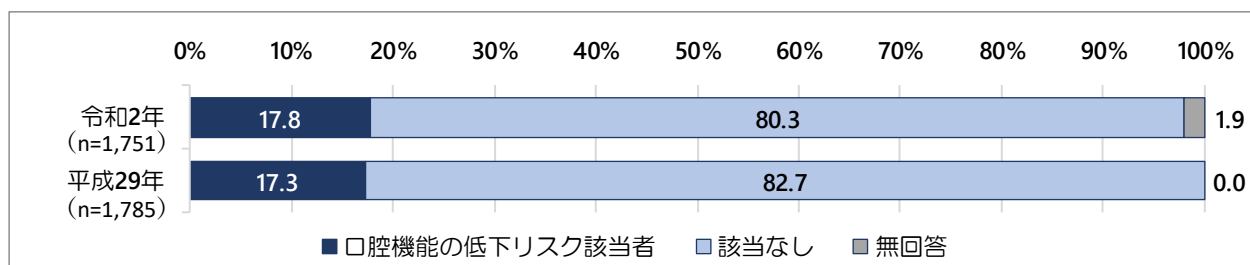
設問	0点	1点
問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	2. いいえ	1. はい
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	2. いいえ	1. はい
問3(4) 口の渇きが気になりますか	2. いいえ	1. はい

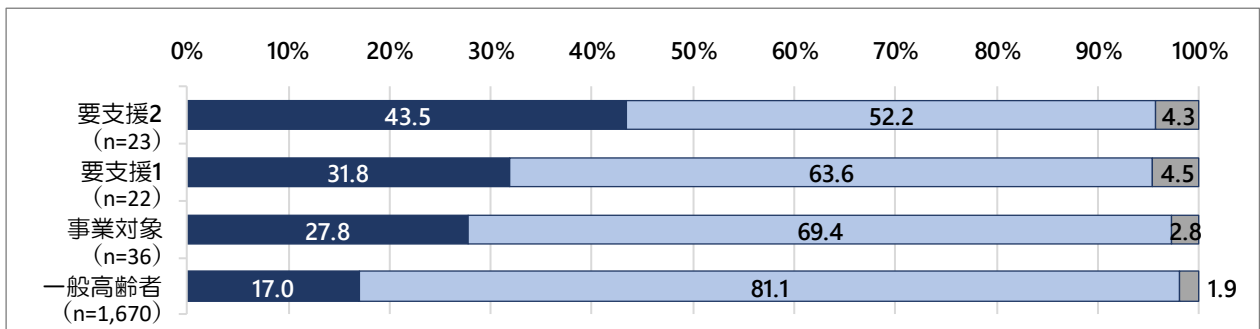
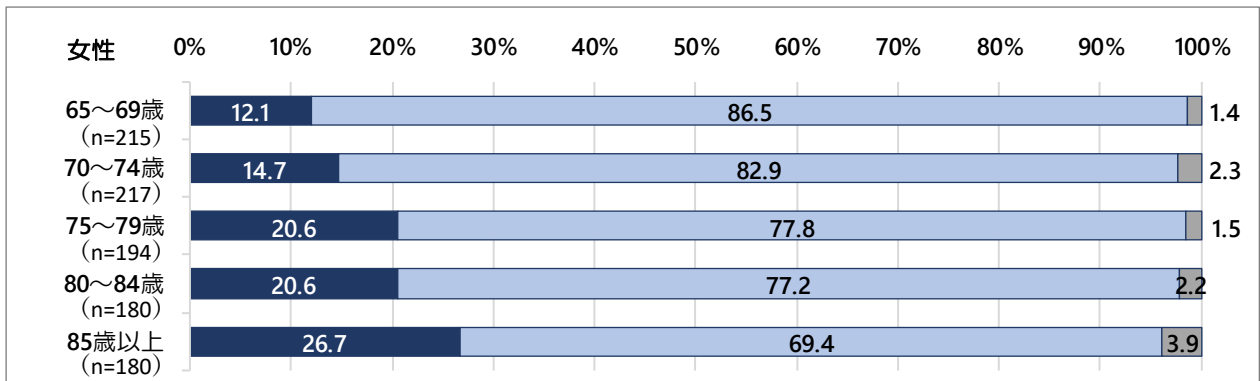
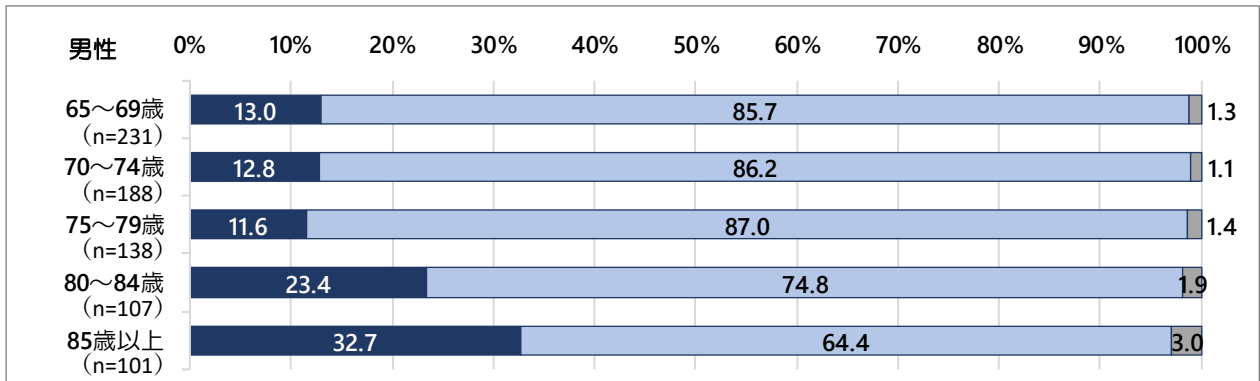
3項目の合計得点	1点以下	2点以上
口腔機能の低下：判定カテゴリ	該当なし	口腔機能の低下 該当者

口腔機能低下のリスク該当者は17.8%となっています。

性別・年齢別にみると、女性は年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が緩やかに高くなっている一方、男性は79歳まではリスク該当者の割合は12%前後で変わりませんが、80歳を超えると割合が急に高くなる傾向にあります。

認定区分別にみると、リスク該当者の割合が最も高いのは「要支援2」で43.5%となっています。次いで「要支援1」が31.8%、「事業対象」が27.8%で、「一般高齢者」は17.0%となっています。





6. 認知機能

■ 認知機能の低下 判定基準

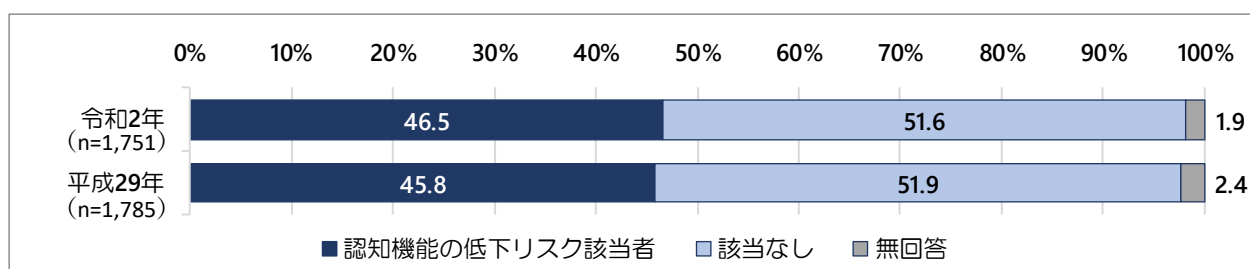
設問	0点	1点
問4 (1) もの忘れが多いと感じますか	2. いいえ	1. はい

1項目の合計得点	0点	1点
認知機能の低下：判定カテゴリ	該当なし	認知機能の低下 該当者

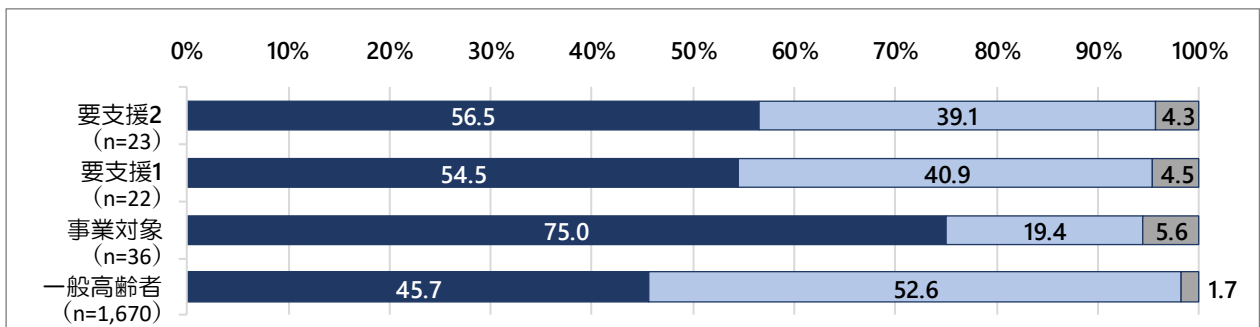
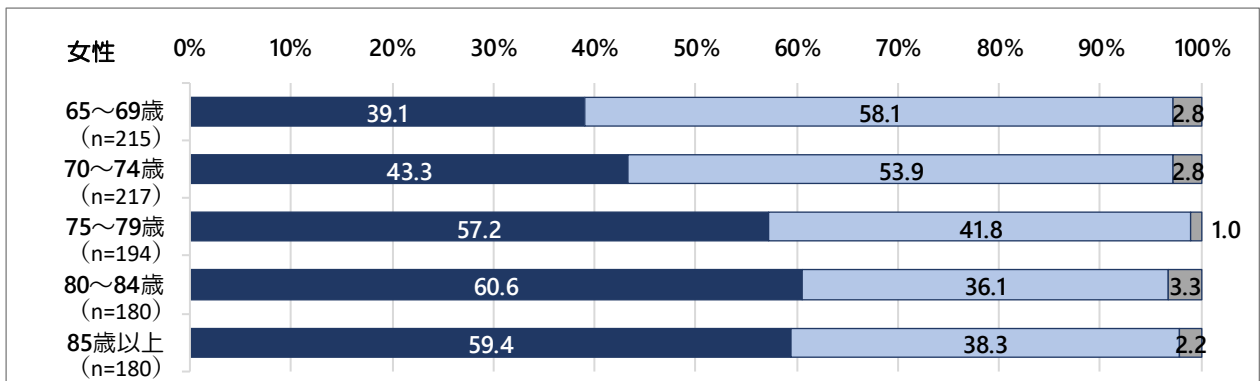
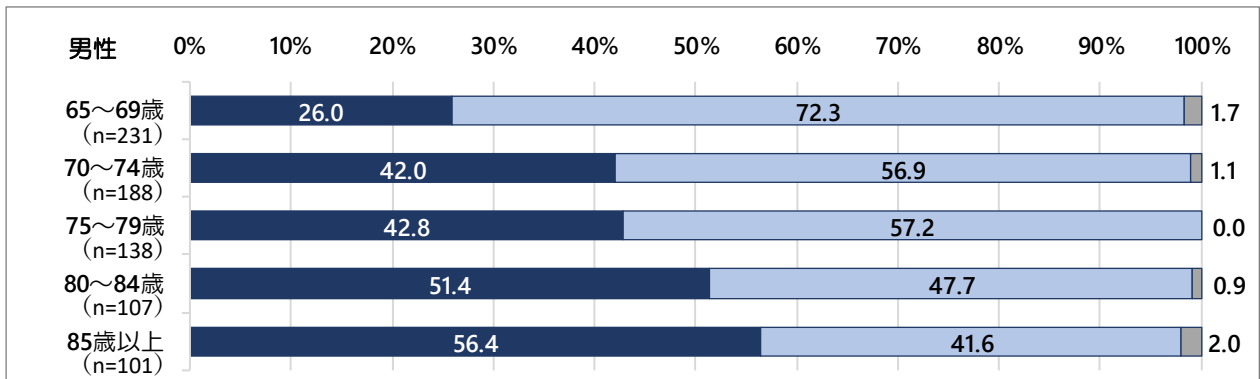
認知機能低下のリスク該当者は46.5%となっています。

性別・年齢別にみると、すべての年齢層で男性よりも女性の方がリスク該当者の割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分別にみると、リスク該当者の割合が最も高いのは「事業対象」で75.0%、次いで「要支援2」が56.5%、「要支援1」が54.5%で、「一般高齢者」は45.7%となっています。



*平成29年調査時の報告書では判定条件が異なったため、同条件で判定し直しています。



7. うつ傾向

■うつ傾向 判定基準

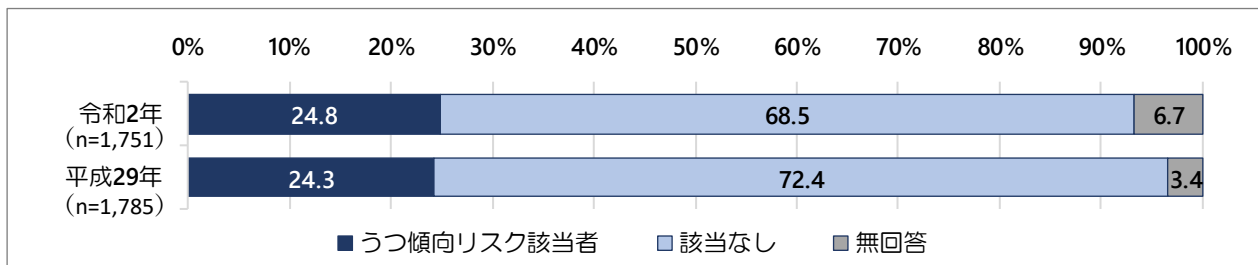
設問	0点	1点
問7(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	2. いいえ	1. はい
問7(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	2. いいえ	1. はい

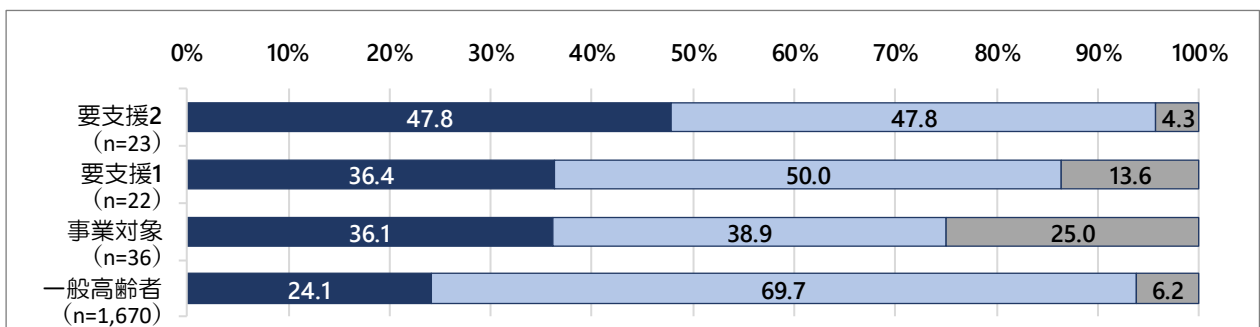
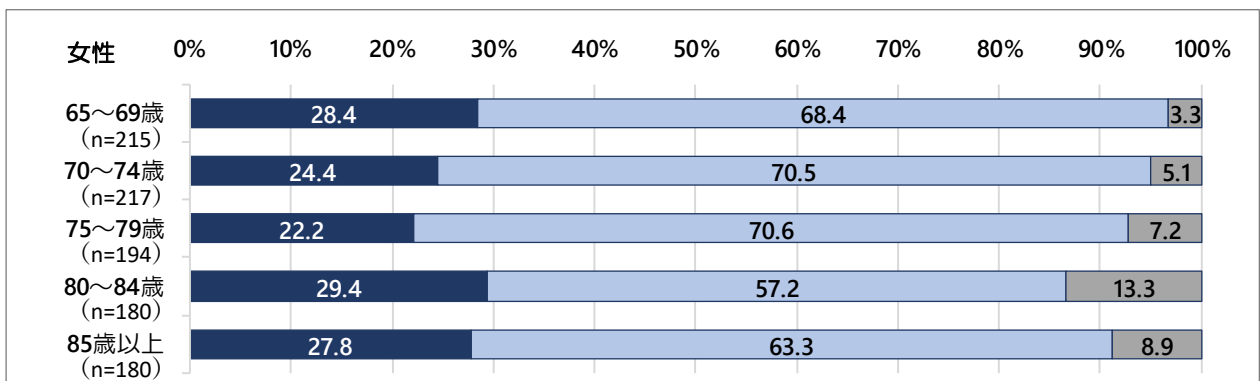
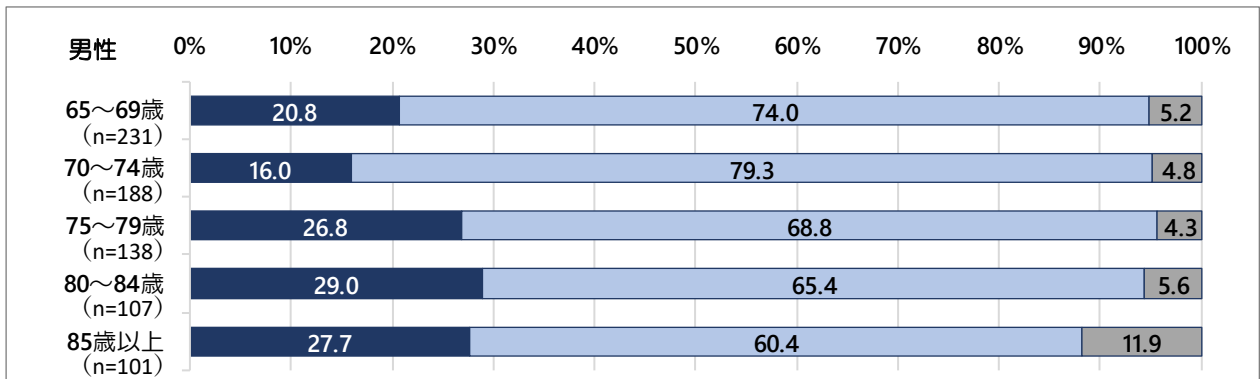
2項目の合計得点	0点	1点以上
うつ傾向：判定カテゴリ	該当なし	うつ傾向 該当者

うつ傾向のリスク該当者は24.8%となっています。

性別・年齢別にはっきりした傾向はみられませんでした。男性・女性ともに80歳以上ではリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分別にみると、リスク該当者の割合が最も高いのは「要支援2」で47.8%となっています。次いで「要支援1」が36.4%、「総合事業」が36.1%で、「一般高齢者」は24.1%となっています。





8. IADL

■ IADL* 判定基準

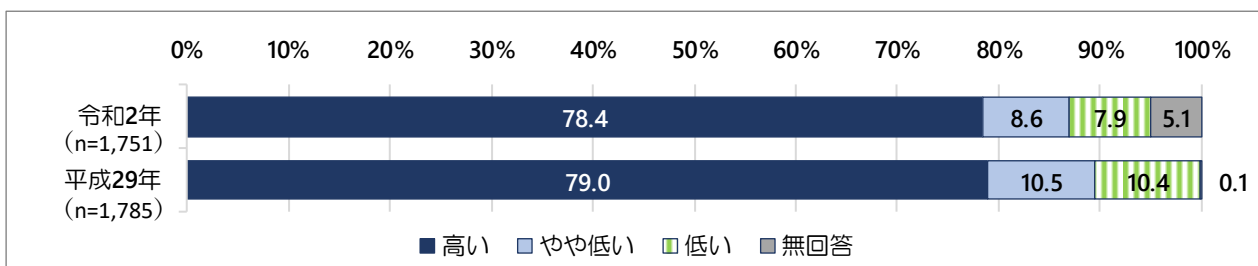
設問	0点	1点
問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(6) 自分で食事の用意をしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない

5項目の合計得点	5点	4点	3点以下
IADL：判定カテゴリ	高い	やや低い	低い

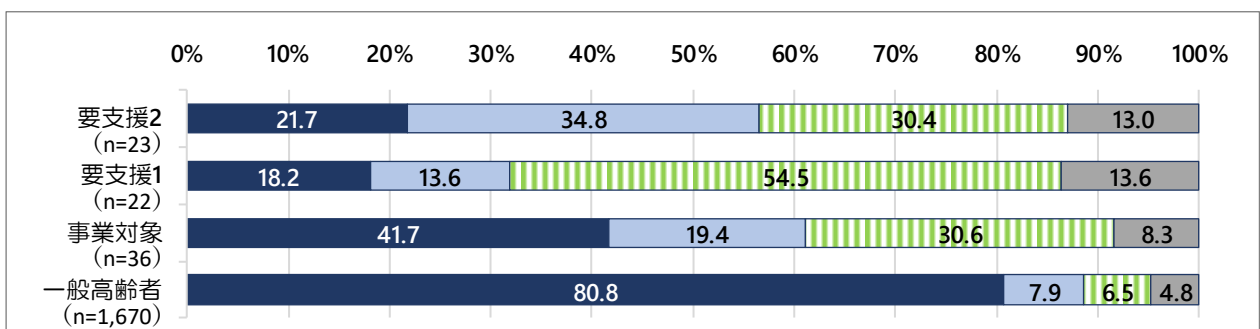
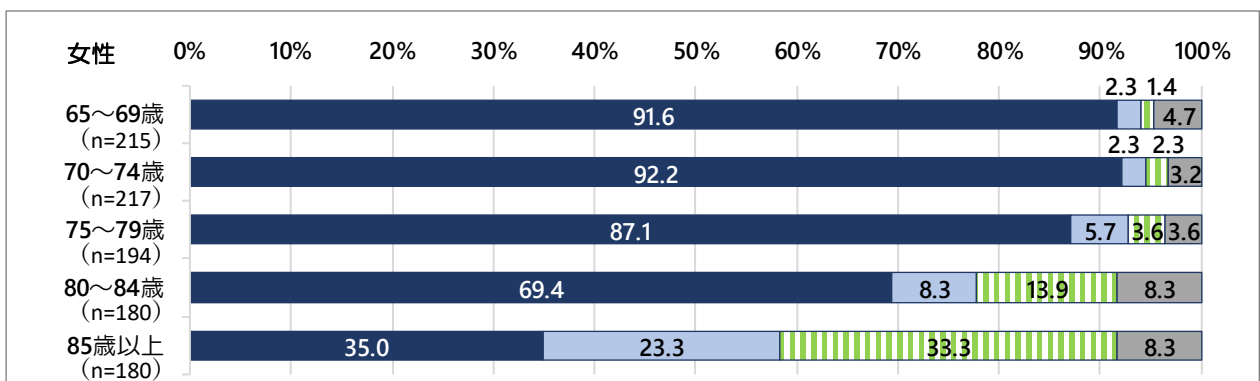
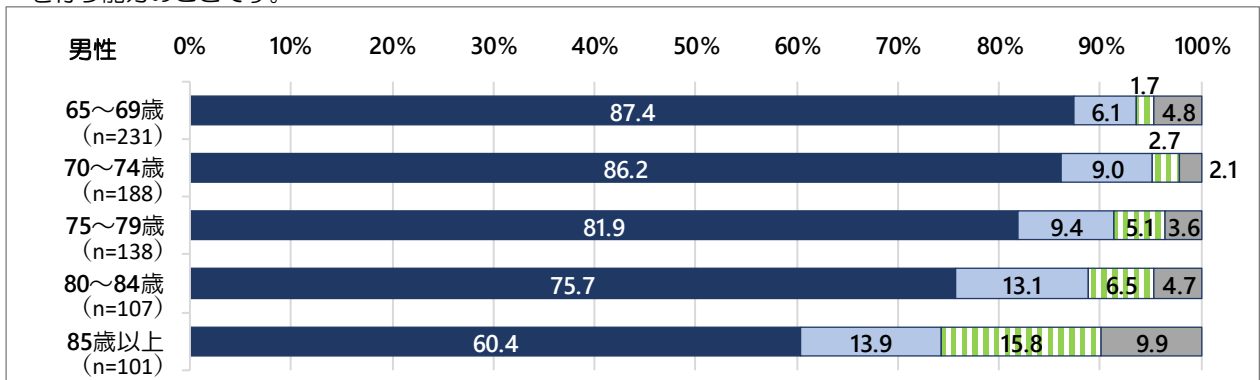
「高い」が78.4%、「やや低い」が8.6%、「低い」が7.9%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「高い」の割合が低くなっています。79歳までは男性より女性の方が「高い」割合が高くなっていますが、80歳を超えると男性の方が高くなっています。

認定区分別に「高い」の割合をみると、「要支援2」は21.7%、「要支援1」は18.2%、「事業対象」は41.7%で、「一般高齢者」は80.8%となっています。



*IADL：手段的日常生活動作（Instrumental Activities of Daily Living）。買物、電話、金銭管理などの複雑な動作を行う能力のことです。



9. 知的能動性

■ 知的能動性 判定基準

設問	0点	1点
問4(9) 健康についての記事や番組に関心がありますか	2. いいえ	1. はい

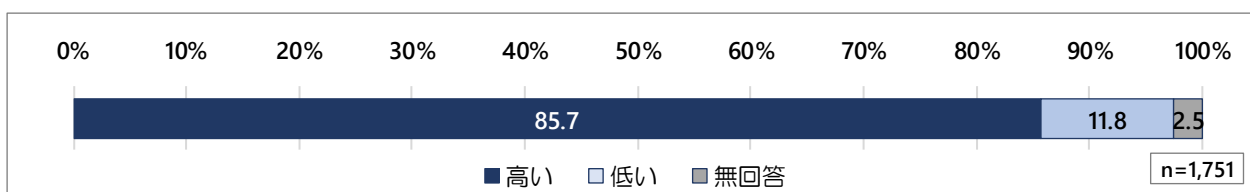
* 老研式活動能力指標では4つの設問で「高い」、「やや低い」、「低い」の3段階で判定しますが、調査票設問で該当する1項目で、「高い」、「低い」の2段階で判定しました。

1項目の合計得点	1点	0点
知的能動性：判定カテゴリ	高い	低い

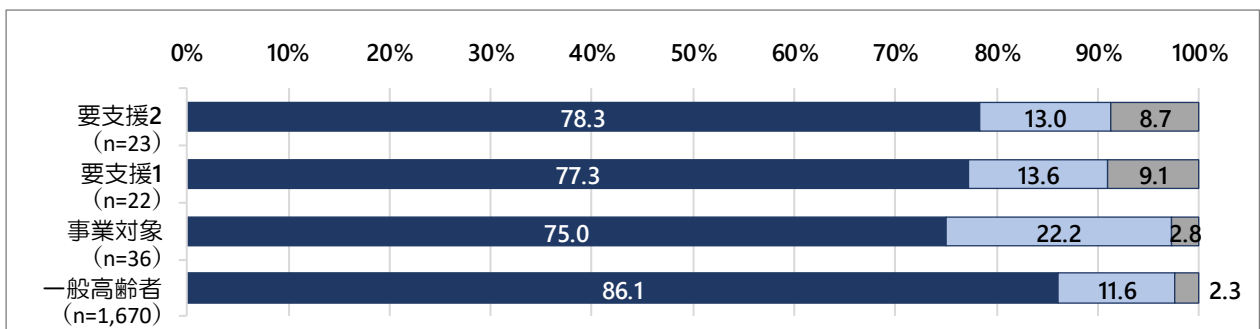
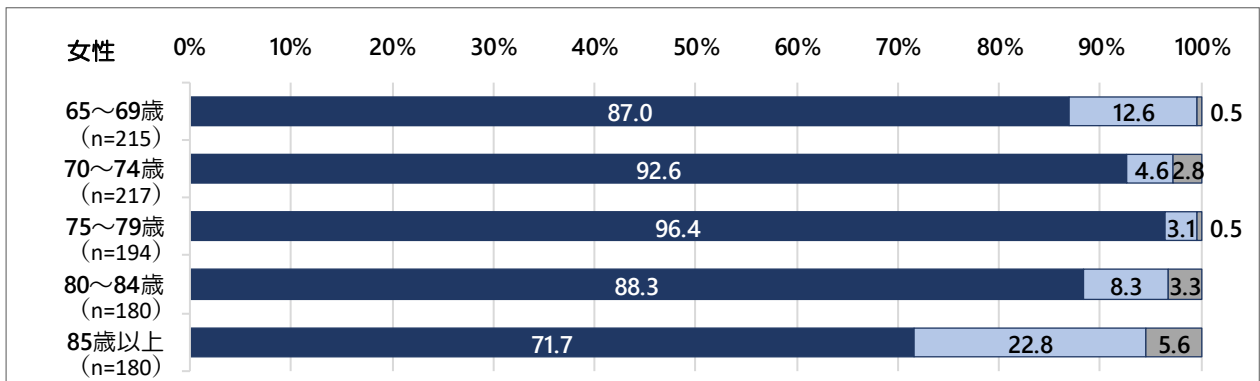
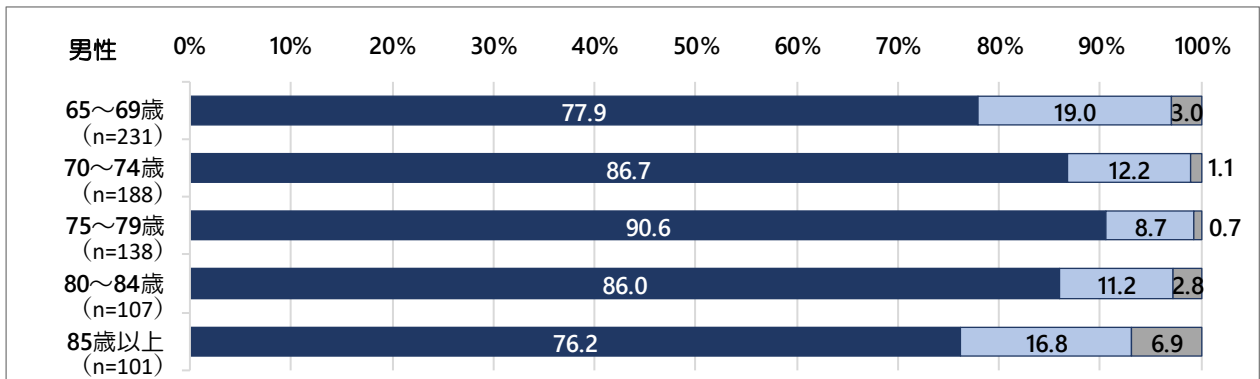
「高い」が85.7%、「低い」が11.8%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに79歳までは年齢が上がるにつれて「高い」の割合が高くなっており、「75～79歳」で最も高くなっています。男性・女性ともに80歳を超えると「高い」の割合が低くなっています。

認定区分別にみると、「高い」の割合は「要支援2」は78.3%、「要支援1」は77.3%、「事業対象」は75.0%で、「一般高齢者」は86.1%となっています。



* 平成29年調査時は知的能動性の判定はしていませんでした。



10. 社会的役割

■ 社会的役割 判定基準

設問	0点	1点
問4 (10) 友人の家を訪ねていますか	2. いいえ	1. はい
問4 (11) 家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ	1. はい

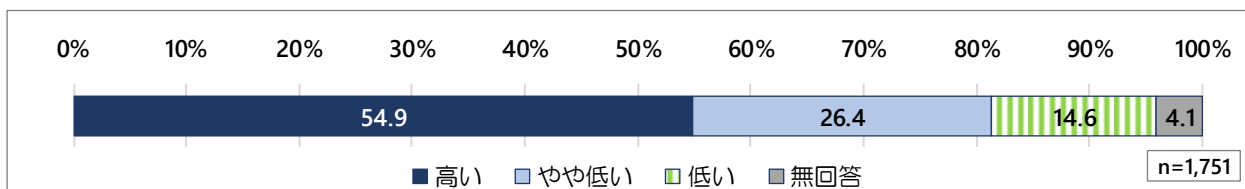
* 老研式活動能力指標では4つの設問で判定しますが、調査票設問で該当する2項目で判定しました。

2項目の合計得点	2点	1点	0点
社会的役割：判定カテゴリ	高い	やや低い	低い

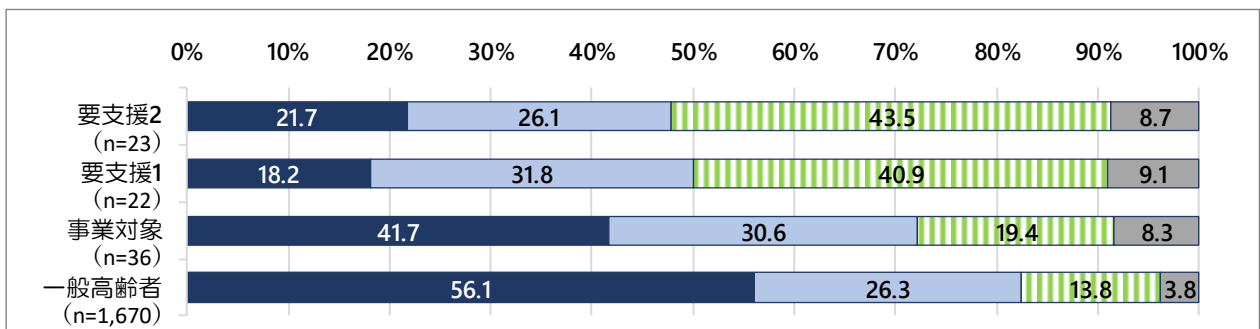
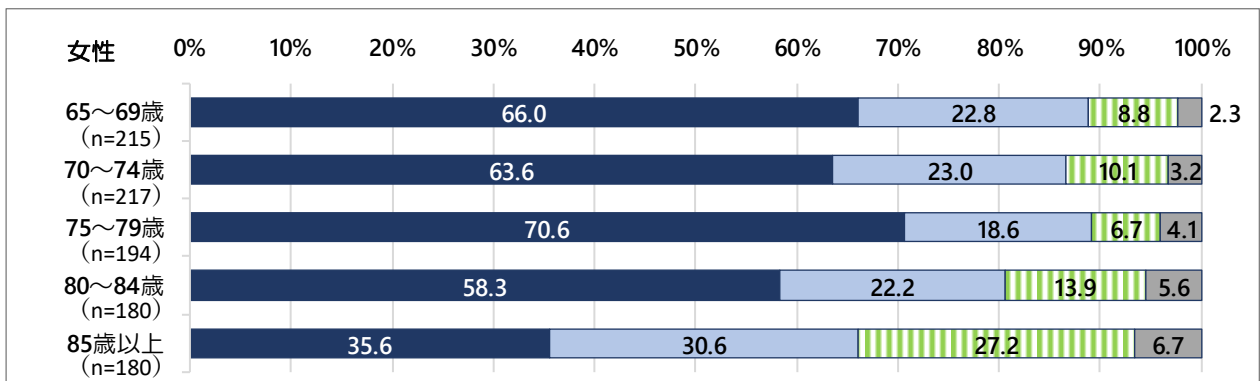
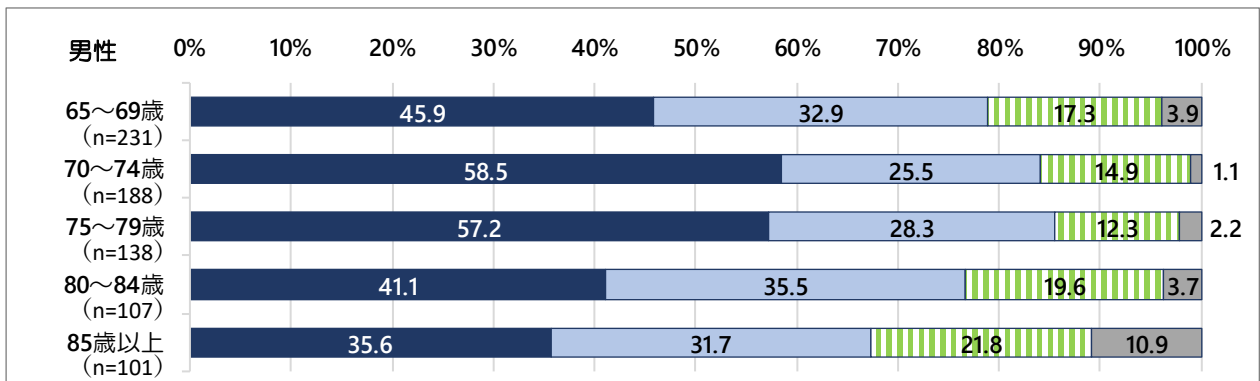
「高い」が54.9%、「やや低い」が26.4%、「低い」が14.6%となっています。

性別・年齢別にみると、男性より女性の方が「高い」割合が高い傾向にあります。男性・女性ともに80歳を超えると年齢が上がるにつれて「高い」割合が低くなり、「低い」の割合が高くなっています。

認定区分別にみると、「高い」の割合が最も低いのは「要支援1」で18.2%、次いで「要支援2」が21.7%となっています。「総合事業」は41.7%、「一般高齢者」は56.1%となっています。



* 平成29年調査時は社会的役割の判定はしていませんでした。

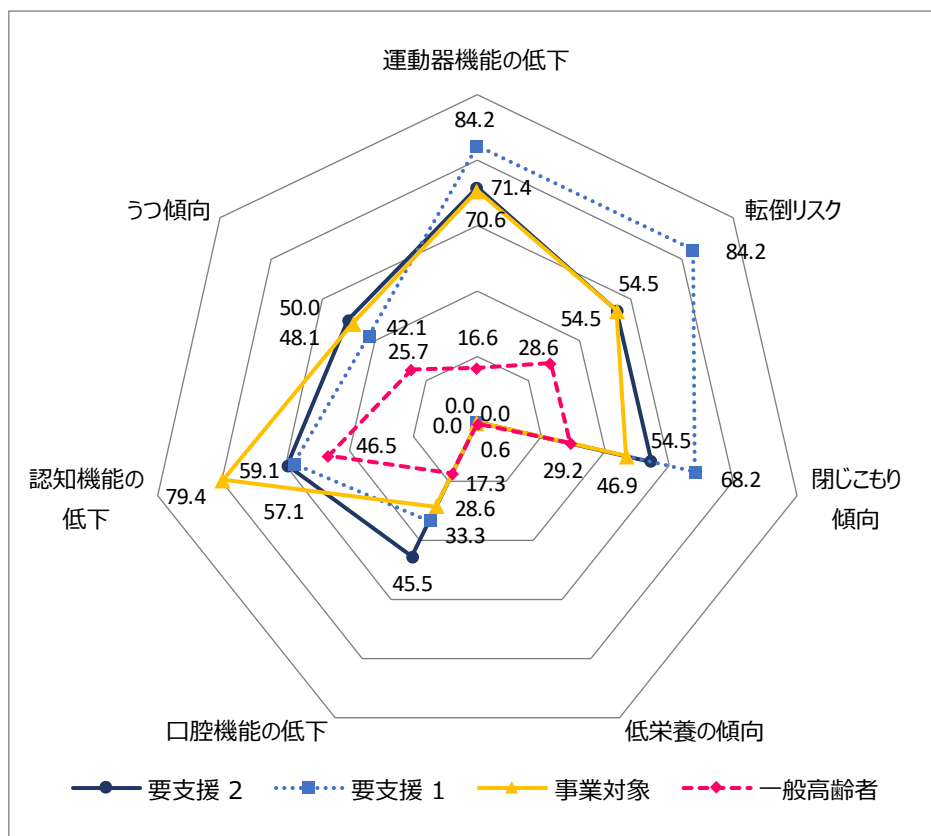


4 とりまとめ

1. リスク該当者の状況

リスク該当者の割合を、認定区分別に比較しました。無回答による判定不能を除いているため、評価項目別の分析結果と数値が異なります。

「低栄養」以外のすべての項目で「一般高齢者」の割合が最も低くなっています。リスク該当者の割合が最も高いのが「要支援 2」の項目は「口腔機能の低下」と「うつ傾向」となっています。リスク該当者の割合が最も高いのが「要支援 1」の項目は「運動器機能の低下」、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」となっています。また、「認知機能の低下」では「事業対象」でリスク該当者の割合が最も高くなっています。



	運動器機能	転倒リスク	閉じこもり	低栄養の傾向	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向
要支援2 (n=23)	71.4%	54.5%	54.5%	0.0%	45.5%	59.1%	50.0%
要支援1 (n=22)	84.2%	84.2%	68.2%	0.0%	33.3%	57.1%	42.1%
事業対象 (n=36)	70.6%	54.5%	46.9%	0.0%	28.6%	79.4%	48.1%
一般高齢者 (n=1,674)	16.6%	28.6%	29.2%	0.6%	17.3%	46.5%	25.7%